

令和5年度

第6次川本町総合計画施策評価

■第6次川本町総合計画 施策評価

施策番号	施策名	主担当課	ページ
1	住民主体の地域づくりの推進	まちづくり推進課	3~7
2	地域福祉の充実	健康福祉課	8~13
3	健康づくりの推進	健康福祉課	14~19
4	地域医療の充実	健康福祉課	20~23
5	公共交通の充実	まちづくり推進課	24~27
6	移住・交流の推進	まちづくり推進課	28~37
7	農林推進業の振興	産業振興課	38~47
8	商工業・サービス業の振興	産業振興課	48~52
9	経済循環の向上	産業振興課	53~57
10	起業支援・企業誘致の推進	産業振興課	58~62
11	雇用機会の充実と安定	産業振興課	63~68
12	結婚・子育て支援の充実	健康福祉課	69~73
13	川本らしい学びの環境の充実	教育課	74~86
14	学び続けられる環境の充実	教育課	87~97
15	多様性のある地域社会の実現	まちづくり推進課	98~101
16	防災・減災対策の充実	総務財政課	102~108
17	日常の安全対策の充実	総務財政課	109~111
18	インフラ整備・環境対策の推進	地域整備課	112~120
19	効率的な行財政運営の推進	総務財政課	121~126

■重点プロジェクト評価

重点	施策名	主担当課	ページ
1	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	まちづくり推進課	127~130
2	医療・介護・福祉サービスの強化	健康福祉課	131~135
3	コンパクトタウン弓市の魅力向上	まちづくり推進課	136~139
4	地域資源を活かした付加価値の創出	産業振興課	140~145
5	保小中高の連携による教育環境の充実	教育課	146~155
6	治水対策の推進	地域整備課	156~159

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
01	住民主体の地域づくりの推進	P36~37	まちづくり推進課

施策の方針	地域でコミュニケーションが図られ、地域の課題解決に向け、積極的に取り組めるように、たすけあい、支えあう地域運営の仕組みをつくります。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域運営の仕組みづくりの推進</li> <li>・住民主体の地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域運営組織の設立数 【累計値】（単位：組織）	目標値	1	1	2	3	4
	実績値	1	1	1		
	達成率	100%	100%	50%	%	%
住民自らが地域ビジョンを策定した地区数 【累計値】（単位：地区）	目標値	2	5	5	8	8
	実績値	2	2	2		
	達成率	100%	40%	40%	%	%
住民主体の集いの場の設立数 【累計値】（単位：箇所）	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	5	5	5		
	達成率	100%	100%	100%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活機能の維持・改善を図るための補助事業を創設し各自治会へ周知したが活用には至らなかった。</li> <li>・自治会長会議での周知や他課と横断的に協議を行い、目標達成に至るよう取組を進める。</li> <li>・サロン活動は順調に維持されている。引き続き継続したい。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画の策定に合わせ、自治会長連合会や社会福祉協議会や中間支援組織等関係機関と連携を密にし広域的な課題や個別課題に細やかに対応すること。</li> <li>・自治会での課題解決につながるような研修などの取組を支援すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	一次評価のとおりとする

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	01	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	地域運営の仕組みづくりの推進	1/4
--------	----	-------	---------------	--------	----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地区別ビジョンの作成	R3	地区別座談会の実施 (全10地区) 【予算】 3,080 千円 【決算】 3,080 千円	B	・地区別座談会を実施し情報の共有、意見交換を実施したが、ビジョン（活動計画）策定の効果等の共有までには至らず地域住民が主体となった活動計画の策定はなかった。
	R4	地域の生活機能の維持確保、ビジョン策定等に活用できる補助事業を創設 【予算】 1,500 千円 【決算】 0 千円	B	・自治会長会議等で周知を図ったが事業の活用がなかった。 ・複数自治会での取組など、きっかけの創出等難しい面もあると考えられるため、引き続き周知を図る。
	R5	地域の生活機能の維持確保、ビジョン策定等に活用できる補助事業の実施 【予算】 1,000 千円 【決算】 0 千円	B	・生活機能の維持・確保に向けた支援事業の活用はなかった。 ・島根県と協働で集落実態調査を行い実態把握を行った
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・活動計画の策定に至った団体が無かったため実績なし。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・活動計画の策定に至った団体が無かったため実績なし。
R5	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・活動計画の策定に至った団体が無かったため実績なし。	
③ 実践活動への支援	R3	・地域住民が主体となった団体が日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始し、その活動について広報周知を中心に支援した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年4月に地域住民が主体となった、地域のたすけあいを目的とした団体が設立。同年9月より生活支援サービスを開始。
	R4	・地域住民が主体となった団体が日常生活に必要な生活サービスを支援する取組R3年9月から開始している。その活動について広報周知を中心に支援した。(R4年度生活支援実績143件) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・除草や草刈り等、家屋の維持管理に係る支援を中心に、住民有志のボランティアが生活支援サービスを提供している。今後も互助の取り組みが推進されるよう、周知を中心とした後方での支援を行っていく。
	R5	・地域住民が主体的に運営する団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組をR3年9月から開始している。その活動について周知を中心に支援した。(R5年度生活支援実績25件、子ども預かり1件) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・生活支援実績件数は利用実人数の減により減っているが、提供体制は維持できており、今年度子ども預かりも初めて実施した。今後も周知を中心とした後方支援を継続していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	01	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	地域運営の仕組みづくりの推進	2/4
--------	----	-------	---------------	--------	----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明	
④ まちづくりの担い手の育成	R3	「かわもと一く」の事業計画立案及び予算措置 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・「かわもと一く」として、中学生と地域の大人が1対1で対話することで、将来への不安や悩みの解消を図る。また、大人は中学生との関係性をつくることで、自分が地域の担い手であるとの自覚を芽生えさせる。その事業計画立案及び予算措置を実施した。企画の実行は令和4年度を予定。	
	R4	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 【予算】 891千円 【決算】 891千円	B	・川本中学校2、3年生と地域の大人が1対1での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。	
	R5	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 第1回：中学生×地域の大人 第2回：小学生×島根中央高校生（NEW） 【予算】 1,250千円 【決算】 1,150千円	B	・中学生と地域の大人との対話では、中学生は今悩んでいることや将来のことについて、親でもない、友達でもない関係性の方と話し、これからの人生のヒントや人となつた。 ・小学生と高校生との対話では、小学生にとっては少し先の自分の姿を描き、身近な存在への憧れや将来への動機づけのきっかけとなった。	
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
	⑤ 中間支援組織の育成・運営支援	R3	・地域をサポートする住民主体の中間支援組織が設立された。 ・同組織が行う事業運営に対し事業運営支援を行った。 【予算】 1,600千円 【決算】 1,600千円	B	・令和3年4月に地域住民が主体となった、地域のたすけあいを目的とした団体（中間支援組織）が設立。 ・福祉分野を中心に民側の相談窓口として行政と連携し活動を展開。
		R4	・令和3年度に続き中間支援組織が実施する活動に対し運営支援（業務委託）を行った。 【予算】 2,000千円 【決算】 2,000千円	B	・令和3年度に続き福祉分野を中心に民側の相談窓口として行政と連携し活動を展開。 ・子どもの見守り（子育て支援）についても活動の幅を広げ、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。
R5		・R3年度より中間支援組織が実施する活動に対し運営支援（業務委託）を行っており、R5年度も前年度に引き続き運営支援を行った。 【予算】 2,300千円 【決算】 1,700千円	B	・前年度に続き福祉分野を中心に、民側の相談窓口として行政と連携し活動を展開。 ・子育て支援について活動を充実させ、いただきますの日を開催し、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。	
R6		【予算】 千円 【決算】 千円			
R7		【予算】 千円 【決算】 千円			

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	01	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	住民主体の地域包括ケアシステムの構築	3/4
--------	----	-------	---------------	--------	--------------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 集いの場づくり	R3	・住民主体の集いの場を既存も含め町内5ヶ所で開始。 ・行政と住民が連携した集いの場を町内2ヶ所で開始。 【予算】 1,600千円 【決算】 1,600千円	B	・住民主体の集いの場（三原、三島、馬野原、多田、尾原）、行政と連携した集いの場（弓市、因原）を開始。また、各集いの場運営者の情報共有の場を定期的に開催。 ・たすけあいの中間支援組織が実施する生活支援サービス等と連携した取組が図られている。
	R4	・昨年度に続き住民主体の5ヶ所、行政と連携した2ヶ所の開催を支援。 【予算】 2,000千円 【決算】 2,000千円	B	・昨年度の事業に加え、子どもの見守り（子育て支援：集いの場）についても活動の幅を広げ、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。
	R5	・昨年度に続き住民主体の5ヶ所、行政と連携した2ヶ所の開催を支援。 【予算】 2,300千円 【決算】 1,700千円	B	・住民主体の集いの場事業に加え、子どもの見守り（子育て支援：集いの場）についても活動の幅を広げ、幅広い層に対しての福祉行政に住民主体の団体として関与。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住民同士のたすけあいの推進	R3	・地域住民が主体となった団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始した。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・社会福祉協議会が主体となったシルバー人材センターやボランティア会に加え、住民団体が主体となった日常生活のたすけあいの仕組みづくりが開始。徐々にサービスの認知と利用が広がっている。
	R4	・地域住民が主体となった団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始した。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住民団体が主体となった日常生活のたすけあいの仕組みづくりが継続的に実施されている。利用者のニーズ等についてもきめ細やかに把握・分析されサービスの改善につながっている。
	R5	・地域住民が主体となった団体が、日常生活に必要な生活サービスを支援する取組を開始した。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住民団体が主体となった、たすけあいの仕組みづくりが継続的に実践されている。利用者のニーズ等についてもきめ細やかに把握・分析し、サービスの改善や新たな地域資源の発掘につながっている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 暮らしの保健室の運営支援	R3	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全32回開催された。（巡回型14回、常設型18回） 【予算】 1,600千円 【決算】 1,600千円	B	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談を行える場が設けられた。 ・一方で中間支援組織という新たな民間組織のサービス、サービス提供初年度もあり相談件数は全27件と伸び悩んだため、広報周知等を中心に引き続き支援を行う。
	R4	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全39回開催された。（巡回型22回、常設型17回） 【予算】 356千円 【決算】 220千円	C	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談を行える場が設けられた。 ・一方で、常設型保健室の来場者数はSNS等を活用し周知・発信を行ったが〇件にとどまったため、R5年度は巡回型を中心に開催する。
	R5	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全38回開催された。（巡回型38回） 【予算】 195千円 【決算】 163千円	B	・R5年度は方法を見直し、巡回型を中心に開催した。身近な地域の集いの場で健康相談を行える機会として、利用している住民にも次第に認知されていきている。次年度も引き続き支援を行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	01	基本施策名	住民主体の地域づくりの推進	施策の方向性	住民主体の地域包括ケアシステムの構築
--------	----	-------	---------------	--------	--------------------

4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民主体の地域ケア会議の確立	R3	・三原地区で実施。 【予算】 1,600 千円 【決算】 1,600 千円	B	・三原地区で実施できたが、他の地区では実施に至らなかった。 ・行政主体の同様の会議には住民主体の団体等の参画もあるため、あり方については今後検討を行う。
	R4	・三原地区、多田地区で実施 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・三原地区に加え多田地区でも実施。 ・情報共有の結果、実際の支援につながったケースもあり。 ・令和5年度は尾原地区でも実施を予定。
	R5	・三原地区、尾原地区で実施 【予算】 2,000 千円 【決算】 2,000 千円	B	・R5年度は左記2地区で住民主体の地域ケア会議が実施された。日々の活動を通して情報共有ができているとの声あり。 ・次年度の開催頻度は地区での判断に委ね、行政は必要に応じて参加し、助言等の支援を行う方針。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
02	地域福祉の充実	P38~39	健康福祉課

施策の方針	公的サービスと地域での活動を組み合わせて、地域資源を有効活用でき、人が人を支える地域福祉を進めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険・高齢者福祉の充実</li> <li>・障害者福祉の充実</li> <li>・要配慮者への支援の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
要介護認定率 【単年数値】（単位：％）	目標値	21.7	21.9	21.7	22.0	22.4
	実績値	20.9	19.9	20.2		
	達成率	103%	110%	107%	%	%
相談支援事業の利用者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	210	220	230	240	250
	実績値	222	251	271		
	達成率	106%	114%	118%	%	%
生活困窮者自立支援事業の支援計画に基づく支援により終結となった件数 【単年度数値】（単位：件）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	0	0		
	達成率	0%	0%	0%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要介護認定率について R5年度（R6.3.31時点）での要介護認定率は、目標値を達成した。今後も可能な限り要介護状態となる時期を遅らせることができるよう、自助・互助の推進と高齢者福祉の充実に努めていく。</li> <li>・相談支援事業の利用者数について R5年度相談者数は前年度よりも20人増加し、目標値を達成した。今後も関係機関と密な連携を図りながら障害者福祉の充実に努めていく。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度に策定した「第9期川本町介護保険事業計画」「第7期川本町障害福祉計画」に基づき町民へのサービス維持のほか、関係機関や事業者と連携を密にして効率的な運営に努めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	02	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	介護保険・高齢者福祉の充実	1/5
--------	----	-------	---------	--------	---------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 介護保険制度の運営	R3	・広域保険者および構成町との会議：年4回 ・町内介護福祉関係者との会議：年11回 【予算】 90,403 千円 【決算】 88,382 千円	B	・介護保険制度が適正に運営されるよう、日々関係者と密な連携を図りながら第8期介護保険事業計画に沿って事業を実施した。 ・広域保険者や構成町と協働しながら、今後も事業運営を続けていく。
	R4	・広域保険者および構成町との会議：年4回 ・町内介護福祉関係者との会議：年12回 【予算】 96,650 千円 【決算】 92,169 千円	B	・介護保険制度が適正に運営されるよう、日々関係者と密な連携を図りながら第8期介護保険事業計画に沿って事業を実施した。 ・R5年度は第9期介護保険事業計画の策定年度となるため、関係機関とともに事業評価及び策定を行っている。
	R5	・広域保険者および構成町との会議：年4回 ・町内介護福祉関係者との会議：年12回 【予算】 94,615 千円 【決算】 92,270 千円	B	・R5年度は第9期介護保険事業計画の策定に際し、年度を通して関係機関とともに事業評価及び策定に取り組んだ。 ・広域保険者や構成町と協働しながら、今後も事業運営を続けていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	・事業対象者および要支援または要介護の認定者に対し、介護(予防)サービスを提供する※下記予算決算は要介護認定者を除いたプラン料 ・サービス提供に係るアセスメントに際し、介護等の有資格者が関与する。 【予算】 3,780 千円 【決算】 3,371 千円	B	・本人の意思を尊重した上で本人の心身の状態に適したサービスが提供できるよう、適時関係者と連携を図り、いつまでも住み慣れた地域で生活できるよう支援を行っている。
	R4	・事業対象者および要支援または要介護の認定者に対し、介護(予防)サービスを提供する※下記予算決算は要介護認定者を除いたプラン料 ・サービス提供に係るアセスメントに際し、介護等の有資格者が関与する。 【予算】 3,560 千円 【決算】 3,215 千円	B	・住み慣れた地域で本人らしい生活が営めるよう、適時関係者と連携を図りながら支援を行っている。今後も介護サービス・介護予防サービスの供給が維持できるよう、人材確保状況等を含めた運営体制に係る情報について、関係機関や広域保険者と適宜共有を行っている。
R5	・事業対象者および要支援または要介護の認定者に対し、介護(予防)サービスを提供する※下記予算決算は要介護認定者を除いたプラン料 ・サービス提供に係るアセスメントに際し、介護等の有資格者が関与する。 【予算】 3,561 千円 【決算】 3,392 千円	B	・住み慣れた地域で本人らしい生活が営めるよう、適時関係者と連携を図りながら支援を行っている。今後も介護サービス・介護予防サービスの供給が維持できるよう、人材確保状況等を含めた運営体制に係る情報について、関係機関や広域保険者と適宜共有を行っている。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 高齢者の見守り体制の充実	R3	・緊急通報電話を貸与し、24時間365日の受報体制を整備(稼働数14) ・令和3年度の新規登録数：1件 【予算】 643 千円 【決算】 344 千円	B	・利用者より、月1回の定期交信と有事の際にいつでもSOS発信ができる安心感につながっているとの声あり。 ・必要な方にサービスが届くよう周知を続けていく。
	R4	・緊急通報電話を貸与し、24時間365日の受報体制を整備(稼働数14) ・令和4年度の新規登録数：1件 【予算】 643 千円 【決算】 339 千円	B	・利用者より、月1回の定期交信と有事の際にいつでもSOS発信ができる安心感につながっているとの声あり。一方で、一般固定電話回線の契約がない人からの相談もあり、ニーズに応えられない事例も一部発生した。今後の見守り体制の充実に向けて検討を行っている。
	R5	・緊急通報電話を貸与し、24時間365日の受報体制を整備(稼働数14) ・R5年度の新規登録数：6件 【予算】 487 千円 【決算】 341 千円	B	・今年度より、電話装置に新たに相談ボタンが追加され、月1回の定期交信や有事の際以外にいつでも相談ができる体制へ拡充された。 ・援護の必要な方にサービスが届くよう、周知を引き続き行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	02	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	介護保険・高齢者福祉の充実	2/5
--------	----	-------	---------	--------	---------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 高齢者の日常生活支援	R3	・最大週3回まで、弁当を玄関先まで配達し安否を確認する ・実績：1527食、月平均利用者数：15人 【予算】 1,280 千円 【決算】 1,222 千円	B	・定期的な配食により、栄養状態の維持・改善につながっている。 ・見守りを兼ねている為、利用者の不調時等の早期発見や対応につながっている。 ・高齢者等が自宅で安心して生活が続けられるよう支援していく。
	R4	・最大週3回まで、弁当を玄関先まで配達し安否を確認する ・実績：1,612食、月平均利用者数：12人 【予算】 1,700 千円 【決算】 1,546 千円	B	・定期的な配食により、栄養状態の維持・改善につながっている。また、見守りを兼ねている為、利用者の不調時等の早期発見や対応につながっている。 ・R4年度は事業者より物価高騰の影響により料金値上げの相談があり、委託料を増額し個人負担金は据え置きとした。R5年度は提供体制の維持に向けて、情報共有や検討を行っていく。
	R5	・最大週3回まで、弁当を玄関先まで配達し安否を確認する(実績：1,043食、月平均利用者数：8人) 【予算】 1,530 千円 【決算】 1,001 千円	B	・見守りを兼ねた定期的な配食により、栄養状態の維持・改善と利用者の不調時等の早期発見や対応につながっている。 ・R5年度は事業者より物価高騰の影響により料金値上げの相談があったが、委託料は前年度と同額で実施した。次年度も提供体制の維持に向けて、情報共有や検討を引き続き行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	02	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	障がい者福祉の充実	3/5
--------	----	-------	---------	--------	-----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 障がい福祉サービスの充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具）</li> <li>地域生活支援事業によるサービス提供（日中一時支援、移動支援他）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> </ul>
		【予算】 166,278千円 【決算】 164,425千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具）</li> <li>地域生活支援事業によるサービス提供（日中一時支援、移動支援他）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> <li>令和5年度は障害福祉計画の最終年度となるため、サービスの充実に向けて、関係機関と協議を行うこととする。</li> </ul>
		【予算】 166,368千円 【決算】 164,963千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（介護給付、訓練等給付、自立支援医療、補装具）</li> <li>地域生活支援事業によるサービス提供（日中一時支援、移動支援他）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> <li>令和5年度に第7期川本町障がい福祉福祉計画・第3期川本町障がい児福祉計画を策定した。</li> </ul>
	【予算】 163,797千円 【決算】 150,457千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 障がい者の就労支援	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（就労継続支援A型・B型）</li> <li>障がい者就労促進事業委託（下記金額は委託分のみ）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> <li>障がい者就労支援事業所へ庁舎内のトイレ掃除や自治会配布文書の仕分け作業などの業務を委託し、障がい者の工賃向上による経済的自立や社会参加の促進を図っている。</li> </ul>
		【予算】 2,293千円 【決算】 2,173千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（就労継続支援A型・B型）</li> <li>障がい者就労促進事業委託（下記金額は委託分のみ）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労支援事業所へ庁舎内のトイレ掃除や自治会配布文書の仕分け作業などの業務を委託し、障がい者の工賃向上による経済的自立や社会参加の促進を図っている。</li> <li>就労継続支援A型・B型のサービス利用者はやや増加傾向となっている。</li> </ul>
		【予算】 2,305千円 【決算】 2,304千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（就労継続支援A型・B型）</li> <li>障がい者就労促進事業委託（下記金額は委託分のみ）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者就労支援事業所へ庁舎内のトイレ掃除や自治会配布文書の仕分け作業などの業務を委託し、障がい者の工賃向上による経済的自立や社会参加の促進を図っている。</li> <li>就労継続支援B型のサービス利用者はやや増加傾向となっている。</li> </ul>
	【予算】 2,305千円 【決算】 2,044千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 障がい者の地域移行支援	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（地域移行支援）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> </ul>
		【予算】 15,872千円 【決算】 15,212千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（地域移行支援）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> <li>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で予定していた啓発事業を実施できなかったため、令和5年度は実施を検討したい。</li> </ul>
		【予算】 13,592千円 【決算】 12,437千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合支援法に基づくサービスの提供（地域移行支援）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町、相談支援事業所、サービス提供事業所が常に連携し、必要な方に必要なサービスの提供を行っている。</li> </ul>
	【予算】 17,486千円 【決算】 14,737千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	02	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	障がい者福祉の充実	4/5
--------	----	-------	---------	--------	-----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 地域福祉の拠点整備	R3	・地域活動支援センター事業委託（ひまわり） ・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち）  【予算】 7,179 千円 【決算】 7,179 千円	A	・R3年度より相談支援事業のサテライト相談会を月に1回、三原まちづくりセンターで実施し、遠方を理由に出にくかった方が参加されたり、参加者が福祉就労につながるなど、日中活動のサポートや社会との交流促進が図られている。 ・地域活動支援センターひまわりの建物は経年劣化が進んでおり、今後、障がい児から障がい者までの一体的なサービス提供の展開を行っていくために、新たな障がい者の拠点整備が必要。
	R4	・地域活動支援センター事業委託（ひまわり） ・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち）  【予算】 7,355 千円 【決算】 7,355 千円	A	・R3年度より実施しているサテライト相談会を今年度も毎月1回、三原まちづくりセンターで実施した。三原まちづくりセンターの協力を得て、わかばカフェを開催したりまちセンマルシェで出店するなど、参加者の活躍機会の拡大や地域社会との交流促進が図られている。 ・地域活動支援センターひまわりの建物は経年劣化が進んでおり、今後、障がい児から障がい者までの一体的なサービス提供の展開を行っていくために、新たな障がい者の拠点整備が必要。
	R5	・地域活動支援センター事業委託（ひまわり） ・障がい者相談支援事業委託（サポートセンターおおち）  【予算】 8,404 千円 【決算】 8,404 千円	A	・R3年度より実施のサテライト相談会を今年度も毎月1回、三原まちづくりセンターで実施した。わかばカフェの開催やまちセンマルシェ出店の取り組みも定着してきており、参加者の活躍機会の拡大や地域社会との交流促進が図られている。 ・地域活動支援センターひまわりは建物の経年劣化が進んでいるため、新たな障がい者の拠点整備について関係機関と協議を行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域生活支援体制の充実	R3	・地域生活支援拠点整備  【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域生活支援拠点事業の中で、町、障がい者支援事業所、医療機関等が連携し、個別支援計画の作成を行い、緊急時に対応可能な体制の整備を進めている。
	R4	・地域生活支援拠点整備  【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域生活支援拠点事業の中で、町、障がい者支援事業所、医療機関等が連携し、支援台帳の作成を行い、緊急時に対応可能な体制の整備を進めている。
	R5	・地域生活支援拠点整備  【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域生活支援拠点事業の中で、町、障がい者支援事業所、医療機関等が連携し、支援台帳の作成を行い、緊急時に対応可能な体制の整備を進めている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	02	基本施策名	地域福祉の充実	施策の方向性	要配慮者への支援の充実	5/5
--------	----	-------	---------	--------	-------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 生活保護及び母子・父子自立支援	R3	・生活保護制度 ・児童扶養手当 ・母子家庭自立支援給付 【予算】 88,557 千円 【決算】 87,644 千円	B	・国の制度に基づき実施。 ・相談体制を確保し生活へのサポートを行っている。
	R4	・生活保護制度 ・児童扶養手当 ・母子家庭自立支援給付 【予算】 70,522 千円 【決算】 67,843 千円	B	・国の制度に基づき実施。 ・相談体制を確保し生活へのサポートを行っている。 ・必要に応じて、関係機関と連携しながら、支援を行っている。
	R5	・生活保護制度 ・児童扶養手当 ・母子家庭自立支援給付 【予算】 89,540 千円 【決算】 89,540 千円	B	・国の制度に基づき実施。 ・相談体制を確保し生活へのサポートを行っている。 ・必要に応じて、関係機関と連携しながら、支援を行っている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
03	健康づくりの推進	P40~41	健康福祉課

施策の方針	川本町に暮らす人がいつまでも元気でいられるように、幼少期から高齢期まで健康づくりを進めていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命を伸ばす健康づくりの推進</li> <li>・食育の推進</li> <li>・心の健康づくりの推進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
特定健診の受診率 【単年数値】（単位：％）	目標値	56.5%	58.5%	60.0%	60.0%	60.0%
	実績値	44.9%	51.5%	49.5%		
	達成率	79.50%	88.03%	82.50%	%	%
平均自立期間 男性 【単年数値】（単位：歳）	目標値	78.5	78.9	79.3	79.7	80.0
	実績値	80.1	79.2	80.2		
	達成率	102%	100.38%	101.13%	%	%
平均自立期間 女性 【単年数値】（単位：歳）	目標値	85.2	85.4	85.6	85.8	86.0
	実績値	82.4	82.4	79.9		
	達成率	96.7%	96.48%	93.34%	%	%

評価	担当課評価
B	<p>特定健診の受診率について、令和5年度は目標達成できなかった（前年度より2%減少）。引き続き未受診者勧奨やみなし健診の情報提供を呼びかけ受診率向上に努めていく。</p> <p>その他、今年度は幼少期からの防煙啓発として小学校でたばこの啓発を実施した。</p> <p>平均自立期間についてはR5年度は男性は目標達成できた。今後も普及啓発を行い、健診や介護予防事業等への参加を推進していく。</p>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<p>令和5年度に1人あたりの医療費が減少したが、なお高い水準にあるので引き続き予防事業や健康診断の受診率向上に努めること。</p>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<p>・一次評価のとおりとする</p>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
03	健康づくりの推進	P40~41	健康福祉課

施策の方針	川本町に暮らす人がいつまでも元気でいられるように、幼少期から高齢期まで健康づくりを進めていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命を伸ばす健康づくりの推進</li> <li>・食育の推進</li> <li>・心の健康づくりの推進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
学校給食における川本町産野菜の使用割合（重量ベース） 【単年数値】（単位：％）	目標値	30.0 %	31.0 %	32.0 %	34.0 %	35.0 %
	実績値	22.6%	25.40%	20.09%		
	達成率	75.3%	81.90%	62.78%	%	%
自死率 【単年数値】（単位：人口10万対）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	31.63	32.49%		
	達成率	100%	0%	0%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食について 令和5年度、目標は達成できなかった。要因として、町産野菜の不作などにより道の駅から仕入れる野菜自体の量が少なかったことや献立計画と入荷される野菜のマッチングがうまくいかなかったことがあげられた。</li> <li>・自死率について 今年度自死率を0にするという目標を達成することができなかった。自死の発生を未然に防止できるよう、自死予防の啓発や相談窓口の周知により一層力を入れていく必要がある。また、ゲートキーパー研修等を通じた自死を未然に防ぐことのできる人材の育成や、講演会等を通じた若年層への啓発にも引き続き取り組んでいく必要がある。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、教育長、総務課長）
/	

評価	最終評価（町長）
/	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	03	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	健康寿命を伸ばす健康づくりの推進	1 / 4
--------	----	-------	----------	--------	------------------	-------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明	
① 各種検(健)診の受診率向上	R3	特定健診と胃がん検診・胸部CT検査を同日にセットで受診できることとした。また土日開催し受診率向上を図った。受診勧奨の個別送付回数を増やした。 【予算】 5,701千円 【決算】 5,741千円	A	・特定健診については受診率が減少した。集団検診の受診者数は大幅な減少はないため、個別で医療機関へ受診する個別検診受診者が減少したと考えられる。引き続き未受診者勧奨を積極的に行うとともに受診を促進するよう制度を拡充する。	
	R4	・特定健診を初受診になる方の特定健診費無料 ・特定健診へのセット検診実施(胃がん・胸部CT検査、各種オプション検査) ・土日検診の実施 ・子宮・乳がん検診の無料化(一部の対象年齢) ・個別の受診勧奨送付回数増加 【予算】 9,347千円 【決算】 7,343千円	B	・特定健診受診率(R4:51.5%)はR3年度と比較し受診率は上昇した。集団検診の受診者数は減少したが個別検診や医療情報提供の勧奨を実施したことにより、受診者数及び特定健診受診率は向上した。引き続き未受診者勧奨を積極的に行うとともに受診を促進する取り組みを継続していく。 ・胃・肺がん検診の受診者数は増加、大腸・子宮頸・乳がん検診の受診者数は減少している。受診率をみると肺がん検診のみ上昇している。がん検診の未受診者対策をすずめながら継続して取り組む必要がある。	
	R5	・特定健診初受診になる方の特定健診費無料 ・特定健診とのセット検診実施(胃がん・胸部CT検査、各種オプション検査) ・土日検診の実施 ・子宮・乳がん検診の無料化(一部の対象年齢) ・個別の受診勧奨送付回数増加 ・健診受診者へまげなポイントの付与 【予算】 10605千円 【決算】 7450千円	B	令和5年度の特定健診受診率は49.5%(令和6年5月時点法定報告速報値より)で、昨年度より下がっている。集団検診の受診者を比較すると対前年度比2.9%の減だが、個別検診受診者、みなし健診件数は昨年度より増加している。 ・乳がん検診の受診者数は増加したが、胃・大腸・肺・子宮頸がん検診の受診者数は減少している。受診率は乳がん検診のみ上昇している。がん検診の未受診者対策をすずめながら継続して取り組む必要がある。	
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
	② 生活習慣病の予防対策	R3	生活習慣病予防としてストレッチ&ヨガ教室を、運動指導士を講師として夕方仕事終わりの時間帯に開催。 【予算】 145千円 【決算】 116千円	B	・定員人数に対して76.6%の参加率。参加者が固定化しないよう新規参加者の開拓も行っていく。
	R4	生活習慣病予防としてストレッチ&ヨガ教室を、運動指導士を講師として夕方仕事終わりの時間帯に開催(全15回)。 【予算】 136千円 【決算】 137千円	B	・定員に対して申込率100%。申込者の平均年齢は54.9歳と働き盛り世代の参加も見られるが、全15回継続しての参加は少ない。継続して参加してもらえよう働きかけが必要である。	
R5	生活習慣病予防としてストレッチ&ヨガ教室を、運動指導士を講師として夕方仕事終わりの時間帯に開催(全12回)。 【予算】 139千円 【決算】 99千円	B	令和6年度は全12回に変更した。申込者は定員30名に対して23名。内、新規申込者は9名。男性の参加者は2名。引き続き積極的に参加の呼びかけをしていく。		
R6	【予算】 千円 【決算】 千円				
R7	【予算】 千円 【決算】 千円				
③ 介護予防・認知症予防	R3	・通所型ミニデイ(悠湯プラザ)：21自治会延べ840人参加 ・地区ミニデイ(集会所)：19自治会延べ803人参加 ・地区サロン：6地区で開催 【予算】 11,058千円 【決算】 10,123千円	B	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として開催中止した月があり、利用数は減少した ・すこやかに生活できるような支援を続けていく。	
	R4	・通所型ミニデイ(悠湯プラザ)：19自治会延べ606人参加 ・地区ミニデイ(集会所)：14自治会延べ621人参加 ・地区サロン：6地区で開催 【予算】 6,680千円 【決算】 6,200千円	B	・ローテーションの見直しにより、悠湯プラザの開所日は減少した。また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として時間を短縮した月があり、利用数は減少した。 ・住み慣れた地域ですこやかに生活できるよう、支援を続けていく。	
	R5	・通所型ミニデイ(悠湯プラザ)：18自治会延べ600人参加 ・地区ミニデイ(集会所)：14自治会延べ650人参加 ・地区サロン：6地区で開催 【予算】 6,501千円 【決算】 6,164千円	B	・事業周知を年度内2回に増やす等の取り組みを行い、介護予防事業の参加者数は概ね前年度並みを維持することができた。 ・住み慣れた地域ですこやかに生活できるよう、引き続き支援を続けていく。	
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
	【評価】	A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)			
		B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)			
	C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)				
	D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)				

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	03	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	健康寿命を伸ばす健康づくりの推進	2/4
--------	----	-------	----------	--------	------------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ たばこ・アルコール対策	R3	・禁煙治療費助成の実施。 【予算】 36千円 【決算】 24千円	B	・禁煙治療費助成事業申請者2名。継続して事業の周知を行っていく。
	R4	・禁煙治療費助成の実施。 【予算】 36千円 【決算】 0千円	A	・禁煙治療費助成事業申請者0名。事業を継続するとともに、助成の取り組みについて積極的な周知が必要である。
	R5	・禁煙治療費助成の実施。 ・禁煙週間にあわせ助成制度について広報を実施。 【予算】 36千円 【決算】 12千円	B	・禁煙治療費助成事業申請者1名。継続して事業の周知を行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 8020運動の推進	R3	40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象に歯周病検診を無料で実施。 【予算】 85千円 【決算】 82千円	B	・受診率9.9%と低い状況。年に1回未受診者へ個別に受診勧奨ハガキを送付している。チラシやまげなねっとを利用し、歯科受診の重要性について周知する必要がある。
	R4	40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象に歯周病検診を無料で実施。 【予算】 242千円 【決算】 91千円	B	・受診率14.4%と低い状況。年に1回未受診者へ個別に受診勧奨ハガキを送付している。広報や、まげなねっとを利用し、歯科検診、歯周病の早期発見・治療の重要性について周知する必要がある。
	R5	40・50・60・70歳の節目年齢の方を対象に歯周病検診を無料で実施。 【予算】 282千円 【決算】 128千円	B	受診率は14.3%で、年々減少傾向にある。年に1回未受診者へ個別に受診勧奨ハガキを送付している。引き続き広報や、まげなねっとを利用し、歯科検診、歯周病の早期発見・治療の重要性について周知していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 健康意識づくりの推進	R3	加藤病院と連携して作成した健康に関するテーマ別の啓発画や、健康レシピの調理動画等をまげなねっとで放送する。 【予算】 24千円 【決算】 18千円	B	・視聴率が把握できないため、視聴している年齢層や人数、効果的な放送時間帯など不明で評価が難しい。今後、この事業についてアンケートを実施するなど、評価につながるような施策を検討する必要がある。
	R4	加藤病院と連携して作成した健康に関するテーマ別の啓発画や、健康レシピの調理動画等をまげなねっとで放送する。 【予算】 24千円 【決算】 17千円	B	・視聴率が把握できないため、視聴している年齢層や人数、効果的な放送時間帯などは不明で評価が難しい。普及啓発を目的として実施しているためR5に実施する健康づくりアンケート結果を参考に評価したいと考える。放送テーマについては現在課題とする内容に沿ったものに随時変更し継続して取り組む。
	R5	加藤病院と連携して作成した健康に関するテーマ別の啓発画や、健康レシピの調理動画等をまげなねっとで放送する。 【予算】 24千円 【決算】 10千円	B	・視聴率が把握できないため、視聴している年齢層や人数、効果的な放送時間帯などは不明で評価が難しい。健康課題である内容をテーマにとりあげながら、継続して取り組む。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	03	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	食育の推進	3/4
--------	----	-------	----------	--------	-------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 規則正しい食生活の啓発	R3	生活習慣病予防教室として小学4年生、中学3年生を対象に実施。養護教諭、栄養教諭、食生活改善推進協議員と共に実施。 【予算】 50千円 【決算】 38千円	B	・生活習慣病について学び、バランスの良い食事や生活態度について理解する。 ・調理実習を通して実践する力を身につけることができる。各調理台に指導者を配置し、包丁の持ち方、切り方等細やかな指導を行いながら、楽しみながら実施することができている。
	R4	生活習慣病予防教室として小学4年生、中学3年生を対象に実施。「和食」「えごまわやさしい」をテーマにしたバランスの良い食事について学ぶ。 【予算】 50千円 【決算】 30千円	B	・栄養教諭による事前授業の中で、バランスの良い食事や生活態度についての知識を身につける。 ・調理実習では、外部講師の食生活改善推進員により、包丁の持ち方や切り方などの調理実習を体験しながら学ぶ。
	R5	早期から生活習慣病予防について知識を深めることを目的とし、小学4年生、中学3年生を対象に実施。「和食」「えごまわやさしい」をテーマにしたバランスの良い食事についての事前授業と調理実習を実施。 【予算】 50千円 【決算】 37千円	B	栄養教諭が事前授業を行い、バランスの良い食事や生活態度についての知識を身につけ、調理実習では食生活改善推進員を講師として迎え、包丁の持ち方や切り方などの技術を学ぶ。実際に自分たちで作って食べる体験による学びは児童の意欲を高める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地元産品の活用	R3	・学校給食で使用するエゴマ油の購入費に係る費用を町が負担。 ・また、地産地消の推進及び児童生徒への食育の充実を図るため、地元産の農産物、農産加工品の購入に要する費用を補助。 【予算】 766千円 【決算】 712千円	A	・エゴマ油については、ほぼ毎月提供しているが献立等の関係により提供できない月もある。 ・また、地元産の農産物及び農産加工品補助については、令和3年度は2学期以降の白米に要する費用を補助し、学校給食における町内産白米使用率100%。 ・今後も対象品目を増やして地産地消の推進を行っていく必要がある。
	R4	地産地消の推進児童生徒への食育の充実を図るため、地元産の農産物、農産加工品の購入に要する費用の補助。令和4年度はコロナの臨時金が入り、それを充当したため、予算に対して決算額が少ない。 【予算】 1000千円 【決算】 175千円	A	令和3年度の事業に加え、令和4年度は学校給食における農産加工品(エゴマ油、エゴマ葉パウダー、えごまかまぼこ等)を補助。
	R5	令和4年度から継続して学校給食での町内産農作物及び農産加工品の活用を継続し、地産地消の推進及び安全性の向上並びに児童・生徒への食育の充実を促進。 【予算】 2322千円 【決算】 1846千円	A	令和5年度は令和4年度の事業から変更なし。これからも継続して実施していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	03	基本施策名	健康づくりの推進	施策の方向性	心の健康づくりの推進	4/4
--------	----	-------	----------	--------	------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 啓発活動の推進	R3	性教育を川本中学校生徒に実施。7月に2・3年生。3月に1年生。 【予算】 73千円 【決算】 21千円	B	性に関する不安や悩みは解消できましたか」の質問に「とても思う・少し思う」と回答した割合。目標85%に対して実績79.4%。「自分のことが好きになりましたか」の質問に「そう思う・少しそう思う」と回答した割合。目標85%に対して実績76.5%。引き続き継続する。
	R4	性教育を川本中学校生徒に実施。7月に2・3年生、2月に1年生を対象に行った。 【予算】 73千円 【決算】 21千円	B	「性に関する不安や悩みは解消できましたか」の質問に「とても思う・少し思う」と回答した割合が、目標85%に対して実績96.7%、「自分のことが好きになりましたか」の質問に「そう思う・少しそう思う」と回答した割合が目標85%に対して実績90.3%であった。引き続き事業は継続していきたい。
	R5	性教育を川本中学校生徒に実施。11月に3年生、2月に1年生を対象に行った。 【予算】 73千円 【決算】 21千円	B	「性に関する不安や悩みは解消できましたか」の質問に「とても思う・少し思う」と回答した割合が、目標85%に対して実績100%、「自分のことが好きになりましたか」の質問に「そう思う・少しそう思う」と回答した割合が目標85%に対して実績89.5%であった。引き続き事業は継続していきたい。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 自死予防対策	R3	自死予防啓発のチラシを全戸配布。また、まげなねつとで周知を行う。 【予算】 23千円 【決算】 14千円	B
R4		自死予防啓発のチラシを全戸配布。また、まげなねつとで周知を行う。 【予算】 21千円 【決算】 10千円	A	R4年度は自死死亡率が31.63と上昇した。様々な媒体を通しより積極的に啓発を行う必要がある。
R5		・自死予防啓発のチラシを全戸配布。また、まげなねつとで周知を行う。 ・一般町民向けのゲートキーパー研修を実施。 【予算】 21千円 【決算】 1千円	B	R5年度は自死死亡率が32.49と上昇した。様々な媒体を通しより積極的に啓発を行う必要がある。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
04	地域医療の充実	P42～43	健康福祉課

施策の方針	生活する上で欠かすことの出来ないものとして医療体制の維持を図るとともに、現在の体制を有効に活用し、不足している部分を補うための施策を進めていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療体制の確保</li> <li>・ 医療・保健・介護の連携強化</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内医療機関の診療科目数 【単年数値】（単位：科目）	目標値	14	14	14	14	15
	実績値	14	14	14		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療科目は昨年度同様に増減なく維持できている。</li> <li>・ 令和5年度においても、重点プロジェクト実現の観点から、将来にわたって安心できる医療体制の構築のため検討を重ねている。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き新たな医療拠点も見据え医療機関と更なる連携を図っていくこと。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな医療拠点と積極的な連携を模索し町民にとってより充実した福祉サービスの提供に努めること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み評価シート

基本施策番号	04	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療体制の確保	1/3
--------	----	-------	---------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療従事者の育成・確保	R3	町独自の事業は行うことが出来なかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	A	・教育課と連携し、先行団体を参考にして、町としての取り組みを進めていく必要がある。
	R4	町独自の事業は行うことが出来なかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	A	・保健師が鳥根中央高校に出向き、生徒を対象に、保健師の魅力テーマに仕事内容等について講義を行った。 ・令和5年度3町共同で医療従事者確保をテーマにシンポジウム開催を予定しており、今後具体的に検討を進める。
	R5	町独自の事業は行うことが出来なかった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	A	・保健師が川本中学校に出向き、生徒を対象に、保健師の仕事テーマにガイダンスを行った。 ・令和5年度3町共同でのシンポジウム開催は見送りとなったが、今後町独自で具体的に検討を進める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	地域医療補助金として130,000千円補助 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	・地域医療補助金をほぼ医師確保事業の費用として活用され、診療科目の維持、医師確保に繋がっている。このことにより、町内の医療提供体制を維持出来ている。
	R4	地域医療補助金として130,000千円補助 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	地域医療補助金をほぼ医師確保事業の費用として活用され、診療科目の維持、医師確保に繋がっている。このことにより、町内の医療提供体制を維持出来ている。令和4年度は、物価高騰等の影響を受けた不採算地区医療機関への支援として額を拡充している。
R5	地域医療補助金として168,000千円補助 【予算】 168,000 千円 【決算】 168,000 千円	B	地域医療補助金をほぼ医師確保事業の費用として活用され、診療科目の維持、医師確保に繋がっている。このことにより、町内の医療提供体制を維持出来ている。令和5年度は、オンライン診療等環境整備のためクラウドシステムを構築し地域福祉の充実を図るため額を拡充している。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 周辺の医療機関との連携	R3	公立邑智病院へ負担金支出 【予算】 45,017 千円 【決算】 45,017 千円	C	・公立邑智病院へ建設改良費（3,465千円）を含む負担金を支出しており、公立邑智病院にて建設にかかる準備を進めておられる。 ・近隣の病院との連携推進については、取り組みが不足しており、今後進めていく必要がある。
	R4	公立邑智病院へ負担金支出 【予算】 45,204 千円 【決算】 45,204 千円	B	公立邑智病院にて建設にかかる準備を進めておられるが、4年度内に事業が完了しなかったため、来年度も継続。近隣の病院との連携推進については、邑智郡3町の医療部局との定期的な会を開催している。
	R5	公立邑智病院へ負担金支出 【予算】 182,705 千円 【決算】 138,265 千円	B	公立邑智病院にて建設にかかる準備を進めておられるが、5年度内に事業が完了しなかったため、来年度も継続。近隣の病院との連携推進については、邑智郡3町の医療部局との定期的な会を開催している。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み評価シート

基本施策番号	04	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療体制の確保
--------	----	-------	---------	--------	---------

2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 救急医療体制の確保	R3	邑智郡医師会に対し在宅当番医制運営費の支払い 【予算】 3,099 千円 【決算】 3,099 千円	B	邑智郡3町で負担し、土日の休日診療体制を維持している。(71日_205人)
	R4	邑智郡医師会に対し在宅当番医制運営費の支払い 【予算】 3,099 千円 【決算】 3,099 千円	B	邑智郡3町で負担し、土日の休日診療体制を維持している。(71日_283人)
	R5	邑智郡医師会に対し在宅当番医制運営費の支払い 【予算】 3,099 千円 【決算】 3,099 千円	B	邑智郡3町で負担し、土日の休日診療体制を維持している。(72日_311人)
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み評価シート

基本施策番号	04	基本施策名	地域医療の充実	施策の方向性	医療・保健・介護の連携強化
--------	----	-------	---------	--------	---------------

3/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・保健・介護連携	R3	・医療保健連携会議：1回 【予算】 15千円 【決算】 15千円	B	・年1回、町内の医療関係者と管内保健所が一堂に会する会議を設けている。 ・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためリモートで開催し討議を行った。町における課題を圏域内で共有し、効果的な連携のあり方について協議を行った。
	R4	・医療保健連携会議：1回 【予算】 15千円 【決算】 11千円	B	・年1回、町内の医療関係者と管内保健所が一堂に会する会議を設けている。 ・感染症の拡大防止のためリモートで開催し討議を行った。今年度は重症化対策について町の取り組みと病院での取り組み状況について情報交換を行った。今後も町における課題を圏域内で共有し、効果的な連携のあり方について協議を行っている。
	R5	・医療保健連携会議：1回 【予算】 15千円 【決算】 15千円	B	・年1回、町内の医療関係者と管内保健所が一堂に会する会議を設けている(リモート併用で実施)。 今年度は歯科保健対策、禁煙対策について協議し、町の取り組みと病院での取り組み状況について情報交換を行った。今後も町における課題を圏域内で共有し、効果的な連携のあり方について協議を行っている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 地域包括ケアシステムの構築	R3	・地域ケア会議：11回 ・地域ケア推進会議：1回 【予算】 72千円 【決算】 50千円	B
R4		・地域ケア会議：12回 ・地域ケア推進会議：1回 【予算】 59千円 【決算】 54千円	B	・毎月1回、町内の医療・保健・介護担当者が集い、住み慣れた地域で生活していけるような支援体制について協議を行っている。また、年1回、町内の関係法人の代表者に参集いただき町全体の課題について討議を行っている。
R5		・地域ケア会議：12回 ・地域ケア推進会議：1回 【予算】 60千円 【決算】 54千円	B	・毎月1回、町内の医療・保健・介護担当者が集い、住み慣れた地域で生活していけるような支援体制について協議を行っている。また、年1回、町内の関係法人の代表者に参集いただき町全体の課題について討議を行っている。 ・さらなる資質向上のため、次年度より地域ケア会議の参加職種を増やして実施していく。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
05	公共交通の充実	P44~45	まちづくり推進課

施策の方針	地域間交通や町内交通の充実を図ることで、自家用者での移動ができない人でも、行きたいところに行けるように、町内外を円滑に移動できる交通環境を整えます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域間交通の維持・確保</li> <li>・町内移動手段の維持・充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
隣接する市町との地域間乗合バス路線数 【単年数値】（単位：路線）	目標値	3	3	3	3	3
	実績値	3	3	3		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
広域都市部との地域間乗合バス路線数 【単年数値】（単位：路線）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
町内移動の新たなシステムの導入数 【累計値】（単位：件）	目標値	0	0	2	2	2
	実績値	0	0	0		
	達成率	0%	0%	0%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通計画で定めた目標達成に向け、計画記載の各種取り組みを進めていく。</li> <li>・近隣自治体と連携し、三江線沿線地域公共交通計画を策定し利便性等の向上を目指す。</li> <li>・関係事業者や関係機関と協議を進め、人材確保支援等事業者の負担軽減を目指す。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弓市魅力化実施計画や立地適正化計画とのつながりも意識すること。</li> <li>・主要地方道川本波多線川本工区新ルート開通時には新たな交通体系となるよう意識すること。</li> <li>・各地域の実情をふまえてデマンド交通等の対策を検討すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在策定を進めている立地適正化計画に掲げる「コンパクト プラス ネットワーク」の制度理念に基づき、実情を踏まえながら最適な交通環境を意識すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	05	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	地域間交通の維持・確保
--------	----	-------	---------	--------	-------------

1/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 路線バスの維持・確保	R3	・ 県や関係市町と協調し路線バスの維持を目的とした補助を実施した。 【予算】 15,514 千円 【決算】 14,929 千円	B	・ 近隣自治体と連携し地域間を結ぶ路線バスの維持を目的とした補助金を交付（おおなんバス：6,089千円、石見交通、大和観光：8,840千円）。 ・ 生活交通実態調査を実施。 ・ 令和4年度には調査結果をふまえて公共交通計画を策定し利便性等の向上を目指す。
	R4	・ 県や関係市町と協調し路線バスの維持を目的とした補助を実施した。 ・ 町の交通マスタープランとなる地域公共交通計画を策定した。 【予算】 15,329 千円 【決算】 13,756 千円	B	・ 近隣自治体と連携し地域間を結ぶ路線バスの維持を目的とした補助金を交付（おおなんバス：5,993千円、石見交通：5,153千円、大和観光：2,610千円）。 ・ 令和5年度には持続可能な公共交通体系の実現を目指し公共交通計画の取り組みを進める。
	R5	・ 県や関係市町と協調し路線バスの維持を目的とした補助を実施した。 【予算】 15,660 千円 【決算】 15,003 千円	B	・ 近隣自治体と連携し地域間を結ぶ路線バスの維持を目的とした補助金を交付（おおなんバス：5,411千円、石見交通：7,132千円、大和観光：2,460千円）。 ・ 公共交通計画に基づき、持続可能な交通体系の実現に向けて取り組む。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 利便性の向上に向けた協議の継続	R3	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での意見交換、答申を実施。 【予算】 200 千円 【決算】 200 千円	B	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での広域的な検討、取組の実施（負担金：200千円） ※R3実施：網形成計画の改定及び改定に係る住民意識調査の実施協力
	R4	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での意見交換、答申を実施。 【予算】 200 千円 【決算】 200 千円	B	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での広域的な検討、取組の実施（負担金：200千円）
	R5	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での意見交換、答申を実施。 【予算】 200 千円 【決算】 200 千円	B	・ 三江線沿線地域公共交通活性化協議会での広域的な検討、取組の実施（負担金：200千円） ・ 令和6年度には近隣自治体と連携し、三江線沿線地域公共交通計画を策定し利便性等の向上を目指す。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	05	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	町内移動手段の維持・充実
--------	----	-------	---------	--------	--------------

2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 公共交通の運行の見直し	R3	・生活交通実態調査の実施 【予算】 3,850 千円 【決算】 3,850 千円	B	・令和3年度に行った実態調査結果をふまえ、令和4年度に地域公共交通計画を策定予定。 ・策定した計画に基づき、利便性が高く、効率性の高い移動手段の再構築を目指す。
	R4	・地域公共交通計画（法定計画）を策定 ※策定主体：川本町地域公共交通協議会 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・地域公共交通計画を策定。 ・令和5年度には持続可能な公共交通体系の実現を目指し公共交通計画の取り組みを進める。
	R5	・加藤病院移転に伴う路線バス延伸の協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和7年度の加藤病院移転に伴う運行案を関係各所に提示し、検討を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町内の公共交通の維持・確保	R3	・デマンドタクシーの運行 【予算】 4,816 千円 【決算】 4,816 千円	B	・自家用車や免許を保有していない方等の町内の公共交通手段としてデマンドタクシーの運行を実施。利用効果等を見極めながら継続して町内交通の維持に取り組む。
	R4	・デマンドタクシーの運行 【予算】 4,816 千円 【決算】 4,816 千円	B	・自家用車や免許を保有していない方等の町内の公共交通手段としてデマンドタクシーの運行を実施。利用効果等を見極めながら継続して町内交通の維持に取り組む。
	R5	・デマンドタクシーの運行 【予算】 4,816 千円 【決算】 4,816 千円	B	・自家用車や免許を保有していない方等の町内の公共交通手段としてデマンドタクシーの運行を実施。利用効果等を見極めながら継続して町内交通の維持に取り組む。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域内の移動手段の確保	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度策定予定の地域公共交通計画の内容を踏まえ、将来にわたり持続可能な交通のあり方と併せ検討を進める。
	R4	・地域公共交通計画（法定計画）を策定 ※策定主体：川本町地域公共交通協議会 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・令和4年度に地域公共交通計画を策定。 ・具体的取組について令和5年度から関係各所と調整を図る。
	R5	・交通事業運営業者との意見交換 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・自治会や地域運営組織等と連携、協議を行い、たすけあい交通等持続可能な交通体系の実現に向け取り組みを行う必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	05	基本施策名	公共交通の充実	施策の方向性	町内移動手段の維持・充実	3/3
--------	----	-------	---------	--------	--------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 免許返納者等への支援	R3	・高齢者フリーバスの交付 ・バスカード購入補助金の交付 ・タクシー利用助成の実施 【予算】 1,045 千円 【決算】 1,045 千円	B	・免許を返納した返納者や、元から免許を保有していない方に対し一定の利便性が確保された公共交通体系の維持を引き続き実施する。 ・一方で財政的負担等も踏まえ効率性を意識した取組に努める。
	R4	・高齢者フリーバスの交付 ・バスカード購入補助金の交付 ・タクシー利用助成の実施 【予算】 1,307 千円 【決算】 1,307 千円	B	・免許を返納した返納者や、元から免許を保有していない方に対し一定の利便性が確保された公共交通体系の維持を引き続き実施する。 ・一方で財政的負担等も踏まえ効率性を意識した取組に努める。
	R5	・高齢者フリーバスの交付 ・バスカード購入補助金の交付 (7/31をもって販売終了) ・タクシー利用助成の実施 【予算】 1,506 千円 【決算】 1,064 千円	B	・免許を返納した返納者や、元から免許を保有していない方に対し一定の利便性が確保された公共交通体系の維持を引き続き実施する。 ・一方で財政的負担等も踏まえ効率性を意識した取組に努める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 人材の確保・育成	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・現時点で町内公共交通やタクシー事業を委託している事業者で運転手確保の需要等はなし。 ・今後の公共交通のあり方を進めるうえで事業者の要望があれば確保に向けた支援を行う。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・現時点で町内公共交通やタクシー事業を委託している事業者で運転手確保の需要等はなし。 ・今後の公共交通のあり方を進めるうえで事業者の要望があれば確保に向けた支援を行う。
	R5	・島根の生活交通を考えるプロジェクトチームへの参画 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・島根県が主導となっているプロジェクトチームに参画し、今後のバス事業者に対する人材確保・育成に向け、協議を行う。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
06	移住・交流の推進	P46~48	まちづくり推進課

施策の方針	観光資源や地域資源を磨き、発信するとともに、町外の人との多様なつながりをつくる体制を強化することで、川本町の価値に共感する人の輪の拡大に努めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定住環境の整備</li> <li>・ 相談支援体制の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町の住宅支援制度の利用者数（令和3年度からの累計値） 【累計値】（単位：件）	目標値	7	15	22	30	37
	実績値	6	13	22		
	達成率	86%	87%	100%	%	%
相談事業を経た年間Iターン件数 【単年数値】（単位：件）	目標値	10	10	15	15	20
	実績値	19	11	18		
	達成率	190%	110%	120%	%	%
相談事業を経た年間Uターン件数 【単年数値】（単位：件）	目標値	4	4	5	6	6
	実績値	0	14	7		
	達成率	0%	350%	140%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPIは概ね達成又は同水準。令和5年1月～12月の社会人口+8名。</li> <li>・ 一般社団法人化したかわもと暮らしと連携のもと、引き続き移住・交流の取組を継続的に加速する。</li> <li>・ 一方で充実した住宅や子育てに係る支援制度はあっても、住まい環境が不足していることは課題。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅施策については町有地活用の観点も留意すること</li> <li>・ 職業紹介など相談対応の更なる充実を図ること</li> <li>・ 広島広域都市圏の仕組みを活用した観光交流の拡大に取り組むこと</li> <li>・ 交流を促進するうえで必要な宿泊施設の不足について検討すること</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係課と引き続きの連携を図り住宅施策の一層の充実を図ること</li> <li>・ 立地適正化計画の策定が完了するタイミングを控え民間活力を促す新たなスキームを検討すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 住み慣れた地域の暮らしが持続するまち（暮らし）
基本方針	持続可能な地域運営・たすけあいの仕組みづくり

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
06	移住・交流の推進	P46～48	まちづくり推進課

施策の方針	観光資源や地域資源を磨き、発信するとともに、町外の人との多様なつながりをつくる体制を強化することで、川本町の価値に共感する人の輪の拡大に努めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定住環境の整備</li> <li>・ 相談支援体制の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間Iターン者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	20	20	25	25	30
	実績値	7	3	20		
	達成率	35%	15%	80%	%	%
年間Uターン者数 【単年数値】（単位：人）	目標値	10	10	13	15	15
	実績値	8	1	12		
	達成率	80%	10%	92%	%	%
町内の関係案内所を通じたマッチング 件数 【単年数値】（単位：人）	目標値	0	5	10	10	15
	実績値	0	25	25		
	達成率	0%	500%	250%	%	%

評価	担当課評価
/	

評価	一次評価（副町長、総務課長）
/	

評価	最終評価（町長、教育長）
/	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	定住環境の整備	1/8
--------	----	-------	----------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 定住促進住宅の整備	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・新型コロナウイルスの影響で令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に2棟の建設を予定。また、民間事業者と連携した住宅施策のあり方について検討を進める。
	R4	因原地区に2棟を建設 【予算】 67,194千円 【決算】 66,111千円	B	・因原地区に2棟を建設。 ・2世帯（うち18歳未満3人）の1ターン実績。
	R5	因原地区にて4棟分の土地購入、建築設計を行った 【予算】 18,999千円 【決算】 18,442千円	B	・因原地区で2棟の建設を予定していたが、地盤改良の必要性が生じたため、事業見送りとなった。 ・令和6年度建設に向け、4棟分の土地購入、建築設計を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住まい確保の支援	R3	・住まいづくり応援事業の実施 【予算】 12,570千円 【決算】 12,570千円	B	・住宅購入助成事業（新築：1件 中古購入：5件）。 ・住環境確保支援のため引き続き事業を実施する。
	R4	・住まいづくり応援事業の実施 【予算】 8,709千円 【決算】 8,451千円	B	・住宅購入助成事業（新築：1件 中古購入：5件） ・住環境確保支援のため引き続き事業を実施する。 ※ただし、令和6年度から一部要件見直し予定
	R5	・住まいづくり応援事業の実施 【予算】 14,500千円 【決算】 22,918千円	B	・住宅購入助成事業（新築：2件、中古購入：5件） ・住環境確保支援のため引き続き事業を実施する。 ※ただし、令和6年度から一部要件見直し予定
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 住まい情報の発信	R3	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」との連携 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・かわもと暮らしへの情報の集約化等により住まい情報の安定的な受発信が可能となった。
	R4	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」との連携 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・「住まい相談」＝かわもと暮らしが町内でも徐々に認知され、空き家バンク登録情報や民間アパート情報を含め住まいの情報が集約化されマッチングの機会が増えている。
	R5	・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」との連携 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住まい相談を最初からかわもと暮らしへされることも増えており、さらに情報の集約化がされ、マッチングの機会が増えている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	定住環境の整備	2/8
--------	----	-------	----------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 空き家の利活用の推進	R3	・空き家バンク制度の運営 ・空き家バンク利活用促進事業費補助の実施 【予算】 783 千円 【決算】 783 千円	B	・令和3年度空き家バンク登録相談：18件 登録：空き家4件空き地3件 ・利活用促進事業費補助（家財撤去2件 ハウスクリーニング2件） ・空き家バンクへの登録から利活用までを促し流動化できるよう取組を継続。
	R4	・空き家バンク制度の運営 ・空き家バンク利活用促進事業費補助の実施 【予算】 2,500 千円 【決算】 2,139 千円	B	・令和4年度空き家バンク登録相談：29件 登録：空き家11件空き地1件 ・利活用促進事業費補助（家財撤去7件 ハウスクリーニング4件 相続登記2件） ・空き家バンクへの登録から利活用までを促し流動化できるよう取組を継続。
	R5	・空き家バンク制度の運営 ・空き家バンク利活用促進事業費補助の実施 【予算】 2,500 千円 【決算】 2,145 千円	B	・令和5年度空き家バンク登録相談：11件 登録：空き家7件、空き地2件 ・利活用促進事業費補助（家財撤去5件 ハウスクリーニング5件 相続登記4件） ・空き家バンクへの登録から利活用までを促し流動化できるよう取組を継続。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和3年度は実績なし。 ・戸建て賃貸住宅等も視野にいたれた補助事業の拡充を令和4年度に実施予定。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度は実績なし。
R5	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和5年度は実績なし。 ・令和5年度に要綱を改正し、事業対象を県内に拡充した。	
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	相談支援体制の充実	3/8
--------	----	-------	----------	--------	-----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ブランド戦略・PR戦略づくり	R3	・かわもと暮らしを中心としたPR活動の実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・新型コロナウイルスの影響により具体的なPR機会（定住フェア等）はなし。 ・オンライン開催にてテーマ設定（薪ストーブのある暮らし など）を設け一定の集客あり（60名）。
	R4	・かわもと暮らしを中心としたPR活動の実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・県外対面式相談会参加 5回 オンライン4回 ・計105名の相談受付 ・計13回の移住体験プログラム受入等によりPRを実施。
	R5	・かわもと暮らしを中心としたPR活動の実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・県外対面式相談会参加 6回 オンライン 3回 ・計120件の相談受付 ・計10回（16名）の川本町移住体験プログラム、計7名の移住ツアー受入等によりPRを実施
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 定住コーディネートの推進	R3	・かわもと暮らしの運営 【予算】 14,692千円 【決算】 14,692千円	B	・3名の定住相談員体制により充実した相談体制の構築ができています。 ・また、住まいや仕事など移住定住に不可欠な要素に対しそれぞれ担当を持ち、専門性も高めた取組を行っている。
	R4	・かわもと暮らしの運営 【予算】 14,584千円 【決算】 14,584千円	B	・3名の定住相談員体制により充実した相談体制の構築ができています。 ・住まいや仕事など移住定住に不可欠な要素に対しそれぞれ担当を持ち、専門性も高めた取組を行っている。加えて、職業紹介イベントなども主催しており、活動の幅も広がっている。
	R5	・かわもと暮らしの運営支援 【予算】 14,282千円 【決算】 14,282千円	A	・3名の定住相談員体制により充実した相談体制の構築ができています。 ・住まいや仕事など移住定住に不可欠な要素に対しそれぞれ担当を持ち、専門性も高めた取組を行っている。 また、移住者と地域住民の交流を図るイベントを開催し、移住後のサポートも充実させている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域おこし協力隊制度の活用促進と定着支援	R3	・かわもと暮らしによる協力隊相談体制の整備 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度からかわもと暮らしが地域おこし協力隊の相談業務を開始。月1回の定例面談のほか、活動補助金の申請サポートを行った。 ・スキルアップにつながる研修情報の提供など相談のワンストップ化による効果も現れているため、継続し実施する。
	R4	・例月個別面談の実施 ・初任者向け研修会の開催 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・昨年に続きかわもと暮らしにて協力隊の例月面談（相談受付）を実施。 ・外部研修への案内に加え、かわもと暮らしが主催し初任者研修を行うなど、活動の幅を広げている。
	R5	・例月個別面談の実施 ・初任者向け研修会の開催 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和4年度から引き続き、かわもと暮らしにて協力隊の例月面談（相談受付）を実施。 ・外部研修への案内に加え、かわもと暮らしが主催し初任者研修（4月、10月）を行い、地域おこし協力隊員同士や役場職員のつながりを作る試みに取り組んだ。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	相談支援体制の充実	4/8
--------	----	-------	----------	--------	-----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ マッチングサービス	R3	・かわもと暮らしによる就職相談窓口の開設、中学校でのジョブカフェイベントの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・かわもと暮らしにて職業紹介事業を実施。 ・ハローワークや事業者と連携した人材確保、移住希望者とのマッチングに加え、中学校での職業紹介イベントを開催。
	R4	・中学校、島根中央高校でのジョブカフェイベントの開催 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・昨年度に続き中学校での職業紹介イベントのほか、島根中央高校でのイベントも開催。 ・一般求職のほか、若年層への企業PR活動も行っている。
	R5	・中学校、島根中央高校でのジョブカフェイベントの開催 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・引き続き中学校、島根中央高校でのイベントを実施。 ・求人情報や企業情報の広報や若年層への企業PR活動を行っている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 情報発信	R3	・かわもと暮らしのホームページのリニューアル ・空き家、空き地バンク情報の一元化 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・移住定住サイト「かわもと暮らし」のリニューアルに伴い住まい情報等の一元化を実施。 ・かわもと暮らしにてLINE、Twitter等のSNSによる暮らしや住まいの情報発信を実施。
	R4	・かわもと暮らしのホームページによる住まい（空き家、民間住宅等）、仕事、移住相談等の一元情報の発信 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・移住定住サイト「かわもと暮らし」による情報の一元発信を継続。 ・かわもと暮らしにてLINE、Twitter等のSNSによる暮らしや住まいの情報発信を実施。
	R5	・かわもと暮らしのホームページによる住まい（空き家、民間住宅等）、仕事、移住相談等の一元情報の発信 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・移住定住サイト「かわもと暮らし」による情報の一元発信を継続。 ・かわもと暮らしにてLINE、Twitter等のSNSによる暮らしや住まいの情報発信を実施。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	関係人口の受け入れ体制の充実	5/8
--------	----	-------	----------	--------	----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 関係人口に関する戦略づくり	R3	-	B	・令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に向け県と連携した事業提案に応募し採択された。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。 ・移住・定住・交流促進事業（一財）地域活性化センターを活用した大学生インターンシップモデル事業を実施	B	・高校生とのつながり創出モデル事業専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：87名） 県外でのイベントの実施（東京0名・広島17名） 町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査 ・移住・定住・交流促進事業 2名の受け入れサポート+R5年度1名の受入決定PRのための動画作成
		【予算】 6,220千円 【決算】 5,970千円		
	R5	・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。	B	・高校生とのつながり創出モデル事業専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：144名） 県外でのイベントの実施（東京8名・広島7名） 町内企業に向けたインターンシップ制度に関する説明会実施（参加企業：8社） 町内企業のPR動画を作成
		【予算】 7,000千円 【決算】 5,731千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② 関係案内所の創設	R3	・かわもと暮らしによる窓口機能の整備。	B	・移住定住、観光協会なども含めたワンストップ窓口機能として組織運営。 ・地域ニーズの把握等までは行ったが具体的な事業化やマッチングには至らず。 ・ふるさと島根定住財団が運営する関係人口サイトマッチングサイト「しまっち」にルールバイクイベントを登録。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	・大学生インターン事業や高校生つながり創出モデル事業においてかわもと暮らしが受入窓口となり実施した。	B	・各事業でかわもと暮らしが窓口となり受入サポートを行った。移住・定住の窓口機能を有しており、住まい相談等円滑な対応ができることが確認できた。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	・大学生インターン事業や高校生つながり創出モデル事業においてかわもと暮らしが受入窓口となり実施した。	B	・令和4年度に引続き、各事業でかわもと暮らしが窓口となり受入サポートを行った。移住・定住の窓口機能を有しており、住まい相談等円滑な対応ができることが確認できた。 また、つながり創出モデル事業では、スポーツの試合の際のイベントへ出展するなど新たな試みを行ったところ、イベント後の卒業生交流会への参加者が増加するなど効果が確認できた。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 高校卒業生との関係維持（卒業生交流会、都心部でのイベント）	R3	-	B	・令和3年度は実績なし。 ・令和4年度に県と連携した取組にとり事業実施を予定。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	・高校生とのつながり創出モデル事業の実施	B	・高校生とのつながり創出モデル事業【再掲】専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：87名） 県外でのイベントの実施（東京0名・広島17名）
		【予算】 4,220千円 【決算】 3,970千円		
	R5	・高校生とのつながり創出モデル事業の実施	B	・高校生とのつながり創出モデル事業【再掲】令和4年度に引続き専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」を運営。登録者数を着実に伸ばしている。（登録者数：144名） 県外でのイベントの実施（東京8名・広島7名）
		【予算】 7,000千円 【決算】 5,731千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	関係人口の受け入れ体制の充実	6/8
--------	----	-------	----------	--------	----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 定期的な交流機会づくり	R3	-	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもと暮らしによる公式LINE登録促進を実施。</li> <li>・令和4年度以降高校卒業生とのつながりと併せ具体的な交流の機会づくりを実施予定。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>【再掲】</li> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。</li> <li>・移住・定住・交流促進事業（（一財）地域活性化センター）を活用した大学生インターンシップモデル事業を実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：87名）</li> <li>県外でのイベントの実施（東京0名・広島17名）</li> <li>町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査</li> <li>・移住・定住・交流促進事業</li> <li>2名の受け入れサポート+R5年度1名の受入決定PRのための動画作成</li> </ul>
		【予算】 6,220千円 【決算】 5,970千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：144名）</li> <li>県外でのイベントの実施（東京8名・広島7名）</li> <li>町内企業に向けたインターンシップ制度に関する説明会実施（参加企業：8社）</li> <li>町内企業のPR動画を作成</li> </ul>
	【予算】 7,000千円 【決算】 5,731千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 町外の教育機関との連携	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討中</li> <li>・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業について検討中。</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県立大学と実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業について検討。</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流（オンライン）、ハングル語講座、短期留学生の受け入れを県立大学と実施。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。</li> </ul>
	【予算】 0千円 【決算】 0千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	観光・交流の充実
--------	----	-------	----------	--------	----------

7/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 観光・交流コンテンツの充実	R3	・体験プログラムの実施による誘客（いわみん） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内実践者による体験プログラムの提供。 ・さらなる実践者の発掘、育成に取り組む。 ・県助成制度を活用した合宿誘致を図る。
	R4	・新規体験プログラムの実施による誘客（いわみん） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・石見川本駅を活用した体験プログラムを実施。 ・新たな資源、人材の発掘に引き続き取り組む。
	R5	・新規体験プログラムの実施（いわみん） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者と連携した体験プログラムの実施。 ・新たな体験型プログラムの検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 関連市町村と連携した広域観光の推進	R3	・江の川流域広域観光連携推進協議会への参画 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・江の川流域広域観光連携推進協議会への参画 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・誘客ツアーの催行、集客イベントの開催等に取り組む。
R5		・江の川流域広域観光連携推進協議会への参画 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・誘客ツアー催行、集客イベントを実施した。 ・町外イベントにおけるPR活動の実施。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 観光客の受け入れ環境の充実		R3	・各施設の修繕 ・指定管理者との協議 【予算】 64,450千円 【決算】 63,772千円	B
	R4	・各施設の修繕・整備 ・アウトドアイベント（観光協会 笹遊里） 【予算】 32,878千円 【決算】 32,853千円	B	・施設の老朽化等に伴う修繕を行い、安定的な施設運営を図った。 ・観光協会と連携した施設利用イベントの実施。
	R5	・アウトドアイベント（観光協会 笹遊里） ・おちぐんグルメフェア（道の駅） ・各施設の修繕、整備 【予算】 32,402千円 【決算】 33,127千円	B	・施設の老朽化等に伴う修繕を行い、安定的な施設運営を図った。 ・観光協会、郡内他町と連携した施設利用イベントを実施した。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	06	基本施策名	移住・交流の推進	施策の方向性	観光・交流の充実	8/8
--------	----	-------	----------	--------	----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 観光の担い手育成	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 具体的取組は行っていない。
	R4	・ 地域おこし協力隊の委嘱（1名） 【予算】 2,200 千円 【決算】 2,200 千円	B	・ 観光協会のスタッフとして1名配属した。
	R5	・ 地域おこし協力隊の支援 ・ 地域おこし協力隊の確保（1名） 【予算】 4,400 千円 【決算】 4,400 千円	B	・ 観光協会スタッフの確保（R6.4委嘱）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 姉妹縁組都市との交流充実	R3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施 【予算】 718 千円 【決算】 0 千円	B	・ 坂町との姉妹都市交流活動の取組であるが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、未実施となっている。 ・ 姉妹都市交流の充実に向けて、継続して取組が必要である。
	R4	・ 坂町・川本町特産品フェア ・ ようよう祭り 【予算】 351 千円 【決算】 66 千円	B	・ 従来型のイベント実施。 ・ 継続した取組、情報交換が必要。
	R5	・ 坂町・川本町特産品フェア（3事業者・11月） ・ ようよう祭り（1事業者・3月） 【予算】 473 千円 【決算】 95 千円	B	・ 坂町でのイベント共催、参加 ・ 観光協会を交えた坂町職員との意見交換
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
07	農林水産業の振興	P50~52	産業振興課

施策の方針	新たな就労者の確保や作業の効率化、生産基盤の保全などを進め、持続可能な農林水産業の確立を目指します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の高付加価値化の推進</li> <li>・ 農業基盤の整備・保全</li> <li>・ 林業の振興</li> <li>・ 水産業の振興</li> <li>・ 担い手の確保・育成</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
エゴマ10アールあたり販売額 【単年度値】（単位：円）	目標値	55,500	64,750	74,000	83,250	92,500
	実績値	36,200	40,984	40,000		
	達成率	65.2%	63.29%	54%	%	%
有害鳥獣被害額 【単年度値】（単位：千円）	目標値	1,600	1,500	1,400	1,200	1,000
	実績値	2,055	2,326	1,167		
	達成率	28.4%	55.1%	83.3%	%	%
荒廃竹林の整備面積 【単年度値】（単位：アール）	目標値	200	100	100	100	100
	実績値	0	33	0		
	達成率	0%	33.0%	0%	%	%

評価	担当課評価
B	<p>エゴマ生産者は高齢化により減少し、生産量も減少している。販売額向上のためには、新たな担い手の確保を図り、生産量の増加を推進していく必要がある。</p> <p>有害鳥獣被害防止対策は、既存の防止対策の他に、猿の群れ分布やGPSによる行動域の把握を実施した。それらを基に、関係機関と協力しながら大型捕獲檻による個体数の削減を実施する。</p> <p>荒廃竹林の整備実施に向け、場所の選定調査を森林組合と行ったが、地権者との調整に時間が有することから、実施可能な候補地が見当たらなかった。</p>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エゴマについては、有利な販売先の確保や生産効率化による収益増によって、担い手が確保できる環境をつくることに留意すること。</li> <li>・ 大学との包括協定（産学連携）なども有効に活用すること。</li> <li>・ 有害鳥獣対策については引き続き取組を行い効果的な駆除や追い払い対策につなげること。また、関係団体と連携を深めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業を中心に本町の産業に係る諸課題についての確かな把握、分析に加え、具体的なアクションにつなげること</li> <li>・ IT技術の導入の可能性について積極的に検討を進めること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
07	農林水産業の振興	P50~52	産業振興課

<b>施策の方針</b>	新たな就労者の確保や作業の効率化、生産基盤の保全などを進め、持続可能な農林水産業の確立を目指します。
<b>施策の方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業の高付加価値化の推進</li> <li>・ 農業基盤の整備・保全</li> <li>・ 林業の振興</li> <li>・ 水産業の振興</li> <li>・ 担い手の確保・育成</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
新たな森林管理システム実施面積 【累計値】（単位：ヘクタール）	目標値	10	15	20	25	30
	実績値	2	0	0		
	達成率	20%	0%	0%	%	%
新規就農者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	0	2	0		
	達成率	0%	200.0%	0%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
評価	<p>新たな森林管理システムの実施はないが、三島地区（中学校裏）の森林を選定し、地権者や現地確認を実施している。 新規就農者はいなかったが、コロナ禍が終了したことに伴い、都市圏での就農相談会に参加し、就農希望者のニーズを確認しながら、本町の就農プランの構築を検討する必要がある。</p>
評価	一次評価（副町長、総務課長）
評価	最終評価（町長、教育長）
評価	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業の高付加価値化の推進	1/8
--------	----	-------	----------	--------	--------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 循環型農業・有機農業の推進	R3	・土づくり育成事業の実施 ・環境保全型農業直接支払事業の実施 【予算】 2,600 千円 【決算】 2,350 千円	B	土づくり育成補助金は、有機堆肥への補助をおこなっており、有機農業の推進を図っている。環境保全型農業直接支払事業は、化学合成農業を5割以上、低減している農家へ補助しており、循環型農業の推進を図っている。
	R4	・土づくり技術導入補助金の交付 ・環境保全型農業直接支援対策交付金の交付 【予算】 2,610 千円 【決算】 1,969 千円	B	取組の実施により有機農業へ取り組んでいる営農団体もいることから、有機農業の維持に寄与する取組であり、継続することが重要。
	R5	・土づくり育成事業補助金 ・環境保全型農業直接支払事業補助金 【予算】 2,501 千円 【決算】 1,868 千円	B	有機的農業の推進を図るため、有機堆肥の活用、農業の低減を推進する農業者、営農団体の支援を継続することが重要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 水田農業の振興	R3	・経営所得安定対策等推進事業の実施 ・特別栽培米生産拡大事業の実施 【予算】 1,362 千円 【決算】 1,362 千円	B	水田農業の推進を図るため、経営所得安定対策推進事業の活用をおこなった。また、JAが推進する特色のある米づくりの推進の一翼であるハーブ米の栽培に対して、補助をおこなった。
	R4	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,162 千円 【決算】 1,150 千円	B	取組が町内全体の水田活用状況の把握や、水田活用の支援等へとつながっており、水田農業の振興のために継続して実施する必要がある。
	R5	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,187 千円 【決算】 1,022 千円	B	水田を活用した取組を支援することで、耕作放棄地対策に繋がっている。また、JAで推奨している特別栽培米（ハーブ米）の買取価格支援を行い、生産者の確保、面積の拡大を図った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ エゴマの高品質化の推進	R3	・奨励作物拡大支援補助金 ・島根県と連携した圃場確認 ・モンオビヒメヨトウ対策に伴う島根県農業技術センターとの共同施策（令和4年度実証圃設置） 【予算】 12,500 千円 【決算】 8,265 千円	B	県の専門機関と連携し、高品質化・高収量を目的に、害虫対策を協議してきた。その結果、令和4年度で、実証圃の検証をおこなっている。
	R4	・奨励作物拡大支援補助金の交付 ・エゴマ害虫防除実証ほ業務の実施 【予算】 12,720 千円 【決算】 7,741 千円	B	補助金はエゴマ生産を支える重要な制度であり、継続は必須。また実証ほ業務の実施により、害虫防除に関する一定の知見を得られた。
	R5	奨励作物拡大支援補助金の交付 【予算】 9,950 千円 【決算】 6,924 千円	B	補助金を継続し、エゴマ生産者への支援を行った。今後の課題として新たな担い手の確保が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業の高付加価値化の推進
--------	----	-------	----------	--------	--------------

2/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 畜産の振興	R3	・畜産予防注射補助事業 ・繁殖雌牛更新補助事業 【予算】 450千円 【決算】 207千円	B	町内の畜産農家に対して、補助をおこなった。また、令和4年度に新規就農者を目指す、若手畜産家と就農相談をおこない、新規就農支援をおこなった。
	R4	・畜産予防注射補助事業 ・繁殖雌牛更新補助事業 【予算】 450千円 【決算】 401千円	B	町内の畜産農家に対して、支援をおこなうことは必要である。また、若手畜産家と経営相談をおこない、新規就農支援をおこなった。
	R5	・畜産予防注射補助事業 ・繁殖雌牛更新補助事業 【予算】 370千円 【決算】 119千円	B	町内の畜産農家に対して、支援を行った。また、若手畜産農家と経営相談を行い支援を行った。畜産農家も高齢化しており、新たな担い手の確保が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	－ 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	令和4年度において、コラボレーションできる商品の調査予定。
	R4	えごま鴨だしラーメンの販売(民間事業者により実施) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	民間事業者を中心に新たな商品開発が実施された。
R5	－ 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	民間事業者を中心に新たな商品開発の検討が必要。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業基盤の整備・保全	3/8
--------	----	-------	----------	--------	------------	-----

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 農地の保全・管理の推進	R3	・ 中山間直接支払事業補助金 ・ 多面的機能支払交付金事業 【予算】 33,862 千円 【決算】 32,192 千円	B	多面的機能支払交付金事業については、町内10団体の一元化を図り、広域化することにより事務の簡素化及び新たな事業への取組が行われた。
	R4	・ 中山間地域等直接支払交付金 ・ 多面的機能支払交付金 【予算】 33,837 千円 【決算】 33,444 千円	B	取組によって25集落組織が農地の保全・管理を実施している。農地の保全・管理推進のため、継続して実施することが重要。
	R5	・ 中山間地域等直接支払交付金 ・ 多面的機能支払交付金 【予算】 33,883 千円 【決算】 33,871 千円	B	中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金の取組によって農地の保全・管理が行われている。荒廃農地対策として今後も継続していくことが重要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 先進技術を活用した省力化の推進	R3	・ 農業経営安定支援事業 ・ 三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 314 千円 【決算】 314 千円	A
R4		・ 三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	昨年度と同様に、3法人連携により、ドローンの共同防除を実施した。令和4年度において、若手オペレーターが1名増え、またT10のドローンを購入し、2台体制により、3法人以外の外部農地への防除も実施する運びとなった。担い手不在集落への支援等を視野にいたした支援が必要である。
R5		・ 三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	3法人連携により、ドローン共同防除を実施した。大型、小型の2台体制により実施し、令和5年度からは肥料散布に新たに取り組んだ。今後は、3法人以外の農地への防除等を拡大し、運営の安定化を図る必要がある。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 農地・農業施設整備の推進		R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B
	R4	- 【予算】 6,600 千円 【決算】 0 千円	B	認定新規就農者が、ハウスを設置予定であったが、資材価格にお高騰により断念している。令和5年度については、新規就農者が牛舎を建設予定であり、引き続き支援をおこなう必要がある。
	R5	農業経営安定支援事業補助金 【予算】 7,000 千円 【決算】 187 千円	B	令和5年度から対象を認定農業者等から出荷に取り組む農業者に拡充した。産直市出荷のためにハウス1棟が整備された。また、令和5年度に新規就農者が牛舎を建設予定であったが、令和6年度に建設されることになり、引き続き支援する必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	農業基盤の整備・保全
--------	----	-------	----------	--------	------------

4/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 鳥獣被害対策の推進	R3	有害鳥獣対策事業の実施 【予算】 6,232 千円 【決算】 6,073 千円	A	有害鳥獣被害防止の対策として、電気柵等の補助をおこなっているとともに、有害鳥獣被害に強い作物（ピーマン）の推進もJAと協働しておこなった。
	R4	有害鳥獣対策事業の実施 【予算】 8,520 千円 【決算】 8,514 千円	B	有害鳥獣被害防止の対策として、既存事業の支援とともに、猿のルートセンサスや各地域の被害状況調査をおこない、町内の被害状況の把握をおこなった。それらを基に、令和5年度については、GPSによる詳細なルートセンサスの解明と大型捕獲檻による個体数の削減を実施するため継続して支援が必要。
	R5	有害鳥獣対策事業の実施 【予算】 2,541 千円 【決算】 2,541 千円	B	令和5年度は鳥獣被害対策協議会が主体となり、国庫補助金を活用し、事業実施した。令和4年度の調査結果に基づき、町内2群にGPS発信機を装着し、行動域の調査や大型捕獲檻の導入、効果的な防護柵の設置研修等をおこなった。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	林業の振興
--------	----	-------	----------	--------	-------

5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 循環林業を目指した森林計画の再構築	R3	森林経営管理法に基づく森林施業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	谷戸地区において、初めて森林経営管理法に基づき、2haの森林施業をおこなった。今後においても、類似森林の掘り起こしを森林組合とおこなっている。
	R4	森林経営管理法に基づく森林施業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	森林組合と対象地域を調査した結果、三島地区（中学校裏山）を選定調査森林とし、令和5年6月末までに調査結果が出される予定であり、その後において、施業をおこなう予定。
	R5	森林経営管理法に基づく森林施業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	三島地区での森林施業を予定していたが、地権者との交渉が難航することが見込まれるため候補の森林の選定をおこなった。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 作業道の整備	R3	森林組合との作業道の選定 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	また、町内の森林団地を精査し、搬出・販売を視野に入れた、作業道の修繕箇所の選定をおこない、令和4年度に予算計上をおこなっている
	R4	森林組合との作業道の選定 【予算】 400千円 【決算】 400千円	B	町内の森林団地を、森林組合と現地確認をおこない、作業道（多田・円山）の修繕をおこなった。今後も、森林組合を協働しながら、森林施業に不可欠な路網整備を推進していく必要がある。
	R5	森林組合等との作業道の選定 【予算】 1,180千円 【決算】 1,180千円	B	町内の森林団地において、令和5年度は2社の業者が作業道の整備を新規におこなった。延長、1,180m（川内地区）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	水産業の振興
--------	----	-------	----------	--------	--------

6/8

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 江川漁業協同組合の支援	R3	・ 江川漁業振興協議会負担金 【予算】 46 千円 【決算】 46 千円	B	江川漁業への負担金
	R4	・ 江川漁業振興協議会負担金 ・ 親魚養成事業負担金 【予算】 692 千円 【決算】 692 千円	B	江川漁業への負担金 江の川沿線の市町村が、鮎の親魚の養成の支援をおこなっている。江の川の資源環境の向上に向けた、広域的な取り組みと考えるため、継続して支援が必要である。
	R5	・ 江川漁業振興協議会負担金(親魚養成事業) 【予算】 694 千円 【決算】 694 千円	B	江川漁業への負担金 江の川沿線の市町村が、鮎の親魚の養成の支援をおこなっている。江の川の資源環境の向上に向けた、広域的な取り組みと考えるため、継続して支援が必要である。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	担い手の確保・育成	7/8
--------	----	-------	----------	--------	-----------	-----

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 多様な就業モデルの構築	R3	地域おこし協力隊就農プランの作成 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	エゴマによる就農プランを作成し、地域おこし協力隊を募ったところ1名の募集があり、体験研修をおこなったが辞退となった。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	コロナ過により、都市圏の就農フェア等に参加することができず、地域おこし協力隊の募集をおこなうことができなかった。しかし、コロナ過が終了したことにより、就農フェアに参加をおこない、新規就農者の確保をおこなう予定である。
	R5	就農相談会への参加 【予算】 333千円 【決算】 318千円	B	新たな農業の担い手確保のため、都市圏での就農相談会に出席した。就農希望者のニーズを確認しながら、本町の就農プランの構築を検討する必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	・既存地域おこし協力隊及び新規就農者の就農支援 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	既存の地域おこし協力隊が令和4年3月で終了するにあたり、就農相談を毎週おこない、令和4年度には新規就農者のなった。また、親から承継予定の畜産農家の担い手と毎週、就農相談をおこない、令和4年度には新規就農者となった。
	R4	・新規就農者への営農相談及び支援 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	令和4年度は、2名の新規就農者を確保しており、今後の営農相談等を定期的に関係機関（鳥根県）とおこなった。畜産の新規就農者については、定期的に関係機関と営農相談会を開催し、令和5年度に牛舎の増築をおこなう予定となった。今後も、新規就農者を伴走支援をしていく必要がある。
R5	・新規就農者への営農相談及び支援 ・就農相談会への参加 【予算】 333千円 【決算】 318千円	B	新たな農業の担い手確保のため、都市圏での就農相談会に出席した。コロナ禍が終了したため、就農相談会への出席を継続する。畜産の新規就農者については、定期的に関係機関と営農相談を開催し、令和6年度に牛舎の増築実施予定となった。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 農業経営サポート体制の強化	R3	・三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	三原地区の農事組合法人の3法人の連携により、ドローンの共同防除が本格始動となった。内容精査の結果、従来の作業と比較すると約6割減の省力化が図れた。
	R4	・三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	昨年度と同様に、3法人連携により、ドローンの共同防除を実施した。令和4年度において、若手オペレーターが1名増え、またT10のドローンを購入し、2台体制により、外部の農地への防除も実施する運びとなった。しかし、美郷町のような「農業経営サポート体制」を構築していくことは、更なる検討が必要である。
	R5	・三原地区3法人の広域化連携によるドローンの共同防除事業 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	3法人連携により、ドローン共同防除を実施した。大型、小型の2台体制により実施し、令和5年度からは肥料散布に新たに取り組んだ。今後は、3法人以外の農地への防除等を拡大し、運営の安定化を図る必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	07	基本施策名	農林水産業の振興	施策の方向性	担い手の確保・育成
--------	----	-------	----------	--------	-----------

8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 利用権設定農地の確保	R3	・ 農地中間管理機構事業人件費（会計年度職員） 【予算】 2,516 千円 【決算】 2,516 千円	B	農地中間管理機構と連携した、利用権設定の推進による農地確保を図った。
	R4	・ 農地中間管理機構事業人件費（会計年度職員） 【予算】 2,628 千円 【決算】 2,628 千円	B	農地中間管理機構と連携し、利用権設定の推進による農地確保を図った。農地の保全・管理、また荒廃農地の削減を図る上で、必要である。
	R5	・ 農地中間管理機構事業人件費（会計年度職員） 【予算】 2,535 千円 【決算】 2,454 千円	B	農地中間管理機構と連携し、利用権設定の推進による農地確保を図った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
08	商工業・サービス業の振興	P54~55	産業振興課

施策の方針	町民の暮らしを支える商工業・サービス業を維持し、生活利便機能と雇用の維持、町の拠点エリアの魅力向上を図ります。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元事業者への支援の充実</li> <li>・新たなサービス業の振興</li> <li>・町の拠点エリアの魅力向上</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の起業件数（令和3年度からの累計値） 【累計値】（単位：件）	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1	3		
	達成率	100%	33.3%	75.0%	%	%
弓市地区での起業・開業者数（令和3年度からの累計値） 【累計値】（単位：件）	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	1	1	2		
	達成率	100%	50.0%	66.7%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊員出身者による起業（開業）が1件あった。</li> <li>・任期満了を迎えた地域おこし協力隊員（1名）に対し交付税を活用した補助金、起業・創業に関する支援策、県によるセミナー等の周知を行い、確実な起業に結びつける。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から行われている商工会や（一社）かわもと暮らしなど関係機関と情報交換会を密にし、事業承継や新たなビジネスチャンスにつながる細やかな情報把握に努めること。</li> <li>・地域おこし協力隊等で起業を志す方の募集を継続し実施すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係機関と連携を図り具体的な課題に基づく取組を明確にすること</li> </ul>

- 【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	08	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	地元事業者への支援の充実	1/4
--------	----	-------	--------------	--------	--------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 事業者の経営安定支援	R3	・小規模事業者経営改善資金利子補給金交付(25件) ・災害対策特別資金利子補給(4件) 【予算】 1,200千円 【決算】 693千円	B	・融資の償還を行う事業者の経営安定の一助となっている。
	R4	・小規模事業者経営改善資金利子補給金交付(18件) ・災害対策特別資金利子補給(4件) 【予算】 906千円 【決算】 686千円	B	・償還を行う事業者の経営安定の一助となっている
	R5	・小規模事業者経営改善資金利子補給金交付(16件) ・災害対策特別資金利子補給(4件) 【予算】 623千円 【決算】 515千円	A	・補助対象を拡充した内容への見直しを検討
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 事業承継の支援	R3	・川本町商工会との協議 ・島根県との協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業所の減少対策として引き続き実態把握と対策に取り組む。
	R4	・川本町事業承継推進協議会への参画 ・島根県、引継ぎセンターとの協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県、商工会と連携し支援制度の周知等に引き続き取り組む
	R5	・川本町事業承継推進協議会への参画 ・島根県、引継ぎセンターとの協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県等関係機関と連携し、支援制度及びセミナー等の周知に引き続き取り組む ・商工会との定期的な協議により町内事業者の現状把握を継続する
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 商店街の振興	R3	・かわもと景気回復応援券の発行(新型コロナ) 発行数: 63,620枚(3,181部) 利用実績: 62,542枚(98.3%) 【予算】 29,976千円 【決算】 31,271千円	B	・交付金を活用した消費喚起策となった。 ・商工会と連携した振興策に取り組む。
	R4	・かわもと景気回復応援券の配布【新型コロナ】 配布額: 42,857,000円 利用実績額: 41,600,500円(97.0%) ・電子決済普及事業【新型コロナ】 まげなポイント利用額: 13,051,008円 【予算】 73,386千円 【決算】 72,872千円	B	・交付金を活用した消費喚起となった ・引き続き商工会と連携した振興策に取り組む
	R5	・かわもと景気回復応援券の配布【新型コロナ】 配布額: 32,760,000円 利用額: 32,209,000円(98.3%) ・電子決済普及事業(まげなポイント) 決済還元(第1弾・第2弾): 4,178,859円 健診・検診: 69,177円 ・物価高騰対応商品券の配布(R6繰越) 事務委託料: 19,187,240円 委託先: 川本町商工会 既支払額: 14,000,000円 【予算】 64,881千円 【決算】 48,876千円	B	・商品券及びキャッシュレス決済による消費拡大につながった ・物価高騰対応商品券事業に引き続き取り組む ・商工会と連携した消費喚起策を検討する
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

主な取組に評価シート

基本施策番号	08	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興	2/4
--------	----	-------	--------------	--------	-------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・福祉事業及び健康関連産業の育成	R3	・医療・介護事業者の実態ニーズ把握方法の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・医療・介護事業者の実態を把握し、需要ニーズ及び町内事業者との関わりを進める。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは行っていない
	R5	・商工会との定期的な協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・医療・介護事業者の実態把握を進める
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② コミュニティビジネス開発支援	R3	・地域商業等支援事業（移動販売開業補助：0件） 【予算】 4,614千円 【決算】 4,614千円	B	・買い物不便者の実態把握が必要。
	R4	・地域商業等支援事業（移動販売開業補助）申請：0件 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・引き続き補助制度の活用により起業、開業の支援を行う
	R5	・地域商業等支援事業（移動販売・買い物不便対策事業）に係る補助率を改定 ※1/2→2/3 実績：0件 【予算】 4,000千円 【決算】 0千円	B	・補助制度を活用し新規開業者の支援に取り組む
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 事業者の相談支援体制の強化	R3	・商工会を中心とした事業者の窓口対応。 【予算】 5,285千円 【決算】 5,285千円	B	・商工会と連携した事業者の相談対応。 ・商工会との定期的な情報共有。
	R4	・商工会を中心とした事業者の窓口対応 【予算】 5,220千円 【決算】 5,220千円	B	・商工会と定期的な協議の場を持ち情報共有を行う
	R5	・商工会を中心とした事業者の窓口対応 【予算】 5,000千円 【決算】 4,943千円	B	・商工会との定期的な協議による情報共有、町内事業者の現況把握を図った
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	08	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興
--------	----	-------	--------------	--------	-------------

3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 特定地域づくり事業協同組合の運営支援	R3	-	B	・組合設立について検討を進めたが、事業者へのヒアリング等から現時点では需要が乏しいため設立を見送った。 ・国や県等と情報交換を行いながら引き続き検討を進める。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	-	B	・令和3年度に続き全国や近隣の導入事例を見ながら検討を進めたが、事業者ニーズが不足している等の理由から導入には至っていない。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	-	B	・令和4年度に続き導入には至っていない。 ・全国や近隣の導入事例、補助事業等を参考に調整、検討が必要。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7				
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R3			
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R3			
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R3			
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	08	基本施策名	商工業・サービス業の振興	施策の方向性	新たなサービス業の振興	4/4
--------	----	-------	--------------	--------	-------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 空き店舗対策の充実	R3	・商工会による空き店舗データベースHP「つながる、かわもと」の運営 空き店舗掲載件数：4件 【予算】 3,870千円 【決算】 1,964千円	B	・空き店舗を活用した進出事業者の情報収集。 ・新たな活用可能な空き店舗の把握。
	R4	・商工会による空き店舗データベースHP「つながる、かわもと」の運営 空き店舗掲載件数：4件 ・商工会を窓口とした空き店舗相談対応 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・新たな活用可能空き店舗の把握
	R5	・地域商業等支援事業費補助金の活用実績：1件 ・商工会による空き店舗データベースHP「つながる、かわもと」運営 ・商工会を窓口とした空き店舗相談対応 【予算】 4,000千円 【決算】 678千円	B	・補助金活用による新規開業：1件 ・商工会と連携し、活用可能な空き店舗等の把握、選定を進める
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	・観光協会によるレールバイクイベント等の実施 ・交流人口拡大推進事業補助金（かわもと暮らし） 【予算】 26,500千円 【決算】 19,210千円	B	・イベント実施による賑わい創出。
	R4	・観光協会による駅活用イベントの実施 ・交流人口拡大推進事業補助金（かわもと暮らし） 【予算】 15,050千円 【決算】 15,050千円	B	・継続的なイベント実施による賑わい創出
R5	・観光協会による駅活用イベントの実施 ・交流人口拡大推進事業補助金（かわもと暮らし） 【予算】 17,250千円 【決算】 16,750千円	B	・継続的なイベント実施による賑わい創出	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ まちの魅力化助成の導入	R3	・レールバイクイベントへの高校生スタッフの参加。 ・弓市ストアの開催。 【予算】 950千円 【決算】 950千円	B	・商店街、駅舎等を活用したイベント実施者の発掘。 ・イベント実施に対する助成制度の検討。
	R4	・レールバイク、アウトドアイベント、イルミネーション点灯式への高校生スタッフの参加 【予算】 950千円 【決算】 950千円	B	・商店街との関わり方の検討。 ・助成制度の検討。
	R5	・レールバイク、アウトドアイベント、イルミネーション点灯式への高校生スタッフの参加 【予算】 956千円 【決算】 956千円	B	・商店街との関わり方の検討。 ・助成制度の検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
09	経済循環の向上	P56~57	産業振興課

施策の方針	域内経済の活性化を図るため、町内消費者や事業所・施設などによる町内調達を推進し、町内での商取引の拡大促進を図るとともに、町内産品の町外への販売促進を図り、経済循環を高めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元事業者への支援の充実</li> <li>・新たなサービス業の振興</li> <li>・町の拠点エリアの魅力向上</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
電子決済導入事業者（店舗）数 【累計値】（単位：件）	目標値	20	60	70	75	80
	実績値	20	61	60		
	達成率	100%	101.7%	85.7%	%	%
道の駅への新規出荷組合員数 【累計値】（単位：人）	目標値	1	1	1	1	3
	実績値	2	3	10		
	達成率	200%	300.0%	1000%	%	%
道の駅かわもとの売上高 【単年度値】（単位：百万円）	目標値	152.8	152.8	152.8	168.1	183.4
	実績値	139.3	151.4	156.5		
	達成率	91.16%	99.1%	102.40%	%	%

評価	担当課評価
B	産直市出荷者と協議などを実施したことにより、道の駅への新規出荷組合員数は目標値を達成することができた。 道の駅かわもとの売上高は、コロナ禍の終了により、道の駅への来店者が増加した。施設の魅力向上を推進し、次年度以降も更なる増加を目指す。

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ明けによる道の駅への来客者増の流れを維持し売上高増につなげる</li> <li>こと。</li> <li>・6次産業化の助成制度等を活用しながら出荷組合との連携を強化し、商品の開発や組合員数の維持拡大に努めること。</li> <li>・電子決済導入については町内事業者の意見を聞きながら事業の改善に努めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ブランドの発信拠点となる道の駅について、立地適正化計画策定後の動きも見据えながら建替え等について速やかに検討すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	09	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	医療機関を中心とする経済循環の強化
--------	----	-------	---------	--------	-------------------

1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療・介護関連物資の町内調達の強化	R3	・町内調達に関する実態把握調査方法の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・調査を実施し現状の把握が必要。
	R4	・実態把握、調査方法の検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関連施設における実態と対応可能策の検討
	R5	・実態把握、調査方法の検討 ・商工会との定期的な協議による状況把握 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関連施設における実態と対応可能策の検討
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 町内事業者の共同受注の仕組みの構築	R3	・町内調達に関する実態把握調査方法の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・商工会との協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者の現状と動向の把握。
R5		・商工会との定期的な協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者の現状と動向の把握。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	09	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	道の駅を中心にした経済循環の拡大
--------	----	-------	---------	--------	------------------

2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域ブランドの発信拠点としての機能充実	R3	・ SNS等を通じた情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 指定管理者によるSNSによる情報発信。 ・ 道の駅店内表示(商品ポップ)の作成。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 新たな商品開発の検討。
	R5	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 新たな商品開発の検討。
	R6	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
② 「道の駅」への出荷者の確保・育成	R3	・ 生産者出荷組合との意見交換。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 指定管理者を交えた意見交換を行い、現状、ニーズの把握。
	R4	・ 生産者出荷組合との意見交換。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 地域農業再生協議会を通じた意見交換による活動の実施、検討。
	R5	・ 生産者出荷組合との意見交換、視察研修。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ 地域農業再生協議会を通じた意見交換、視察研修の実施。
	R6	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	千円 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	千円 【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	09	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	新たな経済循環の形成
--------	----	-------	---------	--------	------------

3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 産業連関の把握	R3	・現状把握方法の検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・商工会と連携した町内消費等の現状把握方法を検討する。
	R4	・商工会との協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・商工会と連携した町内消費等の現状把握方法を検討する。
	R5	・商工会との定期的な協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・商工会と連携した町内消費等の現状把握方法を検討する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地産地消の推進	R3	・学校給食における町内調達率の調査実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・医療、福祉施設への調査を実施し、現状の把握が必要。
	R4	・実態把握、調査方法の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関連施設における域内消費の実態把握を検討。
	R5	・実態把握、調査方法の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関連施設における域内消費の実態把握を検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 観光における経済循環の向上	R3	・江の川流域広域観光連携推進協議会による誘客企画。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町ならではの体験プログラム等の開発。
	R4	・江の川流域広域観光連携推進協議会による誘客ツアー、いわみんの実施。 ・観光協会、各施設における電子決済導入。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・旧三江線、駅舎等を活用したイベント等の実施。 ・来訪者の消費喚起策の検討。
	R5	・江の川流域広域観光連携推進協議会による誘客ツアー、イベント実施及びいわみん参画 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・旧三江線、駅舎等を活用したイベント等の実施。 ・まげなポイント事業による外貨獲得機会の創出
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	09	基本施策名	経済循環の向上	施策の方向性	新たな経済循環の形成
--------	----	-------	---------	--------	------------

4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 新しい物流の仕組みづくり	R3	・スクールバスを活用した出荷方法の実証実験(ピーマン) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・JA、生産者と連携した実証実験を実施。 ・農産物以外の商品、サービスの提供を検討する。 ・運送事業者との協議。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的な実証事業の実施 ・ピーマン農家の出荷作業の効率化
	R5	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	D	・ピーマン農家の出荷作業の効率化を進めたが、生産者の車両で直接出荷するなど、利用者がいないため、終了が望ましい。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・企業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
10	起業支援・企業誘致の推進	P58~59	産業振興課

施策の方針	起業支援・町外からの企業誘致により、町に新たな力や人材を取り込み、新たな産業の育成を目指します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業支援の充実</li> <li>・ 企業誘致の推進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の起業件数（令和3年度からの累計値）【再掲】 【累計値】（単位：件）	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1	3		
	達成率	100%	33.3%	75.0%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域おこし協力隊出身者(1名)の着実な起業に結び付けるため、相談及び支援に取り組む。</li> <li>・ 新規起業者の発掘、企業の進出を促すため、支援制度の検討を行う。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度から行われている商工会や（一社）かわもと暮らしなど関係機関と情報交換会を密にし、事業承継や新たなビジネスチャンスにつながる細やかな情報把握に努めること。</li> <li>・ 誘致企業については町内での再投資による雇用拡大に向けて関係を密にして取組を進めること。</li> <li>・ また、新規の企業誘致については本町の強み等を整理してプロモーションできる体制を構築すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	10	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	起業支援の充実
--------	----	-------	--------------	--------	---------

1/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 弓市ビジネスチャレンジコンペティションの継続	R3	・既存事業者の事業継続に注力のため実施せず。 【予算】 152 千円 【決算】 0 千円	C	・新規起業家等の募集ではなく、既存事業者への支援、事業継続策を実施する。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	・具体的な取り組みは行っていない
	R5	・R6実施に向けた検討 ・商工会との定期的な協議による事業実施の検討 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・商工会との協議による空き店舗や業種の選定を進める ・R6予算計上（募集経費）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 起業支援	R3	・しまね産業振興財団等による支援事業、セミナー等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業型地域おこし協力隊への継続的な支援、情報提供。
	R4	・しまね産業振興財団等による支援事業、セミナー等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業家となりうる人材の発掘と継続的な支援及び情報提供の実施。
	R5	・しまね産業振興財団等による支援事業、セミナー等の情報発信。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・起業家となりうる人材の発掘と継続的な支援及び情報提供の実施。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 商工業担い手育成支援事業の強化	R3	・起業型地域おこし協力隊への支援。 【予算】 18,600 千円 【決算】 18,600 千円	B	・任期満了、卒業後の協力隊への継続的な関わり、情報提供。
	R4	・起業型地域おこし協力隊への支援 【予算】 13,966 千円 【決算】 13,966 千円	B	・任期満了後の隊員との継続的な関わり ・起業家となりうる人材の発掘
	R5	・起業型地域おこし協力隊への支援 【予算】 6,266 千円 【決算】 3,566 千円	B	・任期満了後の隊員との継続的な関わり ・各種情報の提供 ・起業家となりうる人材の発掘
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	10	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	起業支援の充実
--------	----	-------	--------------	--------	---------

2/4

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ コワーキングスペースの整備推進	R3	・物件の選定、整備等の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・コワーキングスペースに対するニーズ把握。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取組みは行っていない
	R5	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取組みは行っていない
	R6	千円 【決算】 千円		
	R7	千円 【決算】 千円		
	⑤ 子ども達の起業マインドの養成	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・高校「まちごとキャンパス学習」による事業所体験。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・起業した事業者との継続的な関わりが必要。
R5		・高校「まちごとキャンパス学習」による事業所体験や企業ガイダンスへの参加。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・起業した事業者との継続的な関わり。 ・職業等について知る機会づくりの検討。
R6		千円 【決算】 千円		
R7		千円 【決算】 千円		
		R3	0千円 【決算】 0千円	
	R4	千円 【決算】 千円		
	R5	千円 【決算】 千円		
	R6	千円 【決算】 千円		
	R7	千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	10	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	企業誘致の推進
--------	----	-------	--------------	--------	---------

3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 株式会社三協の関連企業の誘致の推進	R3	・三協との協議、情報共有の実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・三協のニーズ、必要な支援策等の検討。
	R4	・三協との協議、情報共有（広報紙の発行）。 ・植樹イベントの実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的な協議、効果的な支援策の検討が必要。
	R5	・三協との協議、情報共有（広報紙の発行）。 ・植栽イベントの実施や各種イベントへの参加。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的な協議を行い、企業のニーズに合った効果的な支援策の検討が必要。 ・各種イベントの情報発信を行い、継続的に交流を図る。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② IT系企業のサテライトオフィス等の誘致の推進	R3	・かわもとテレワークスペース0to-LaVoへの新規入居(1件) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県等と連携した進出企業の把握。 ・サテライトオフィスに必要な物件選定、整備等の検討。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは行っていない
	R5	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは行っていない
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ ターゲットを絞った誘致活動の推進	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的取組は実施せず。 ・ターゲットとする業種の選定を進める。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは実施していない。
	R5	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは実施していない。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	10	基本施策名	起業支援・企業誘致の推進	施策の方向性	企業誘致の推進
--------	----	-------	--------------	--------	---------

4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 誘致企業の人材確保支援	R3	・島根県人材育成コーディネーターとの協議。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・企業のニーズ把握。 ・県と連携した企業側への協力依頼。
	R4	・島根県人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的なガイダンスの開催と参加呼びかけ。
	R5	・島根県人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的なガイダンスの開催と参加呼びかけ。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 情報通信網の充実	R3	FTTH施設の維持管理。 【予算】 72,233千円 【決算】 71,228千円	B	・町内一円にFTTHが導入済みのため、現在は既存施設の維持管理が中心。 ・今後、最新の通信技術の導入の検討が必要。
	R4	・FTTH施設の維持管理。 【予算】 74,125千円 【決算】 73,679千円	B	・町内一円にFTTHが導入済みのため、現在は既存施設の維持管理が中心。 ・今後、最新の通信技術の導入の検討が必要。
	R5	・FTTH施設の維持管理。 【予算】 71,841千円 【決算】 70,881千円	B	・町内一円にFTTHが導入済みのため、現在は既存施設の維持管理が中心。 ・今後、最新の通信技術の導入の検討が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 暮らしを支える生業、地域資源を活かした産業が根付くまち（産業）
基本方針	産業育成・起業支援

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
11	雇用機会の充実と安定	P60~61	産業振興課

施策の方針	事業者が人材を確保できるように支援するとともに、すべての人が働きやすく、活躍できるような就労環境の実現を目指します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者の人材確保の支援</li> <li>・子育て世代が働きやすい環境づくり</li> <li>・多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援</li> <li>・誰もがいきいき働ける職場づくり</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内企業ガイダンスへの参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	40	45	50	55
	実績値	0	62	88		
	達成率	-	155.0%	195.6%	%	%
「かわもと暮らし」における就業相談件数 【単年度値】（単位：人）	目標値	10	10	15	15	20
	実績値	10	3	6		
	達成率	100%	30.0%	40.0%	%	%
「夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業」申請件数 【累計値】（単位：件）	目標値	2	10	20	30	40
	実績値	2	4	6		
	達成率	100%	40.0%	30.0%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内企業ガイダンスの開催が、求職者と企業とのマッチング、高校生の将来的なUターン就業機会の創出となった。</li> <li>・企業ガイダンスについては、参加者数の増加がみられているため今後も継続して開催したい。</li> <li>・多様な就労について、就労者及び事業者への意識啓発に取り組む。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深刻な人手不足が継続する中、若年層等に対する企業情報の発信や、事業者側に魅力ある職場を整備してもらうための意識啓発を継続すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	11	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	事業者の人材確保の支援
--------	----	-------	------------	--------	-------------

1/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高校生への町内就職情報等の提供	R3	・雇用促進協議会による会員事業所と進路指導教諭とのガイダンス実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・学校側への継続的なアプローチ。 ・中高生向け町内企業ガイダンスの実施計画。
	R4	・雇用促進協議会による企業と高校との意見交換会の開催。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・企業と学校をつなぐ場の提供。
	R5	・雇用促進協議会による企業と高校との意見交換会の開催。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・企業と学校をつなぐ場の提供。 ・情報発信の方法等を検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 新規雇用促進や離職防止支援	R3	・企業人材確保育成支援事業(0件) 【予算】 500千円 【決算】 0千円	C	・事業者のニーズを把握し活用しやすい補助制度等の検討が必要。
	R4	・企業人材確保育成支援事業(1件) 【予算】 200千円 【決算】 91千円	C	・商工会と連携し、事業者のニーズを把握し活用しやすい補助制度等の検討が必要。
	R5	・企業人材確保育成支援事業(3件) 【予算】 200千円 【決算】 161千円	B	・商工会と連携し、事業者のニーズを把握し活用しやすい補助制度等の検討が必要。 ・企業への周知方法等を検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 企業と連携した人材確保支援	R3	・人材確保コーディネーターとの協議。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・事業者のニーズ把握。 ・企業ガイダンス等の実施が必要。
	R4	・人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的な企業ガイダンスの開催。
	R5	・人材確保コーディネーターとの協議。 ・町内企業ガイダンスの開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的にコーディネーターと連携。 ・途切れることなく継続的に企業ガイダンスを開催することが必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	11	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	子育て世代が働きやすい環境づくり
--------	----	-------	------------	--------	------------------

2/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 意識改革の推進	R3	・ 島根県等が主催するセミナー開催の周知。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 雇用促進協議会による継続的な取り組みが必要。
	R4	・ 島根県等が開催する研修、セミナー開催の周知。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 雇用促進協議会、商工会を通じて制度やセミナー開催等の周知、参加促進を図る。
	R5	・ 島根県等が開催するセミナーや制度に関する周知（チラシ配架） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 雇用促進協議会、商工会を通じてセミナーや制度に関する周知を引き続き行う。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 就業規則の改定に向けた支援	R3	・ 国や県制度、法律改正等の情報発信。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 商工会やハローワークと連携した事業者への継続的な情報発信。
	R4	・ 国や県制度、法律改正等の情報発信。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 商工会やハローワークと連携した事業者への継続的な情報発信。
	R5	・ 国や県制度の情報発信（チラシ配架） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 商工会やハローワークと連携した事業者への継続的な情報発信
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	11	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援
--------	----	-------	------------	--------	---------------------

3/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高齢者の再就職支援	R3	・ハローワーク求人情報の公開(町HP、雇用促進協議会HP) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ハローワーク等と連携した高齢者に特化した取り組みの検討が必要。
	R4	・ハローワーク求人情報の公開(町HP、雇用促進協議会HP) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ハローワーク等と連携し、高齢者の就労に対する意識や求職状況の把握が必要
	R5	・ハローワーク求人情報の公開(町HP、雇用促進協議会HP、チラシ配架) ・高齢者向けセミナー等の情報発信(町広報紙掲載) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ハローワーク等と連携し、高齢者の就労に対する意識や求職状況の把握が必要
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 事業者の意識啓発	R3	・ 県、技術校などの情報提供。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・ 県、技術校などの情報提供。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 高齢者雇用に関する制度、支援策等の情報収集及び発信
R5		・ 県、技術校などの情報提供 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ 高齢者雇用に関する制度、支援策等の情報収集及び発信
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 事業者の意識啓発及び雇用支援	R3	・ 企業情報2021の発行 【予算】 30千円 【決算】 30千円	B	・ 雇用促進協議会への負担金支出。 ・ 雇用促進協議会による小中高生向け会員企業情報誌を発行。
	R4	・ 町内企業ガイダンスの開催 ・ 高校との意見交換会(雇用促進協議会) 【予算】 30千円 【決算】 30千円	B	・ 継続的な企業ガイダンスの開催。
	R5	・ 町内企業ガイダンスの開催 ・ 高校との意見交換会(雇用促進協議会) 【予算】 30千円 【決算】 30千円	B	・ 継続的な企業ガイダンスの開催。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

主な取組に評価シート

基本施策番号	11	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	多様な立場・状況に応じた雇用・就業支援
--------	----	-------	------------	--------	---------------------

4/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 相談体制の充実	R3	・相談体制の検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・他課、関係機関等と連携した体制づくりを進める。
	R4	・相談案件の把握。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・他課、関係機関等と連携した体制づくりの検討が必要。
	R5	・相談案件の把握。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・他課、関係機関等と連携した体制づくりの検討が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	11	基本施策名	雇用機会の充実と安定	施策の方向性	誰もがいきいき働ける職場づくり
--------	----	-------	------------	--------	-----------------

5/5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ワークライフバランスの推進支援	R3	・雇用促進協議会を通じて会員事業所への情報提供。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県や関係機関が実施するセミナー等を周知。
	R4	・雇用促進協議会を通じて会員事業所への情報提供。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県や関係機関が実施するセミナー等を周知。
	R5	・雇用促進協議会を通じて会員事業所への情報提供。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県や関係機関が実施するセミナー等を周知。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② テレワーク環境の整備支援	R3	・町内テレワークニーズの把握方法検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業所、施設等のテレワーク利用実態を把握する必要がある。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・具体的な取り組みは行っていない
	R5	・テレワーク拠点施設「オトラボ」の機器更改（PC等）の検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・島根県等を通じた施設PRに取り組む
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
12	結婚・子育て支援の充実	P62~64	健康福祉課

施策の方針	川本町で生まれ、育つ子ども達と育てる保護者が、川本で子育て出来て良かったと感じることができるよう、きめ細かな子育て支援を進めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚・出産・子育てしやすい環境の充実</li> <li>・健やかに子育てする環境の充実</li> <li>・地域で支える環境の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
年間出生者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	20	20	20	20	20
	実績値	16	16	14		
	達成率	80%	80.0%	70.0%	%	%
保育所待機児童数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
地域住民主体の子育て拠点施設の年間利用者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	250	250	300	350	400
	実績値	0	10	240		
	達成率	0%	4.0%	80%	%	%

評価	担当課評価
B	子育てしやすい環境の充実に向けて、令和5年2月から出産子育て応援交付金事業を開始し、経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施した。また、中間支援組織に補助金を交付し子ども食堂（いただきますの日）の実施や子どもの子育て・子育てに関する研修会を開催し、住民主体の子育てする環境の充実に向けて取り組んだ。今後も中間支援組織のさらなる活用について関係機関と連携して取り組む必要がある。出生数増加に関しては、移住や定住施策も関連するためまちづくり推進課と連携し取り組む。

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	引き続き充実した子育てしやすい環境づくりに取り組むとともに、出生率増加については広報活動や移住定住施策と連携した取り組みを行うこと。

評価	最終評価（町長、教育長）
B	一次評価のとおりとする

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	12	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	結婚・出産・子育てしやすい環境の充実	1/4
--------	----	-------	-------------	--------	--------------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 結婚支援の充実	R3	・しまね縁結びサポートセンターが実施する、マッチングサイト「しまこ」登録支援イベントへの広報協力 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・近隣市町での「しまこ」登録支援イベントの町内広報にも協力し、町内からも近隣市町への同イベントに参加実績あり。 ・民間事業者が実施するイベント補助はコロナ禍もあり活用なし。 ・引き続き縁結びサポートセンターと連携した広域での支援を行う。
	R4	・しまね縁結びサポートセンターが実施する、マッチングサイト「しまこ」登録支援イベントへの広報協力 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・近隣市町での「しまこ」登録支援イベントの町内広報にも協力し、町内からも近隣市町への同イベントに参加実績あり。 ・民間事業者が実施するイベント補助はコロナ禍もあり活用なし。 ・引き続き縁結びサポートセンターと連携した広域での支援を行う。
	R5	・しまね縁結びサポートセンターが実施する、マッチングサイト「しまこ」登録支援イベントへの広報協力 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・近隣市町での「しまこ」登録支援イベントの町内広報にも協力。 ・引き続き縁結びサポートセンターと連携した広域での支援を行う。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 妊娠、出産及び不妊への支援の充実	R3	・赤ちゃん訪問16件(対象児16名中) ・産後ケア事業 利用実人数5名 ・一般不妊治療費助成2件 ・生殖補助医療費助成3件 ・不育治療費用助成0件 ・男性不妊検査費助成0件 【予算】 2,186千円 【決算】 955千円	B	乳児の産後全数訪問を行うことで母子の健康状態を把握することができた。不妊治療に臨まれた結果妊娠された方もいるため、今後も不妊治療を受ける方に対して支援を継続する。
	R4	・妊婦一般健康診査費用14回分無料 ・産婦健康診査費用5,000円/回 実績24件 ・妊婦歯科健診 実績10件 ・赤ちゃん訪問16件(対象児16名中) ・産後ケア事業 利用実人数3名延6回 ・一般不妊治療費助成 1件 ・特定不妊治療費助成 2件 ・生殖補助医療費助成 1件 ・不育治療費用助成 0件 ・男性不妊検査費助成 0件 【予算】 5,017千円 【決算】 1,969千円	B	乳児の産後全数訪問を行うことで母子の健康状態を把握することができた。 令和4年度は不妊治療の制度も変わり新たに生殖補助医療費の助成も開始し、実績も1名あった。不妊治療に臨まれた結果妊娠された方もいるため、今後も不妊治療を受ける方に対して支援を継続する。 安心して妊娠・出産できる体制づくりとして、妊婦歯科健診や妊婦健診の助成も継続する。
	R5	・妊婦一般健康診査費用14回分無料 ・産婦健康診査費用5,000円/回 実績18件 ・妊婦歯科健診 実績6件 ・赤ちゃん訪問10件(対象児14名中) ・産後ケア事業 利用実人数1名延7回 ・一般不妊治療費助成 3件 ・生殖補助医療費助成 2件 ・不育治療費用助成 0件 ・男性不妊検査費助成 0件 ・出産子育て応援ギフト 21件 【予算】 6,890千円 【決算】 2,939千円	B	里帰り出産や3月出産された方の訪問は年度内に行えなかったが、その他のケースについては全数訪問を行うことで母子の健康状態を把握することができた。 不妊治療に臨まれた結果妊娠された方もいるため、今後も不妊治療を受ける方に対して支援を継続する。 出産子育て応援ギフトによる経済的支援と伴走型支援を組み合わせながらすべての妊産婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう支援を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 保育サービスの充実	R3	・各保育所において、延長保育、一時保育、障がい児保育を実施 【予算】 2,686千円 【決算】 2,056千円	B	・様々なニーズに対応するため、各保育所において各種保育サービスを実施した。 ・地域交流活動事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。
	R4	・各保育所において、延長保育、一時保育、障がい児保育を実施 【予算】 1,970千円 【決算】 2,708千円	B	・様々なニーズに対応するため、各保育所において各種保育サービスを実施した。 ・地域交流活動事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。
	R5	・各保育所において、延長保育、一時保育、障がい児保育を実施 【予算】 3,598千円 【決算】 3,033千円	B	・様々なニーズに対応するため、各保育所において各種保育サービスを実施した。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	12	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	結婚・出産・子育てしやすい環境の充実	2/4
--------	----	-------	-------------	--------	--------------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 経済的負担の軽減	R3	・保育料の完全無償化、完全給食事業 ・子ども医療費（高校卒業まで）の全額助成 【予算】 13,836 千円 【決算】 13,457 千円	B	・保育料の完全無償化、完全給食、子ども医療費の全額助成を継続して実施することにより、経済的負担軽減を図った。
	R4	・保育料の完全無償化、完全給食事業 ・子ども医療費（高校卒業まで）の全額助成 【予算】 22,496 千円 【決算】 21,581 千円	B	・保育料の完全無償化、完全給食、子ども医療費の全額助成を継続して実施することにより、経済的負担軽減を図った。 保育料の完全無償化（予算額11,528千円、決算額10,638千円） 完全給食（予算額2,338千円、決算額2,558千円） 子ども医療費の全額助成（予算額8,630千円、実績額8,385千円）
	R5	・保育料の完全無償化、完全給食事業 ・子ども医療費（高校卒業まで）の全額助成 【予算】 23,533 千円 【決算】 23,533 千円	B	・保育料の完全無償化、完全給食、子ども医療費の全額助成を継続して実施することにより、経済的負担軽減を図った。 保育料の完全無償化（予算額10,723千円、決算額14,869千円） 完全給食（予算額2,072千円、決算額2,153千円） 子ども医療費の全額助成（予算額10,738千円、実績額9,710千円）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 乳幼児健診体制の充実	R3	・新生児聴覚検査費用無料化 ・産婦健康診査助成 5,000/回 ・乳児一般健康診査費助成 ・乳幼児健診（集団）の実施/年6回 ・4歳児健診の実施 年2回 ・発達クリニックの実施年3回 【予算】 4,120 千円 【決算】 2,740 千円	B	・法に基づく健診以外に児の成長発達を確認するため2歳児、4歳児健診などを町独自で実施し、児の成長発達を確認し、支援が必要な子や家庭に対し関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要がある。
	R4	・新生児聴覚検査費用無料化 ・乳児一般健康診査費助成 ・乳幼児健診（集団）の実施/年6回 ・4歳児健診の実施 年2回 ・発達クリニックの実施年3回 【予算】 1,276 千円 【決算】 1,001 千円	B	・児の健診や発達クリニックにて児の発育・発達における異常の早期発見につながっている。 ・法に基づく健診以外に児の成長発達を確認するため2歳児、4歳児健診などを町独自で実施し、児の成長発達を確認し、支援が必要な子や家庭に対し関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要がある。
	R5	・新生児聴覚検査費用無料化 ・乳児一般健康診査費助成 ・乳幼児健診（集団）の実施/年6回 ・4歳児健診の実施 年2回 ・発達クリニックの実施年3回 【予算】 1,398 千円 【決算】 989 千円	B	・法に基づく健診以外に児の成長発達を確認するための健診を実施し、要観察となった児のフォローの機会を設けている。児の成長発達を確認し、支援が必要な子や家庭に対し関係機関と連携を図りながら支援を行っていく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 小児保健医療の充実	R3	採算性が困難な地域である川本町での医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院に財政的支援を実施 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	国の財政支援として、コロナ禍においても地域医療を支える不採算地域の公的病院等への基準単価を引き上げられたことにより、50,000千円の増額支援を行った。
	R4	採算性が困難な地域である川本町での医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院に財政的支援を実施 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	令和3年度同様、支援額を増額し財政支援を継続。
	R5	採算性が困難な地域である川本町での医療を担う社会医療法人仁寿会加藤病院に財政的支援を実施 【予算】 168,000 千円 【決算】 168,000 千円	B	令和4年度同様、支援額を増額し、更に地域高活ケアシステム構築のためのクラウドシステム環境整備等の必要により支援額を増額し財政支援を継続。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	12	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	健やかに子育てする環境の充実	3/4
--------	----	-------	-------------	--------	----------------	-----

主な取組	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子どもの健康づくり	R3	・乳幼児相談の実施 令和3年度11回実施 ・歯科保健におけるフッ化物塗布、フッ素洗口の実施 【予算】 186 千円 【決算】 160 千円	B	・児の発育・発達における異常の早期発見や保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子の、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらっている。今後も内容の充実を図りながら継続していく。 ・むし歯予防において、早期からのフッ化物塗布が有効であるため、フッ化物塗布、フッ素洗口を無料化し、実施を推進している。
	R4	・乳幼児相談の実施 12回実施 ・小児生活習慣病予防教室 小・中学校実施 ・歯科保健におけるフッ化物塗布(3歳、4歳、5歳以上の在宅児が対象) 実績22件 ・フッ素洗口の実施(保育所年中・年長) ・歯の健康教室(保育所)⇒中止 【予算】 274 千円 【決算】 118 千円	B	・出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらっている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。 ・むし歯予防において、早期からのフッ化物塗布が有効であることから、フッ化物塗布・洗口は実施を継続していく。
	R5	・乳幼児相談の実施 12回実施 ・小児生活習慣病予防教室 小・中学校実施 ・歯科保健におけるフッ化物塗布(3歳、4歳、5歳以上の在宅児が対象) 実績27件 ・フッ素洗口の実施(保育所年中・年長) ・歯の健康教室(町内全保育所実施) 【予算】 285 千円 【決算】 175 千円	B	・出産された方の半分程度が乳幼児相談に来所あり。出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減やリフレッシュの場、親同士のコミュニケーションの場として活用してもらっている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。 ・むし歯予防において、早期からのフッ化物塗布が有効であることから、フッ化物塗布・洗口は実施を継続していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 幼児教育環境の充実	R3	・保育所、学校、地域、保護者や関係機関と連携しながら、幼児教育事業の充実を図る。 【予算】 919 千円 【決算】 512 千円	B	町内3保育所で実施予定であった地域活動事業については、コロナの影響で中止となった。家庭での絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学3年生までの子供に絵本を届けた。
	R4	・保育所、学校、地域、保護者や関係機関と連携しながら、幼児教育事業の充実を図る。 【予算】 327 千円 【決算】 231 千円	B	町内3保育所で実施予定であった地域活動事業については、昨年同様コロナの影響で中止となった。家庭での絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学3年生までの子供に絵本を届けた。
	R5	・保育所、学校、地域、保護者や関係機関と連携しながら、幼児教育事業の充実を図る。 【予算】 672 千円 【決算】 632 千円	B	町内3保育所で地域の方と交流を行う地域活動事業を再開した。家庭での絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学3年生までの子供に絵本を届けた。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 配慮を要する子どもや家族への支援の充実	R3	・障がい者相談支援事業委託(サポートセンターおおち) 【予算】 1,179 千円 【決算】 1,179 千円	B	・障がい者相談新事業により、相談体制の整備を行っている。 ・令和3年度に自立支援協議会に発達支援部会を設置し、関係機関が連携して、支援体制の充実を図り、気になるケースについて適宜電話や訪問で対応した。
	R4	・障がい者相談支援事業委託(サポートセンターおおち) 【予算】 1,355 千円 【決算】 1,355 千円	B	・障がい者相談新事業により、相談体制の整備を行っている。 ・令和3年度に自立支援協議会に発達支援部会を設置し、令和4年度は関係機関の支援者向け研修を行った。今後も連携した支援体制の充実を図ることとしている。
	R5	・障がい者相談支援事業委託(サポートセンターおおち) 【予算】 2,204 千円 【決算】 2,204 千円	B	・障がい者相談新事業により、相談体制の整備を行っている。 ・令和3年度に自立支援協議会に発達支援部会を設置した。今後も連携した支援体制の充実を図ることとしている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

主な取組に評価シート

基本施策番号	12	基本施策名	結婚・子育て支援の充実	施策の方向性	地域で支える環境の充実
--------	----	-------	-------------	--------	-------------

4/4

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子どもの居場所づくり	R3	放課後居場所づくりに加え、幼児も対象としたファミリーサポートセンター事業の実施に向けた体制整備を推進 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度は具体的な取組みは行えなかったが、令和4年度に子育て支援について民間グループとの協議を行う。
	R4	住民主体の子育て拠点整備のための取組みの支援 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。
	R5	中間支援組織に補助金を交付し活動を支援 おでかけいただきますの日の実施 実績：6回(240名参加) 【予算】 500千円 【決算】 500千円	B	・子どもの居場所づくりを展開するために令和5年度は子ども食堂を実施し、多くの住民が参加された。今後も子どもの居場所づくりについて更なる活用について関係機関と連携し取り組む。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 子育て中の親子交流・相談の場づくり	R3	・乳幼児相談の実施 令和3年度11回実施 【予算】 90千円 【決算】 80千円	B	・児の発育・発達における異常の早期発見や保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子の、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらっている。今後も内容の充実を図りながら継続していく。
	R4	・乳幼児相談の実施 令和4年度12回実施 【予算】 274千円 【決算】 118千円	B	・出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減のための相談等のみならず、親と子、また親同士のコミュニケーションの場としても活用してもらっている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。
	R5	・乳幼児相談の実施令和5年度12回実施 【予算】 29千円 【決算】 28千円	B	・出産された方の半分程度が乳幼児相談に来所あり。出生の時期や初産婦が少ないなどの理由から乳幼児相談の参加人数が結果として少ない。保護者の不安軽減やフレッシュの場、親同士のコミュニケーションの場として活用してもらっている。相談の内容の充実を図りながら継続していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域全体・全ての世代での子育て支援	R3	拠点施設を整備し、住民組織や医療機関等との連携を図ることにより子育て支援機能を充実。地域住民が主体的に運営に関わる仕組みを構築し、地域全体で支える環境づくりを推進。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度は具体的な取組みは行えなかったが、令和4年度に子育て支援について民間グループとの協議を行う。
	R4	住民組織や医療機関等との連携を図ることにより子育て支援機能を充実。地域住民が主体的に運営に関わる仕組みを構築し、地域全体で支える環境づくりを推進。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。 ・病児病後児保育等の具体的な取組みについては、医療機関等と検討を継続する。
	R5	住民組織や医療機関等との連携を図ることにより子育て支援機能を充実。地域住民が主体的に運営に関わる仕組みを構築し、地域全体で支える環境づくりを推進。 【予算】 500千円 【決算】 500千円	B	・中間支援組織へ補助金を交付し、子育てに関するニーズ調査、おでかけいただきますの日、子育て支援員の育成などを実施された。今後も住民主体の子育て支援活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。 ・病児病後児保育等の具体的な取組みについては、医療機関等と検討を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
13	川本らしい学びの環境の充実	P66～68	教育課

施策の方針	小学校、中学校、高校が1校ずつ町内にあるという特色を活かして、川本の子ども達の成長を地域全体で支えていく取り組みを進めていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や社会に開かれた教育の推進</li> <li>・学ぶ意識の向上・確かな学力の育成</li> <li>・教育環境の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した児童の割合（小学生） 【単年度値】（単位：％）	目標値	93.0	94.0	95.0	96.0	97.1
	実績値	88.0	93.0	86.0		
	達成率	94.6%	98.9%	90.5%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（中学生） 【単年度値】（単位：％）	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.2
	実績値	72.0	90.0	92.0		
	達成率	85.7%	105.9%	107.0%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に対して主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（高校生） 【単年度値】（単位：％）	目標値	57.8	58.8	59.9	60.9	62.0
	実績値	66.0	68.3	72.4		
	達成率	114.2%	116.2%	120.9%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育と社会教育との連携により、児童生徒と地域住民との対話の機会創出が進んでいる。具体的には、ジョブカフェ（中1）、かわもと一く（小5、中2）、職業体験（中3）など。また、かわもとあそびを拠点とした異世代交流が進み、地域活動に積極的に参加する生徒も増加。KPIにおいて中学生の目標達成率が向上していることは、その成果と思われる。</li> <li>・教育ビジョンを柱として、町全体で子どもの教育に関わる風土の醸成に向けて引き続き取り組む。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関と連携を密にし子どもたちの学びや成長を支える機会の創出に関して必要な課題に細やかに取り組むこと。</li> <li>・引き続き地域活動への関心や活動への参加を促すための体制整備に取り組むこと。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
13	川本らしい学びの環境の充実	P66～68	教育課

施策の方針	小学校、中学校、高校が1校ずつ町内にあるという特色を活かして、川本の子ども達の成長を地域全体で支えていく取り組みを進めていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や社会に開かれた教育の推進</li> <li>・学ぶ意識の向上・確かな学力の育成</li> <li>・教育環境の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
情報を、勉強したことや知っていることと関連付けて理解していると回答した中央高校3年生の割合 【単年度値】（単位：％）	目標値	83.0	85.0	88.0	90.0	95.0
	実績値	74.7	79.1	85.7		
	達成率	90.0%	93.1%	97.4%	%	%
小中学校に配置されたタブレット端末を学習活動に活用した日数の割合 【単年度値】（単位：％）	目標値	20	29	38	47	55
	実績値	46.5	74.5	41.9		
	達成率	232.5%	256.9%	110.3%	%	%

評価	担当課評価

評価	一次評価（副町長、総務課長）

評価	最終評価（町長、教育長）

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	地域や社会に開かれた教育の推進
--------	----	-------	---------------	--------	-----------------

1/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。</li> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小中高、社会教育関係者と連携して育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。</li> <li>今年度の目的である連携体制が構築できたため、今後は関係機関の連携に向けて協議を進めていく必要がある。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築。</li> <li>教育講演会の開催。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。</li> <li>学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、鳥根大学、鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。</li> </ul>
		【予算】 65千円 【決算】 65千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小・中高の2つのグループによる連携体制の構築</li> <li>保小連携合同研修会の開催</li> <li>教育講演会の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小、中高の連携を図るためにグループ会議を開催した。保小については、令和5年度から教員の保育所見学や、年長児と小学校1年生との交流など、コロナ禍前の内容を一部再開した。中高グループは、令和5年度にも開催した「探求フェスタ」を通して連携ができるように検討を行った。</li> <li>プロジェクトチームを対象とした保小連携合同研修会を開催し、幼小連携等の情報共有の機会となった。</li> <li>学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。</li> </ul>
	【予算】 3,113千円 【決算】 1,446千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域資源を活かした教育の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名）</li> <li>川本町ふるさとカルタの作成（500セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な時間を生かして、小学校はエゴマの栽培を体験し、パワーポイント活用し取り組みについてまとめ、他の学年に発表した。中学校は江川太鼓を体験し、文化祭や老人ホームで披露した。</li> <li>小学生を対象に、町内3カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や中高生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。</li> <li>地域教材として、川本町の魅力（自然、文化・暮らし、歴史、観光）に関する事柄を集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見することができる。</li> </ul>
		【予算】 1,789千円 【決算】 1,577千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全5回、延べ54名）</li> <li>川本町ふるさとカルタの販売数（260セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、インタビューを行い、パンフレットを作成した。</li> <li>小学生を対象に、町内4カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や大学生との交流し、関係性を作った。</li> <li>川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動で実施するなど普及活動に努めた。</li> </ul>
		【予算】 900千円 【決算】 497千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全4回、延べ79名）</li> <li>川本町ふるさとカルタの販売数（26セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、交流を深めた。</li> <li>小学生を対象に、町内5カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や高校生・大学生ボランティアと交流し、関係性を作った。</li> <li>川本町ふるさとカルタを活用しカルタ大会を実施した。</li> </ul>
	【予算】 1,297千円 【決算】 480千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 家庭教育支援の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>K-POP（親子体験プログラム）（3回実施）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者同士で繋がりが不安や疑問を解消する。</li> </ul>
		【予算】 104千円 【決算】 75千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>K-POP（親子体験プログラム）（4回実施）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者同士で繋がりが不安や疑問を解消する機会を提供できた。</li> <li>新たに計画したプログラムを実施し、新たな人材の出番を創出することができた。</li> </ul>
	【予算】 112千円 【決算】 112千円			

R5	・K-POP（親子体験プログラム）（4回実施）	B	・子育て世代の親子を対象に、親同士のつながりづくりや家族間交流、豊かな自然とのふれあいをねらいとして、年4回実施し、様々な活動の場を提供できた。参加家族だけの交流ではなく、地域住民や中高生ボランティアスタッフとも交流することができた。
	【予算】 127千円 【決算】 110千円		
R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円		
R7			
	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	地域や社会に開かれた教育の推進	2/8
--------	----	-------	---------------	--------	-----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ キャリア教育の充実	R3	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業計画及び予算措置 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・地域の大人と中学生とが1対1で対話することで「ふるさとを愛し、地域課題に当事者意識を持ち地域づくりに貢献する」人材の育成を図る目的の事業を令和4年度から開始するにあたり、予算措置に向けて必要な書類等を準備を進め、予算化した。
	R4	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 【予算】 891千円 【決算】 891千円	B	・川本中学校2、3年生と地域の大人が1対1での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。
	R5	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 第1回：中学生×地域の大人 第2回：小学生×島根中央高校生（NEW） 【予算】 1,250千円 【決算】 1,150千円	B	・中学生と地域の大人との対話では、中学生は今悩んでいることや将来のことについて、親でもない、友達でもない関係性の方と話し、これからの人生のヒントや人とながれるきっかけとなった。 ・小学生と高校生との対話では、小学生にとっては少し先の自分の姿を描き、身近な存在への憧れや将来への動機づけのきっかけとなった。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域活動の参画支援	R3	・かわもとあそらボの取り組み支援 【予算】 2,231千円 【決算】 2,231千円	B	・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。
	R4	・かわもとあそらボの取り組み支援 【予算】 5,450千円 【決算】 5,450千円	B	・中高校生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。
	R5	・かわもとあそらボの取り組み支援 【予算】 4,450千円 【決算】 4,450千円	C	・コミュニティカフェ「オレンジ」を活動拠点とし、中高校生を中心とし、大学生や地域の大人等幅広い世代のつながりの中で活動することができた。これまでの経験を活かし、一人でじっくり考えたり、仲間と一緒に会話を楽しんだりすることができる場となっている。 ・委託事業として実施しているが、あそらボの認知度と共に活動内容が幅広くなっており、運営方法や行政の関わり方について、R7年度に向けて検討していきたい。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成	3/8
--------	----	-------	---------------	--------	------------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 基礎学力の育成	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援。</li> <li>英検ジュニアチャレンジ会(3回)</li> <li>英語検定、英検Jr検定費用助成。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。</li> <li>英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数6名のうち3名は次のグレード(シルバー)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>次年度以降は、意欲ある子どもたちをさらに支援するために、幼児期から取り組める算数・数学検定や漢字検定を英語費用助成制度に加えることとし、支援を拡大する。</li> </ul>
		【予算】 2,995千円 【決算】 2,446千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共に学び合う授業を目指して」校内研究会(学び合い研修)(3回)</li> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援</li> <li>英検ジュニアチャレンジ会(3回)</li> <li>英語検定、算数・数学検定、漢字検定費用助成</li> <li>算数・数学検定、漢字検定会場設置</li> <li>英検Jr検定費用助成</li> <li>学力育成会議の設置・運営</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。</li> <li>英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数15名のうち11名は次のグレード(シルバー)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」21名、「漢字検定」39名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、学ぶ意欲のある町民に対して、事前学習や検定料助成を検討する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 3,587千円 【決算】 2,923千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共に学び合う授業を目指して」校内研究会(学び合い研修)(3回)</li> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援</li> <li>各種検定助成事業(英語、算数・数学、漢字)</li> <li>*英検ジュニア検定とチャレンジ会(3回)</li> <li>*検定会場設置(算数・数学、漢字)</li> <li>学力育成会議の設置・運営(2回)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等、学校支援施策の推進にあたっては、専門性のある指導主事と連携した。</li> <li>学力育成会議を開催し、児童生徒の課題を小中で確認し、指導の重点等について協議した。</li> <li>中学校では、英検と漢検に学校として取り組み、ほぼ全校生徒が受検している。</li> <li>小学生向けの英検ジュニアを団体受検する機会を設け、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数は昨年の15名から21名に増え、そのうち13名は次のグレード(シルバー、ゴールド)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」28名、「漢字検定」37名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、町全体が学ぶ風土を醸成するため、学ぶ意欲のある町民に対する検定助成などを検討していきたい。</li> <li>検定助成について、町が準会場を設置する場合、検定料徴収から補助金交付までの流れが複雑であるため、受検費用の流れを整理し、可能であれば補助制度と町費負担の検定事業との2本立てで実施するようにR7予算から見直しを検討したい。</li> </ul>
	【予算】 3,113千円 【決算】 1,446千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 保小中高の連続性を意識した学力向上の推進【教育】	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。</li> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小中高、社会教育関係者と連携し、育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。</li> <li>学び合い学習に伴う研修を3回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施となった。</li> </ul>
		【予算】 480千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築。</li> <li>教育講演会の開催。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。</li> <li>学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、鳥根大学教授と鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。</li> </ul>
	【予算】 65千円 【決算】 65千円			
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小・中高の2つのグループによる連携体制の構築</li> <li>保小連携合同研修会の開催</li> <li>教育講演会の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小、中高の連携を図るためにグループ会議を開催した。保小については、令和5年度から教員の保育所見学や、年長児と小学校1年生との交流など、コロナ禍前の内容を一部再開した。中高グループは、令和5年度にも開催した「探求フェスタ」を通して連携ができるように検討を行った。</li> <li>プロジェクトチームを対象とした保小連携合同研修会を開催し、幼小連携等の情報共有の機会となった。</li> <li>学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。</li> </ul>
	【予算】 30千円 【決算】 30千円			

	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 魅力ある高校カリキュラムの構築	R3	ふるさと学、まちごとキャンパス学習など地域や民間企業の協力のもと実施。ふるさと学においては、令和3年度は実施場所を川本町内に固定せず、美郷町の地域や民間企業に協力により実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・地域や民間企業などと協働した授業を実施 コンソーシアム協働チームによる令和5年度入学者からスタートするカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・地域の特性を活かした魅力あるカリキュラム構築に向け、継続して取り組みを実施。
	R4	ふるさと学、まちごとキャンパス学習など地域や民間企業の協力のもと実施。ふるさと学においては、令和4年度も引き続き実施場所を川本町内に固定せず、美郷町の地域や民間企業に協力により実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・地域の特性を活かした魅力あるカリキュラム構築に向け、継続して取り組みを実施。
	R5	ふるさと学、まちごとキャンパス学習など地域や民間企業の協力のもと実施。ふるさと学においては、令和5年度も引き続き実施場所を川本町内に固定せず、美郷町の地域や民間企業に協力により実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・地域の特性を活かした魅力あるカリキュラム構築に向け、継続して取り組みを実施。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成
--------	----	-------	---------------	--------	------------------

4/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 心身の健康づくりと体力の向上	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターでの体験活動</li> <li>スポーツ講演会の開催</li> <li>カヌー体験教室の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>12月に、侍ジャパンの清水コーチを招いて講演会を実施。(参加者:140名)</li> <li>2030島根国体に向けたジュニア育成事業としてカヌー体験教室を開催(参加者:17名)</li> </ul> 引き続き、体力向上に向けて事業の実施が必要である。
		【予算】 226千円 【決算】 226千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターでの体験活動</li> <li>スポーツ講演会の開催</li> <li>スポレク広場の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターで、小学校低学年を対象に運動教室を3回実施。(参加者:延べ24名)</li> <li>3月に、スポーツ講演会として、バスケットボール選手を招いて実施。(体験会参加者33名)</li> <li>KSCを中心に、スポレク広場を開催し、クラブやニュースポーツの普及活動を行った。(参加者75名)</li> </ul>
		【予算】 273千円 【決算】 265千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターでの体験活動</li> <li>スポーツ講演会の開催</li> <li>スポレク広場の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターで、長期休業中に体験活動を実施。</li> <li>3月にスポーツ講演会として、女子硬式野球ワールドカップ2023年日本代表の選手3人を講師に実施。</li> <li>KSCを中心に、スポレク広場を開催し、クラブやニュースポーツの普及活動を開催。</li> </ul>
		【予算】 310千円 【決算】 309千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 部活動の魅力化	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動地域指導者活用支援事業。</li> <li>中学校部活動遠征費補助事業。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽部では、地域の指導者を招聘して演奏指導等を受けた。外部指導者を積極的に活用していくため、中学校と連携して方向性を検討する体制を構築する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 641千円 【決算】 528千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動地域指導者活用支援事業</li> <li>中学校部活動遠征費補助事業</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽部では、地域の指導者を招聘して演奏指導等を受け、第28回日本管楽合奏コンテスト全国大会(中学校A部門)出場することができた。また、バレー部も、新たに地域の指導者を招聘して指導等を受けた。外部指導者を積極的に活用していくため、中学校と連携して方向性を検討する体制を構築する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 2,334千円 【決算】 2,171千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動地域指導者活用支援事業</li> <li>中学校部活動遠征費補助事業</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹奏楽部では、地域の指導者を招聘して演奏指導等を受け、第29回日本管楽合奏コンテスト全国大会(中学校A部門)に出場することができた。外部指導者を積極的に活用していくため、中学校と連携して方向性を検討する体制を構築する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 2,331千円 【決算】 2,008千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ 大学連携の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流(オンライン)を県立大学と実施</li> </ul>	B	実施可能な大学との協働事業について検討。島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流(オンライン)を県立大学と実施</li> </ul>	B	実施可能な大学との協働事業について検討。島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にする機会として、バーチャル国際交流(オンライン)を県立大学と実施</li> </ul>	B	実施可能な大学との協働事業について検討。島根中央高校の特色ある学びのとしてPRできる、高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り組む。
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	学ぶ意識の向上・確かな学力の育成
--------	----	-------	---------------	--------	------------------

5/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
⑦ 外国語に親しむ環境づくり	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検ジュニア検定助成と英検ジュニアチャレンジ会の実施(3回)</li> <li>英語検定助成制度の活用</li> <li>外国語指導助手(ALT)2名配置</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本小学校に在籍する児童を対象に、英語力および学習意欲の向上を推進するため、検定助成を実施。また、講師によるチャレンジ会(無料学習会)を3回開催し、希望者に対して、学習の仕方や出題のポイントなどを学ぶ機会を提供した。</li> <li>※参加者6名(ブロンズ4名、ゴールド2名)</li> <li>川本小・中学校の児童生徒、町内在住の高校生を対象に英語検定助成を実施した。対象者には学校を通じて申請書類を送付し、周知を徹底した。小・中学校の児童生徒は可否について確認しているが、高校生についても可否を確認するよう手法を検討する必要がある。</li> <li>※助成者87名(中学生68名、高校生19名)</li> <li>ALT2名(小・中学校各1名)を児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に配置。ALTは、児童生徒が英会話に触れる機会を増やすため、コミュニケーションを積極的に行い、児童生徒の外国語能力向上を図った。</li> </ul>
		【予算】 10,780千円 【決算】 10,392千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検ジュニア検定助成と英検ジュニアチャレンジ会の実施(3回)</li> <li>英語検定助成制度の活用</li> <li>外国語指導助手(ALT)2名配置</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本小学校に在籍する児童を対象に、英語力および学習意欲の向上を推進するため、検定助成を実施。また、講師によるチャレンジ会(無料学習会)を3回開催し、希望者に対して、学習の仕方や出題のポイントなどを学ぶ機会を提供した。</li> <li>※参加者15名(ブロンズ13名、シルバー2名)</li> <li>川本小・中学校の児童生徒、町内在住の高校生を対象に英語検定助成を実施した。対象者には学校を通じて申請書類を送付し、周知を徹底した。小・中学校の児童生徒は可否を確認しているが、高校生の可否を確認するための手法の検討が必要である。</li> <li>※助成者81名(中学生57名、高校生24名)</li> <li>ALT2名(小・中学校各1名)を児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に配置。ALTは、児童生徒が英会話に触れる機会を増やすため、コミュニケーションをとっている。児童生徒の外国語能力向上を図るために、地域で外国語に触れる機会の創出を図りたい。</li> </ul>
		【予算】 11,584千円 【決算】 10,164千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検ジュニア検定助成と英検ジュニアチャレンジ会の実施(3回)</li> <li>英語検定助成制度の活用</li> <li>外国語指導助手(ALT)2名配置</li> <li>イングリッシュキャンプ開催(小学生対象)1回</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生及び未就学児を対象とした英検ジュニア検定と無料学習会を実施。参加者増。</li> <li>※参加者21名(ブロンズ10名、シルバー11名)</li> <li>小・中学生と高校生を対象に英語検定助成を実施。</li> <li>※助成者64名(中学生38名、高校生26名)</li> <li>ALT2名(小・中学校各1名)を児童・生徒の英語発音や国際理解教育の向上を目的に配置。コロナ禍においては保育所での活動ができなかったが、今後は再開していきたい。</li> <li>公民館活動と英語活動のコラボとして、小学生を対象にイングリッシュキャンプを開催したが、参加者のほとんどが低学年であったため調理実習に意識が向いてしまい、本来の目的に沿わない活動となってしまった。計画段階からALTに参加してもらうなど、英語教育推進の目的達成に向けて内容を見直したい。</li> </ul>
	【予算】 11,460千円 【決算】 9,467千円			
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7			
	【予算】 千円 【決算】 千円			

【評価】A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)

B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)

C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)

D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実	6/8
--------	----	-------	---------------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 教職員の資質向上（人材育成）	R3	・小中学校教職員合同研修会（8月） 【予算】 100 千円 【決算】 44 千円	B	・小中学校の教職員を対象に教育委員会主催の研修会を実施しており、令和3年度は「子どもを支えるということ/保護者を支えるということ」についての研修を実施した。 ・今回は、保育所、高校からも参加があり、研修終了後にアンケートをとり、研修テーマの要望などを確認した。 ・小中学校で同じ課題に向き合う良い機会であるので、今後も継続して取り組みたい。
	R4	・小中学校教職員合同研修会（8月） 【予算】 100 千円 【決算】 43 千円	B	・小中学校の教職員を対象に教育委員会主催の研修会を実施しており、今年度は「通常学級にいる「気になる子どもたち」-その発達の理解と教育指導」についての研修を実施した。 ・コロナ対策として、オンラインでの開催となったが、保育所、高校からも参加があり、教育関係者で同じ研修を受ける機会をもてた。
	R5	・小中学校教職員合同研修会（8月） 【予算】 100 千円 【決算】 100 千円	B	・小中学校の教職員を対象に教育委員会主催の研修会を実施しており、今年度は「発達障害の理解と対応や支援」についての研修を実施した。 ・保育所から高校まで参加があり、切れ目ない支援体制について共通認識を持てる機会ができた。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 学びを支える指導体制の充実【教育】	R3	■小学校：学習支援員3名、生活支援員1名、理科観察実験支援員1名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■中学校：学習支援員3名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■小中学校：ICT支援員1名 【予算】 26,636 千円 【決算】 24,692 千円	A	・支援員の配置によって担任のサポートや児童1人1人へのきめ細かな対応が可能となっている。特別支援学級の児童の支援や介助にあたる生活支援員の役割は大変重要である。また、スクール・サポート・スタッフを配置し、学習プリントの印刷・配布準備などを支援員が担うことで、きめ細やかな指導や教材研究等に注力できる指導体制づくりを図った。 ・中学校では教科担任と学習支援員が連携をとりながら、個々の学習支援と教員のサポートにあたっている。また、学級に入りづらい生徒の対応にあたる場面もある。生徒の基礎的・基本的な学習の定着と充実を図るため、現在の体制を継続したい。 ・教職員のICT活用サポートを推進するため、小中学校にICT支援員を配置し、事前準備や後片付け、校内で使用するシステム作成により教員をサポートし、教職員の負担軽減を図った。
	R4	■小学校：学習支援員3名、生活支援員2名、理科観察実験支援員1名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■中学校：学習支援員3名、スクール・サポート・スタッフ1名 ■小中学校：ICT支援員1名 【予算】 28,725 千円 【決算】 27,227 千円	A	・支援員の配置によって担任のサポートや児童1人1人へのきめ細かな対応が可能となり、きめ細やかな指導や教材研究等に注力できる指導体制づくりが図れた。 ・教職員のICT活用サポートを推進するため、ICT支援員を1名配置しているが、ICT機器の活用促進を図るためには、大変重要な役割となっており、小中学校にそれぞれ1名配置が望ましい。
	R5	■小学校：学習支援員3名、生活支援員2名、理科観察実験支援員1名、スクール・サポート・スタッフ1名、ICT支援員1名 ■中学校：学習支援員3名、スクール・サポート・スタッフ1名、ICT支援員1名 【予算】 24,775 千円 【決算】 24,619 千円	B	・支援員の配置によって担任のサポートや児童1人1人へのきめ細かな対応が可能となり、きめ細やかな指導や教材研究等に注力できる指導体制づくりが図れた。 ・教職員のICT活用サポートを推進するため、ICT支援員を1名配置しているが、ICT機器の活用促進を図るためには、大変重要な役割となっており、小中学校にそれぞれ1名配置。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実	7/8
--------	----	-------	---------------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
③ 高校の寄宿舎環境の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮専属コーディネーターの配置（2名）</li> <li>感染症対策及び生活環境の向上として、トイレ改修（洋式化）の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の成長と生活を支えるための、専任職員配置と施設環境改善を実施。</li> <li>学習交流センター、まちごと魅力化センター合計79名の寄宿生を受入。</li> <li>寄宿舎の魅力向上に向け、寄宿舎生活を通じ生活力、コミュニケーション能力の向上や地域との交流場面の創出に向けた取り組みを実施。</li> </ul>
		【予算】 97,827千円 【決算】 94,027千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮専属コーディネーターの配置（2名）</li> <li>ICT機能の充実として学習交流センター・魅力化センターともにWiFi機器を導入</li> <li>学習交流センターに自転車小屋を設置</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の成長と生活を支えるための、専任職員配置と施設環境改善を実施。</li> <li>学習交流センター、まちごと魅力化センター合計68名の寄宿生を受入。</li> <li>寄宿舎の魅力向上に向け、寄宿舎生活を通じ生活力、コミュニケーション能力の向上や地域との交流場面の創出に向けた取り組みを実施。</li> </ul>
		【予算】 80,249千円 【決算】 78,369千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>寮専属コーディネーターの配置（2名）</li> <li>寮運営マネージャー配置（コンソ予算）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の成長と生活を支えるための、専任職員配置と施設環境改善を実施。</li> <li>学習交流センター、まちごと魅力化センター合計67名の寄宿生を受入。</li> <li>寮運営マネージャーの配置により、生徒の体調不良時等の緊急対応等が円滑。</li> </ul>
		【予算】 80,845千円 【決算】 78,109千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
④ 児童・生徒の通学環境の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路安全点検（5月）、通学路安全推進会議（9月）。</li> <li>スクールバス運行。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校に利用する通学路を児童と関係機関が確認、対応策の検討をすることで、児童生徒が安心安全に登下校することにつながっており、今後も継続していきたい。</li> <li>小中学校児童生徒、高校生が安心してスクールバスを利用できるよう、学校の意向を反映した時刻表づくり、運転手の管理、委託業者との調整を継続していく必要がある。</li> </ul>
		【予算】 31,449千円 【決算】 29,720千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路安全点検（5月）、通学路安全推進会議（9月）。</li> <li>スクールバス運行。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校に利用する通学路を児童と関係機関が確認、対応策を検討・実施することで、児童生徒の通学環境の改善を図っている。</li> <li>小中学校児童生徒、高校生が安心してスクールバスを利用できるよう学校、乗務員と情報を共有し、改善を進めている。</li> </ul>
		【予算】 31,376千円 【決算】 30,011千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路安全点検（5月）、通学路安全推進会議（10月）</li> <li>スクールバス運行</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校に利用する通学路を児童と関係機関が確認、対応策を検討・実施することで、児童生徒の通学環境の改善を図っている。</li> <li>小中学校児童生徒、高校生が安心してスクールバスを利用できるよう学校、乗務員と情報を共有し、改善を進めている。</li> </ul>
		【予算】 30,925千円 【決算】 30,295千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 地域支援体制の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外から入学した高校生76名を61世帯のまち親を配置。</li> <li>交流機会の場として12月6日まち親交流会を実施（3年生限定で実施）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度県外からの入学生においても、全てにまち親の配置を実施。</li> <li>コロナの影響で会場の密を避けるため、まち親交流会は3年生限定で実施。</li> <li>まち親や地域との交流機会の増加が、川本への愛着増につながる事から、高校後援会が主催とした、まち親との交流場面創出に取り組む。</li> </ul>
		【予算】 35千円 【決算】 27千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外から入学した高校生20名を16世帯のまち親を配置。</li> <li>交流機会の場として①12月21日（3年生）、②2月3日（1,2年生）まち親交流会を実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度県外からの入学生においても、すべてにまち親の配置を実施。</li> <li>コロナの影響で会場の密を避けるため、まち親交流会は3年生と1,2年生で日にちを分けて実施。</li> <li>まち親や地域との交流機会の増加が、川本への愛着増につながる事から、コンソーシアムが主催とした、まち親との交流場面創出に取り組む。</li> </ul>
		【予算】 35千円 【決算】 28千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外から入学した高校生29名に19世帯のまち親を配置。</li> <li>交流機会の場として、12月1日にまち親交流会を実施。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度県外からの入学生においても、すべてにまち親の配置を実施。</li> <li>まち親交流会は1～3年生同時開催。</li> <li>まち親や地域との交流機会の増加が、川本への愛着増につながる事から、引き続きコンソーシアムが主催するまち親との交流場面創出に取り組む。</li> </ul>
	【予算】 200千円 【決算】 55千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		

R7			
	【予算】	千円	【決算】 千円

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	13	基本施策名	川本らしい学びの環境の充実	施策の方向性	教育環境の充実
--------	----	-------	---------------	--------	---------

8/8

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
⑥ 学校危機管理対策の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本町立学校の緊急時の防災基準の作成。</li> <li>川本町スクールサポートセンター担当者会</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>暴風、暴風雪、大雨、大雪、洪水の警報が発令されたときの休校や登下校時間の変更等の措置の判断基準を定め、学校と共有した。</li> <li>総務財政課職員や教育委員会職員を講師に、水害時の避難所運営、感染症対策などについて、町の方針等を小中学校の教頭、事務職員、教育委員会で構成する川本町スクールサポートセンター担当者会において情報共有し、学校における対応策を検討した。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本町スクールサポートセンター担当者会</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務財政課職員や教育委員会職員を講師に、水害時の避難所運営、教職における異物混入対応などについて、町の方針等を小中学校の教頭、事務職員、教育委員会で構成する川本町スクールサポートセンター担当者会において情報共有し、学校における対応策を検討した。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本町スクールサポートセンター担当者会</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>総務財政課職員や教育委員会職員を講師に、水害時の避難所運営、教職における異物混入対応などについて、町の方針等を小中学校の教頭、事務職員、教育委員会で構成する川本町スクールサポートセンター担当者会において情報共有し、学校における対応策を検討した。</li> </ul>
	【予算】 0千円 【決算】 0千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
⑦ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校長寿命化調査。・教育情報化推進計画策定、実施。</li> <li>川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（1回）。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校を今後10年間使用していくうえでの修繕内容について調査を実施し、調査結果に基づいて修繕を実施する。</li> <li>学校でのICT活用を推進していくために、教育情報化推進計画を策定し、学校に対して説明を実施した。学校においては、取組レベル指標を基に、進捗状況を確認している。</li> <li>学校施設の建て替えを含めた今後の学校のあり方を検討していくため、検討委員会を設置し、検討委員会を開催した。令和5年2月を目途に答申をまとめていく。</li> </ul>
		【予算】 3,367千円 【決算】 3,373千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本町立学校改修事業</li> <li>川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（3回）</li> <li>教育情報化推進計画の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校改修事業は、物価の高騰により全項目の改修が完了しなかった。</li> <li>学校施設の建て替えを含めた学校のあり方を検討するため、学校視察、地域公聴会を行い、検討委員会において審議を進め、令和5年5月を目途に答申をまとめる。</li> <li>ICT機器の有効活用を図るため、教育委員会、学校担当者において、教育情報化推進計画の見直しに進展、活用促進を図っている。</li> </ul>
		【予算】 41,250千円 【決算】 41,250千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>川本町立学校改修事業</li> <li>川本町立学校のあり方に関する答申を踏まえた方向性の検討</li> <li>教育情報化推進計画の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用者の安全確保および施設を長期間維持していくため、毎年実施する施設点検、保守点検において報告された修繕箇所について修繕を行った。</li> <li>川本町立学校のあり方検討委員会からの答申(5/31)を受け、小中学校の建て替えを具体的に進めるための検討体制について協議した。「基本構想」及び「基本計画」の策定に向けた検討委員会を設置することが決定。</li> <li>教職員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上や業務の効率化を図るため、学籍情報や成績管理・健康管理など、児童生徒の全ての情報を一元管理できる「統合型校務支援システム」を導入。浜田管内三市三町統一システム。</li> </ul>
	【予算】 21,381千円 【決算】 20,157千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
14	学び続けられる環境の充実	P70~72	教育課

施策の方針	子どものときから、高齢者になっても、主体的に活動し学び続けられる取り組みを進めて、いつまでもいきいきと暮らしていくことが出来る環境を充実させていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育の充実</li> <li>・文化活動等の充実・文化財の保護</li> <li>・生涯スポーツの推進</li> <li>・読書活動の充実</li> <li>・国際交流の促進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
公民館活動の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	400	450	500	550	600
	実績値	374	481	435		
	達成率	93.5%	106.9%	87.0%	%	%
体力・運動能力調査の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	55	60	65	70	75
	実績値	50	34	64		
	達成率	90.9%	56.7%	98.50%	%	%
読書の好きな子どもの割合 （小学生） 【単年度値】（単位：%）	目標値	85.0	88.0	90.0	90.0	90.0
	実績値	83.0	86.0	65.0		
	達成率	97.6%	97.7%	72.20%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に、目標達成に向けた取組は実施できている。</li> <li>・公民館事業において、事業内容の見直しにより1事業減としたため、公民館活動の参加者数は減少した。職員体制を考慮し、新たな事業を開始する際には既存事業の見直しもする必要がある。</li> <li>・体力、運動能力調査については、かわもとスポーツクラブに所属する団体への呼びかけなど、広く周知に努めた結果、参加者数が回復した。ある程度体力に自信がある者が参加していると思われるため、事業所単位での参加を呼びかけるなど、参加しやすい環境づくりにさらに努める必要がある。</li> <li>・読書の好きな子どもの割合が、小・中学生ともに大きく減少している。考えられる要因を調査するとともに、図書館協議会等において対応策を協議していく。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の目的に照らし効果的な事業の実施体制について検証すること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
14	学び続けられる環境の充実	P70~72	教育課

施策の方針	子どものときから、高齢者になっても、主体的に活動し学び続けられる取り組みを進めて、いつまでもいきいきと暮らしていくことが出来る環境を充実させていきます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育の充実</li> <li>・ 文化活動等の充実・文化財の保護</li> <li>・ 障害スポーツの推進</li> <li>・ 読書活動の充実</li> <li>・ 国際交流の促進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
読書の好きな子どもの割合 （中学生） 【単年度値】（単位：％）	目標値	83.0	84.0	85.0	85.0	85.0
	実績値	88.0	71.0	44.0		
	達成率	106.0%	84.5%	51.8%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
/	

評価	一次評価（副町長、総務課長）
/	

評価	最終評価（町長、教育長）
/	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	社会教育の充実
--------	----	-------	--------------	--------	---------

1/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域づくりを担う人材育成	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもと魅了化team定例会（月1回）</li> <li>・かわもとあそラボの取り組み支援</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課、観光協会、かわもと暮らし、あそラボ、三原まちセンの担当者が集まり月1回定例会を開催し、各事業について内容の検討や振り返り等を行い、横断的に協力できる体制を構築している。</li> <li>・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。</li> </ul>
		【予算】 2,231千円 【決算】 2,231千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもと魅了化team定例会（月1回）</li> <li>・かわもとあそラボの取り組み支援</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課、観光協会、かわもと暮らし、あそラボ、三原まちセンの担当者が集まり月1回定例会を開催し、各事業について内容の検討や振り返り等を行い連携した事業展開を図ることができている。</li> <li>・中高校生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。</li> </ul>
		【予算】 5,450千円 【決算】 5,450千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもと魅了化team定例会（月1回）</li> <li>・かわもとあそラボの取り組み支援</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課、観光協会、かわもと暮らし、あそラボ、三原まちセンの担当者が集まり月2回定例会を開催し、各事業について内容の検討や振り返り等を行い連携した事業展開を図ることができている。</li> <li>・コミュニティカフェ「オレンジ」を活動拠点とし、中高校生を中心とし、大学生や地域の大人等幅広い世代のつながりの中で活動することができた。これまでの経験を活かし、一人でじっくり考えたり、仲間と一緒に会話を楽しんだりすることができる場となっている。</li> <li>・あそラボの認知度向上とともに活動の幅が広がっており、運営方法や行政の関わり方について検討が必要な時期と思われる。</li> </ul>
	【予算】 4,450千円 【決算】 4,450千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地域資源を活かした教育の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>・かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名）</li> <li>・川本町ふるさとカルタの作成（500セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な時間を生かして、小学校はエゴマの栽培を体験し、パワーポイント活用し取り組みについてまとめ、他の学年に発表した。中学校は江川太鼓を体験し、文化祭や老人ホームで披露した。</li> <li>・小学生を対象に、町内3カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や中高生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。</li> <li>・地域教材として、川本町の魅力（自然、文化・暮らし、歴史、観光）に関する事柄を集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見することができる。</li> </ul>
		【予算】 1,789千円 【決算】 1,557千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>・かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全5回、延べ54名）</li> <li>・川本町ふるさとカルタの販売数（260セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、インタビューを行い、パンフレットを作成した。</li> <li>・小学生を対象に、町内4カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や大学生との交流し、関係性を作った。</li> <li>・川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動で実施するなど普及活動に努めた。</li> </ul>
		【予算】 900千円 【決算】 497千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な時間を生かした地域学習の実施（小中学校）</li> <li>・かわもとサマーチャレンジウィークの実施（全4回、延べ79名）</li> <li>・川本町ふるさとカルタの販売数（26セット）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間を活用して、小学校では江川太鼓を学び、全校児童、教職員に向けて成果を発表した。中学校では川本町の施設を訪問し、交流を深めた。</li> <li>・小学生を対象に、町内5カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し、地域の大人や高校生・大学生ボランティアと交流し、関係性を作った。</li> <li>・川本町ふるさとカルタを活用しカルタ大会を実施した。</li> </ul>
	【予算】 1,297千円 【決算】 480千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ キャリア教育の充実（再掲）	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代対話活動「かわもとーく」の事業計画及び予算措置</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の大人と中学生とが1対1で対話することで「ふるさとを愛し、地域課題に当事者意識を持ち地域づくりに貢献する」人材の育成を図る目的の事業を令和4年度から開始するにあたり、予算措置に向けて必要な書類等を準備を進め、予算化した。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多世代対話活動「かわもとーく」の事業の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川本中学校2、3年生と地域の大人が1対1での対話をし、一緒にこれまでの人生を振り返り今の自分と向き合いながら、これからの目標について考える授業を行った。生徒も大人も満足度も高く、これからの将来に対する気持ちの変化が見られた。</li> </ul>
		【予算】 891千円 【決算】 891千円		

R5	・多世代対話活動「かわもと一く」の事業の実施 第1回：中学生×地域の大人 第2回：小学生×島根中央高校生（NEW）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生と地域の大人との対話では、中学生は今悩んでいることや将来のことについて、親でもない、友達でもない関係性の方と話し、これからの人生のヒントや人となつなされるきっかけとなった。</li> <li>・小学生と高校生との対話では、小学生にとっては少し先の自分の姿を描き、身近な存在への憧れや将来への動機づけのきっかけとなった。</li> </ul>
	【予算】 1,250 千円 【決算】 1,150 千円		
R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	文化活動等の充実・文化財の保護	2/7
--------	----	-------	--------------	--------	-----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 趣味や生きがいの場づくりと活動支援	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悠々大学開講（全9回、延べ159名）【中央公民館】</li> <li>・サロン事業の実施（全11回、延べ135名）【西公民館】</li> <li>・三原まちセンマルシェの実施（来場者208名）【三原まちセン】</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50歳以上の町民を対象に趣味や教養に関する生涯学習の機会の提供。</li> <li>・西公民館区の特に男性をターゲットに西公民館を利用しやすいように健康づくりや介護予防、運動系事業を月1回実施した。</li> <li>・サークル活動団体の成果発表や子どもの遊び場の提供等地域のネットワークを生かし、出番づくりとリーダーの人材育成を図った。また、中高生もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々と交流し関係性づくりを図った。</li> </ul>
		【予算】 563 千円 【決算】 275 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悠々大学開講（全8回、延べ154名）【中央公民館】</li> <li>・美と健康講座（全6回、延べ118名）【三原&amp;西公民館】</li> <li>・三原まちセンマルシェの実施（2回、来場者235名）【三原まちセン】</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50歳以上の町民を対象に趣味や教養に関する生涯学習の機会の提供。</li> <li>・町内外から多彩な講師をお招きし、様々な角度から「美容」と「健康」をテーマに学ぶ講座を実施し、子育て世代のネットワーク（関係性）を築くことができた。</li> <li>・サークル活動団体の成果発表や子どもの遊び場の提供等地域のネットワークを生かし、出番づくりとリーダーの人材育成を図った。また、中高生もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々と交流し関係性づくりを図った。</li> </ul>
		【予算】 134 千円 【決算】 106 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悠々大学開講（全8回、延べ139名）【中央公民館】</li> <li>・三原まちセンマルシェの実施（全2回）【三原まちセン】</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50歳以上の町民を対象に趣味や教養に関する生涯学習の機会の提供。</li> <li>・サークル活動団体の成果発表や子どもの遊び場の提供等地域のネットワークを生かし、出番づくりとリーダーの人材育成を図った。また、中高生もボランティアスタッフとして参加し、地域の方々と交流し関係性づくりを図った。</li> </ul>
	【予算】 168 千円 【決算】 67 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② 郷土芸能・伝統文化などの継承	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無観客配信収録（未実施）</li> <li>・神楽展示への技術提供</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の町内感染拡大により、実施が困難となった。</li> <li>・伝統芸能文化を継承するために、発表の場は必須であり町民が伝統芸能に触れる機会を提供していく必要がある。</li> </ul>
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無観客配信収録 実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症により活動を自粛された団体の発表の場を設ける。伝統芸能文化の継続と次世代育成のため、今後定期的な会館利用も考える必要がある。</li> </ul>
		【予算】 780 千円 【決算】 780 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悠色ふるさと会館利用時の技術支援</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月に開催された、江川太鼓同好会結成50周年記念公演における舞台技術支援。次世代育成の場として有効活用となった。</li> <li>・各団体の自主活動において、要請があった場合に支援するものとなっており、伝統芸能継承の積極的な取組は実施していない。会館利用の使用料減免や技術支援などを継続すると同時に、各団体のニーズ把握に努める。</li> </ul>
	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 文化芸術鑑賞の参加の機会創出	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画鑑賞事業として「しまね映画祭」への参加、優秀映画鑑賞、悠色名画シアターの再開。</li> <li>・NHKとの共催による公開収録の誘致。</li> <li>・他館との連携による大型公演の誘致。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生の舞台で様々な芸術を鑑賞出来る施設として、より多くの文化芸術だけでなく、風土や町民性に寄り添った分野の鑑賞機会を創出することが必要。</li> </ul>
		【予算】 3,926 千円 【決算】 2,183 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画鑑賞事業として「しまね映画祭」への参加、優秀映画鑑賞、悠色名画シアターの開催。</li> <li>・NHKのど自慢の誘致。</li> <li>・音楽座ミュージカル公演実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策で、さまざまな制限があったが、多くのお客様に来館していただき、文化芸術にふれ楽しんで頂いた。</li> <li>・大規模文化施設としての活用方法の見直しと、集客方法の見直しが必要。</li> </ul>
		【予算】 8,541 千円 【決算】 8,473 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画鑑賞事業として「しまね映画祭」への参加、優秀映画鑑賞会、悠色名画シアターの開催。</li> <li>・大衆演劇「宝海劇団」公演開催。</li> <li>・宝くじ文化公演ファミリーコンサート実施</li> <li>・音楽座ミュージカル公演実施</li> <li>・ピアノ活用事業の実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染対策が緩和されたことにより、会館内の制限を解除。</li> <li>・前年度より多くの事業を開催できた。久しぶりの声を出しての観劇に満足の声を多く聞けた。</li> <li>・ピアノ活用事業を再開。好評につき、R6年度は開催回数の増を検討。</li> <li>・住民参加型の企画がないが、活動団体のニーズを確認する必要がある。</li> </ul>
	【予算】 11,315 千円 【決算】 10,342 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	文化活動等の充実・文化財の保護	3/7
--------	----	-------	--------------	--------	-----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 文化施設の利活用の推進	R3	・悠色ふるさと会館のPR動画を作成。吹奏楽団の演奏会に併せて作成することで、技術や設備も紹介することが出来た。 ・収録したDVDを県内外の演劇や音楽関係団体に提供し、今後の利用に繋げる。 【予算】 300千円 【決算】 220千円	A	・感染症拡大による行動制限のため、他県団体によるモデル事業としての利用促進が実現出来なかったため、R4年度以降ではPR動画を活用した利用促進戦略を観光協会と連携して実施する。
	R4	・前年度に悠色ふるさと会館のPR動画を作成。随時県内外の劇団や音楽団体へ提供する。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・R5年度も観光協会と連携し、会館利用促進を図る。
	R5	・施設のPR動画を県内劇団、文化施設へ送付 ・公文協地域別ネットワーク会議でのDVD提供 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・引き続き観光協会等と連携し、会館利用促進を図る。 ・施設予約システムの導入を計画し、利用者の利便性向上を図る。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	⑤ 文化財保護	R3	・丸山城跡 除草業務委託（年2回） 除伐業務委託（年1回） 遊具撤去業務委託 ・イズモコバイモ保全管理業務委託 【予算】 1,763千円 【決算】 1,641千円	B
R4		・丸山城跡 除草業務委託（年2回） 除伐業務委託（年1回） ・イズモコバイモ保全管理業務委託 【予算】 250千円 【決算】 79千円	B	・丸山城跡について、除草作業を実施することにより遊歩道が歩きやすくなり、除伐作業により山頂はもとより麓からの眺めもよくなり、登城者が増えている。 ・イズモコバイモの生育保護及び草刈り等による周辺環境の適正な管理により、開花時の見学者へよりよい観察環境を提供している。
R5		・丸山城跡 除草業務委託（年2回） 除伐業務委託（年1回） ・イズモコバイモ保全管理業務委託 ・文化財保護審議会の開催 【予算】 1,473千円 【決算】 1,087千円	B	・丸山城跡について、除草作業を実施することにより遊歩道が歩きやすくなり、除伐作業により山頂はもとより麓からの眺めもよくなり、登城者が増えている。 ・観光資源としての活用においては、観光協会や産業振興課が主体であるが、文化財としての価値を損なうことのないよう連携していく。 ・イズモコバイモの生育保護及び草刈り等による周辺環境の適正な管理により、開花時の見学者へよりよい観察環境を提供している。 ・審議会での意見により、温湯城跡の文化財的価値の検討を進める。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	生涯スポーツの推進
--------	----	-------	--------------	--------	-----------

4/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① スポーツ施設の整備	R3	・ 体育施設の維持管理 ・ 川本運動公園の管理 【予算】 13,283 千円 【決算】 12,769 千円	B	・ 社会体育施設照明器具LED化業務（川本西体育館・武道館・町民球場） ・ 川本運動公園中継ポンプ制御盤取替工事 ・ 川本運動公園受電設備気中閉閉器取替等修繕 ・ 利用者の確保に向け、引き続き施設の整備が必要である。 ・ 適切な管理により利用者が増えることは、健康増進等にも繋がる。
	R4	・ 体育施設の維持管理 ・ 川本運動公園の管理 【予算】 20,634 千円 【決算】 20,111 千円	B	・ 川本町民プールハウス修繕 ・ 川本町民プールシャッター改修工事 ・ 川本町民球場常用電力ケーブル新設工事 ・ 川本公園管理棟改修工事 ・ 川本西グラウンド防球ネット改修工事 ・ 引き続き施設の整備及び適切な管理が必要を行い、利用者が増加することは健康増進等にもつながる。 ・ 毎月、各体育施設の点検を実施
	R5	・ 体育施設の維持管理 ・ 川本運動公園の管理 【予算】 305 千円 【決算】 168 千円	B	・ 運動公園公衆トイレ浄化槽ブロー取替等 ・ 毎月、各体育施設の点検を実施。緊急度や危険度に応じて計画的に修繕。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② スポーツ活動への支援	R3	・ ニュースポーツの振興 ・ かわもとスポーツクラブの支援 ・ カヌー体験教室の開催 【予算】 414 千円 【決算】 282 千円	B	・ ボッチャの道具を購入し、公民館活動等で指導を実施。 ・ かわもとスポーツクラブへ社会体育事業の委託をし、広報誌の作成により、PR活動の支援をした。また、事務局支援として、各種団体等の調整役を行った。 ・ 2030島根国体に向けたジュニア育成事業として、カヌー体験教室を開催した。（参加者：17名） 活動状況を把握し、引き続き支援が必要である。
	R4	・ ニュースポーツの普及活動 ・ かわもとスポーツクラブの支援 【予算】 330 千円 【決算】 328 千円		・ 公民館活動として、月1回2会場にてニュースポーツの体験活動を実施。（全16回、延べ41名参加） ・ KSCへ社会体育事業を委託。新規事業として、スポレク広場を開催し、75名参加。
	R5	・ ニュースポーツの普及活動 ・ かわもとスポーツクラブ（KSC）の支援 【予算】 330 千円 【決算】 330 千円		・ 公民館活動として、月1回各公民館会場にてニュースポーツの体験活動を実施。（延参加者数：154名） ・ KSCへ社会体育事業を委託。スポレク広場を継続開催した。 ・ 学校教育以外での児童生徒のスポーツ活動等を支援するため、遠征費などを助成する「川本町スポーツ大会等出場助成金交付要綱」を制定した。（R6.4.1施行）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ スポーツイベントの開催及び支援	R3	・ スポーツ講演会の開催 ・ 川本町一周駅伝大会の開催 【予算】 307 千円 【決算】 307 千円	B	・ 待ジャハンの清水コーチを招いて講演会を実施。（参加者：140名） ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じて、一周駅伝を開催。開催時期をずらしたため参加チームが少なかった。令和4年度については、例年の時期に開催を予定する。 ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大等により、イベントが中止となっている。工夫しながら開催や支援をしていく。
	R4	・ 春夏秋冬を楽しむウォーキングの開催（全4回） ・ 川本町一周駅伝競争大会の開催 ・ スポーツ講演会の開催 【予算】 496 千円 【決算】 429 千円	B	・ 全4回。会場を変えながらウォーキングを実施（延べ106名参加） ・ 11月に、一般の部、自治会の部、中学校の部として、駅伝競走大会を開催。（11チーム参加） ・ 3月に、スポーツ講演会として、バスケットボール選手を招いて実施。（体験会参加者33名）
	R5	・ 春夏秋冬を楽しむウォーキングの開催（全4回） ・ 川本町一周駅伝競争大会の開催 ・ スポーツ講演会の開催 ・ スポレク広場開催（かわもとスポーツクラブ主催） 【予算】 702 千円 【決算】 570 千円	B	・ 全4回、町内を会場に健康福祉課と共催しウォーキングを実施。町のイベントに合わせて開催する場合もあるが、参加者増が課題。 ・ 11月に川本町一周駅伝を開催。一般・自治会・中学校・一般女子の部が参加（18チーム参加） ・ 3月にスポーツ講演会として、女子硬式野球ワールドカップ2023年日本代表の選手3人を講師に実施。（参加人数：200人）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	生涯スポーツの推進
--------	----	-------	--------------	--------	-----------

5/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ スポーツ指導者の確保・育成	R3	・かわもとスポーツクラブ等関係団体との連携 ・現状把握 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・現在、困っている競技団体はないと思われるが、指導者が高齢の競技団体もあり、今後指導者の確保や育成が必要となってくる。 ・部活動指導者の地域移行の動きもあるので、競技団体と一緒に進めていかないといけない。
	R4	・かわもとスポーツクラブ等関係団体との連携 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・クラブによっては、指導者が高齢化しているところもあり、今後指導者の確保や育成が必要となる。 ・スポーツクラブの活動の周知を検討する必要がある。 ・部活動指導者の地域移行の動きもあるため、クラブと学校、教育委員会とが一緒になって検討を進めていかないといけない。
	R5	・かわもとスポーツクラブ等関係団体との連携 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・クラブによっては、指導者が高齢化しているところもあり、今後指導者の確保や育成が必要。 ・スポーツクラブの活動の周知が必要。 ・部活動指導者の地域移行の動きもあるため、クラブと学校、教育委員会とが一緒になって検討が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	読書活動の充実
--------	----	-------	--------------	--------	---------

6/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 本に親しむ意識の向上や機会の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（4回実施）</li> <li>・館内のテーマ展示（不定期）</li> <li>・読書に関するアンケート調査実施（保育所、小中学校）</li> <li>・お楽しみ袋の実施（3冊セット）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と幼児向けに長期休みを利用しておはなし会と図書館で本を借りるイベントを実施した。また、三原まちセンマルシェにも参加し、館内以外でも実施した。</li> <li>・図書館内に季節に応じたテーマや小中学生向けにおすすめる本を展示し、利用者が目に付きやすく手に取りやすいよう工夫した。</li> <li>・保育所と小中学校に読み聞かせや読書の状況に関するアンケート調査を行い、結果を基に住民サービスの向上を図った。</li> <li>・お楽しみ貸出袋として、普段自分で選ぶことがない本との出会いを提供している。</li> </ul>
		【予算】 14,564 千円 【決算】 13,505 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（年2回）</li> <li>・あおぞら図書館まつりの開催</li> <li>・館内のテーマ展示（不定期）</li> <li>・読書に関するアンケート調査実施（保育所、小中学校）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と幼児向けに長期休みを利用しておはなし会と図書館で本を借りるイベントを実施した。（延べ30名参加）</li> <li>・産業祭りとのコラボ企画である「あおぞら図書館」では、新たな読み聞かせボランティアグループも加わり、ニュースポーツ体験も併せて行い、親子連れで参加する取り組みとなった。</li> <li>・保育所と小中学校に読み聞かせや読書の状況に関するアンケート調査を行い、結果を基に住民サービスの向上を図った。</li> </ul>
		【予算】 14,072 千円 【決算】 14,017 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（年2回）</li> <li>・あおぞら図書館まつりの開催</li> <li>・館内のテーマ展示（不定期）</li> <li>・読書に関するアンケート調査実施（保育所、小中学校）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と幼児向けに長期休みを利用しておはなし会と図書館で本を借りるイベントを実施した。</li> <li>・産業祭りとのコラボ企画である「あおぞら図書館」では、新たな読み聞かせボランティアグループも加わり、親子連れで参加する取り組みとなった。</li> <li>・保育所と小中学校に読み聞かせや読書の状況に関するアンケート調査を行い、結果を基に住民サービスの向上を図った。</li> <li>・KPIに掲げる数値（読書が好きな子どもの割合）が小中学生ともに下がっており、原因と対策を検討する。</li> </ul>
		【予算】 15,028 千円 【決算】 14,245 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7				
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② 図書館機能の充実	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリ（貸し出しサービスの向上）開始</li> <li>・公民館に図書コーナーの設置（2カ所）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非接触による感染リスク軽減と住民サービスの向上を図るため、アプリを開発し、利用者番号を登録することで図書館利用者カードの代わりとして使え、本を借りられるサービスを開始した。</li> <li>・西公民館と三原まちづくりセンターに図書館コーナーを設け、身近なところで本を借りられるようにしている。定期的に本の入れ替えも実施している。</li> </ul>
		【予算】 3,730 千円 【決算】 3,660 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリの普及</li> <li>・図書館システムの運用及び保守</li> <li>・公民館に図書コーナーの設置（2カ所）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非接触による感染リスク軽減と住民サービスの向上を図るため、スマートフォンアプリを開発し、普及啓発を行っている。利用者からの満足度も高く、登録件数も増えている。（登録件数231件）</li> <li>・西公民館と三原まちづくりセンターに図書館コーナーを設け、身近なところで本を借りられるようにしている。（絵本も同様）定期的に本の入れ替えも実施している。</li> </ul>
		【予算】 3,676 千円 【決算】 3,676 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンアプリの普及</li> <li>・図書館システムの運用及び保守</li> <li>・公民館に図書コーナーの設置（2カ所）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非接触による感染リスク軽減と住民サービスの向上を図るため、スマートフォンアプリを開発し、普及啓発を行っている。利用者からの満足度も高く、登録件数も増えている。</li> <li>・西公民館と三原まちづくりセンターに図書館コーナーを設け、身近なところで本を借りられるようにしている。（絵本も同様）定期的に本の入れ替えも実施している。</li> </ul>
		【予算】 3,676 千円 【決算】 3,676 千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7				
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3			
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	14	基本施策名	学び続けられる環境の充実	施策の方向性	国際交流の推進
--------	----	-------	--------------	--------	---------

7/7

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① グローバルな意識の醸成	R3	・ 外国語指導助手 (ALT) 2名配置 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・ コロナ禍のため、国際交流活動が制約される中で、英会話教室や保育所訪問など地域における国際交流活動に参加した。多文化共生に対する理解を育むため、啓発活動を啓発していく必要がある。
	R4	・ 外国語指導助手 (ALT) 2名配置 ・ 産業祭への参加 【予算】 10,464 千円 【決算】 9,511 千円	B	・ 3年ぶりの産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R5	・ 外国語指導助手 (ALT) 2名配置 ・ 産業祭への参加 【予算】 10,328 千円 【決算】 8,715 千円	B	・ 産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 子ども達の夢を育み、挑戦する人材が育つまち（教育）
基本方針	子育て・学び環境の充実

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
15	多様性のある地域社会の実現	P74~75	まちづくり推進課

施策の方針	すべての町民がお互いの人権を尊重し、性別・人種・国籍・宗教・価値観の違いや障がいの有無に関わらずお互いを認め合い、それぞれの幸福を追求できる多様性のある地域社会の実現を目指します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権意識の定着</li> <li>・男女共同参画の推進</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
人権講演会等への参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	200	300	400	450	500
	実績値	297	200	278		
	達成率	148.5%	66.7%	69.5%	%	%
町の審議会等への女性の参画率 【単年度値】（単位：%）	目標値	21.9	24.0	26.2	28.4	30.6
	実績値	20.2	24.8	24.5		
	達成率	92.2%	103.3%	93.5%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策の方針目標を目指し、引き続き意識的な女性の参画や意識啓発に向けた取組を進める。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き意識的な女性の参画や意識啓発に向けて取組を進めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一次評価のとおりとする</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	15	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	人権意識の定着
--------	----	-------	---------------	--------	---------

1/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 学校教育での取り組みの充実	R3	・川本町同和担当会の開催（年3回） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かしている。
	R4	・川本町同和担当会の開催（年3回） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かしている。
	R5	・川本町同和教育担当会の開催（年3回） ・人権を考えるつどい12/7 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保、小、中、高と関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。人権教育の取組を共有し、研修会のテーマを協議するなどして、児童生徒や教職員の人権意識啓発につながっている。 ・12月に開催する「人権を考えるつどい」には児童生徒（小中高）の参加を前提にテーマや講師を選定している。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 地域社会や家庭における取り組みの充実	R3	・人権サロン及び人権講座の実施（川本西公民館・三原まちづくりセンター） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・人権サロン及び人権講座の実施（川本西公民館・三原まちづくりセンター） 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・川本西公民館及び三原まちづくりセンターで町民向けのサロンや講座を開催。 ・まだまだ人権に関心を持つ住民が少ないため、広報や周知の方法を工夫し、引き続き取組が必要である。
R5		・同和教育推進協議会研修会8/30 「同和問題の解決に向けて」 「島根県パートナーシップ制度」 ・人権を考えるつどい12/7 「あたりまえにそこにいるLGBTQs ～知ることから始まる性の多様性～」 ・広報「まちのじんけんほっとすぺーす」連載 【予算】 349千円 【決算】 256千円	B	・公民館での人権サロンは日程調整が難しく開催できなかった。 ・パートナーシップ制度の制定を機に、人権を考えるつどいでは「LGBTQs」をテーマとした。一般参加者が例年以上に多かった。 ・広報かわもとに人権啓発のスペースをとり、毎月記事を掲載している。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ グローバルな意識の醸成（再掲）		R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
	R4	・外国語指導助手（ALT）2名配置 ・産業祭への参加 【予算】 10,464千円 【決算】 9,511千円	B	・3年ぶりの産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R5	・外国語指導助手（ALT）2名配置 ・産業祭への参加 【予算】 10,328千円 【決算】 8,715千円	B	・産業祭に出店し、ALTの母国料理の販売や母国紹介のパネル展示など地域における国際交流活動に参加した。外国人との交流活動を中心とした国際理解教育を積極的に展開していく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	15	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	人権意識の定着
--------	----	-------	---------------	--------	---------

2/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 相談・支援体制の充実	R3	・人権担当職員が窓口となって対応（教育課では、相談案件なし） ・川本町向和担当者会の開催（年3回） ・人権のつどい等、研修会の実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かしている。 人権研修について、担当職員を含めて教職員等に案内し、意識の高揚に努めている。
	R4	・人権担当職員が窓口となって対応（教育課では、相談案件なし） ・川本町向和担当者会の開催（年3回） ・人権のつどい等、研修会の実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保育所、小学校、中学校、高等学校及び関係機関の人権担当者による情報交換の場として開催。 ・取組について意見交換やアドバイスができ、保育や学校教育の場で生かしている。 人権研修について、担当職員を含めて教職員等に案内し、意識の高揚に努めている。
	R5	・人権担当窓口（町民生活課）設置 ・人権擁護委員との連携 ・パートナーシップ宣誓制度を開始 ・人権のつどい等研修会に参加 【予算】 25千円 【決算】 25千円	B	・人権担当窓口（町民生活課）にて相談対応（R5窓口相談実績無）。 ・島根県と共同でパートナーシップ宣誓制度を10月1日より開始、公営住宅の入居可能としている。 ・人権のつどい等の研修会に参加し職員の人権意識向上を図った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	15	基本施策名	多様性のある地域社会の実現	施策の方向性	男女共同参画の推進
--------	----	-------	---------------	--------	-----------

3/3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 男女共同参画推進計画の改定と実行	R3	・第3次川本町男女共同参画推進計画の策定。 【予算】 224 千円 【決算】 224 千円	B	・第3次川本町男女共同参画推進計画の行動計画に基づき、目標達成に向けた取組を実施する。
	R4	・第3次川本町男女共同参画推進計画に基づき取組を実施した。 【予算】 270 千円 【決算】 131 千円	B	・第3次川本町男女共同参画推進計画の行動計画に基づき、目標達成に向けた取組を実施した。 ・男女共同の意識啓発に係るパンフレットを作成し全戸に配布した。
	R5	・第3次川本町男女共同参画推進計画に基づき取組を実施した。 【予算】 182 千円 【決算】 18 千円	B	・第3次川本町男女共同参画推進計画の行動計画に基づき、目標達成に向けた取組を実施した。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	・男女共同参画推進委員会の開催 1回 ・各種パンフレット等の配布、掲示 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・各学校等では個別に開催されているが、連携した取組は実績なし。 ・サポーターも交えた連携のあり方を検討する。
	R4	・男女共同参画推進委員会の開催 1回 ・各種パンフレット等の配布、掲示 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・意識啓発に係るパンフレットを作成し配布した。 ・学校と連携した町民向けの講習会等の開催は行うことができなかった。
R5	・男女共同参画推進委員会の開催 1回 ・各種パンフレット等の配布、掲示 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・公民館等公共施設でのポスターの掲示、パンフレットの配布などによる周知を行った。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 活躍できる場の拡充	R3	・県などが主催するセミナー等をおおち・さくら地域雇用促進協議会を通じて会員事業所へ周知 【予算】 530 千円 【決算】 30 千円	B	・雇用促進協議会と連携した講習会の開催や情報提供に取り組む。
	R4	・県などが主催するセミナー等をおおち・さくら地域雇用促進協議会を通じて会員事業所へ周知 ・企業人材確保育成支援補助金（1件） 【予算】 230 千円 【決算】 121 千円	C	・雇用促進協議会と連携した講習会の開催や情報提供に取り組む。 ・企業人材確保育成支援補助金については、より効果的な内容となるよう見直す必要がある。
	R5	・県などが主催するセミナー等をおおち・さくら地域雇用促進協議会を通じて会員事業所へ周知 ・企業人材確保育成支援補助金（3件） 【予算】 230 千円 【決算】 191 千円	B	・前年に引き続き、雇用促進協議会と連携した講習会の開催や情報提供に取り組む。 ・企業人材確保育成支援補助金については、前年実績から2件分増となっており、町内企業に支援補助金の存在が認知されてきている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
16	防災・減災対策の充実	P76~78	総務財政課

施策の方針	一つでも多くの災害発生リスク軽減に努めるとともに、災害時にも被害が最小限に抑えられ、災害への不安が軽減されるような安全に暮らせる環境づくりを進めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治水・治山対策の推進</li> <li>・ 地域防災力の向上</li> <li>・ 消防機能の充実</li> <li>・ 危機管理体制の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
治水対策未実施地区数 【単年度値】（単位：地区）	目標値	3	3	3	3	2
	実績値	3	3	3		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
防災士の数 【累計値】（単位：人）	目標値	4	6	8	9	10
	実績値	3	3	5		
	達成率	75.0%	50.0%	62.50%	%	%
自主防災組織の訓練（研修）の参加者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	300	400	500	600	800
	実績値	302	403	487		
	達成率	100%	100.8%	97.40%	%	%

評価	担当課評価
B	防災士資格の取得について、R5年度に2名の増員となり、今後も補助制度等を周知し、推進していく必要がある。また、避難訓練は、人数は増えていないが、参加自治会は増加しており、防災意識の高まりがみられるため継続していく必要がある。

評価	一次評価（副町長、総務課長）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施中の治水対策が着実に実現できるよう、また川本堤防の完成堤防化に向け引き続き国・県に対して要望を行っていくこと。</li> <li>・ 水防災をはじめ、地震や雪害などへの備えも含めて意識啓発に努めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立地適正化計画の動きに合わせ引き続き災害等への備える意識や国・県への要望を強化すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	治水・治山対策の推進	1/6
--------	----	-------	------------	--------	------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 河川における対策の推進	R3	国・県に対して、堤防未整備地区の解消に向けた要望活動を行う。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・谷地区・尾原地区（久料谷）については、国事業による仮設対策工事が進み、今後の計画についても協議検討が進んでいる。
	R4	国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 31,000千円 【決算】 2,075千円	B	・瀬尻・久料谷地区、谷地区における治水対策については事業化、今後は弓市地区における川本暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R5	瀬尻・久料谷地区治水対策事業着手 谷地区治水対策事業着手 【予算】 212,552千円 【決算】 208,816千円	A	・瀬尻・久料谷地区において、治水対策事業着手済。 ・谷地区において、治水対策事業着手済。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 流域における対策の推進	R3	・因原地区堤防の排水ポンプの更新。 ・尾原地区への緊急排水ポンプの整備（1台） 【予算】 14,317千円 【決算】 14,316千円	A	・因原地区上流部の内水排除対策が必要であり、また、尾原地区の緊急排水ポンプの増設が必要なため、拡充。
	R4	・因原地区への緊急排水ポンプの新規整備（1台） ・尾原地区への緊急排水ポンプの追加整備（計3台） 【予算】 15,000千円 【決算】 14,999千円	B	・設置後稼働する事案がなかったため、現状維持。
	R5	谷地区内水排除設備の埋設工事 【予算】 3,500千円 【決算】 3,493千円	A	・内水排除用の排水管を埋設したことで、県道の通行規制や近隣事業所の避難作業の影響を受けることなく排水作業の準備に取り掛かることができるため、作業時間に余裕が持てる。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 土砂災害対策の推進	R3	国・県と連携し対応を検討する。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・国・県と連携し、情報の共有を図りながら、必要な措置を講じていく。
	R4	国・県と連携し対応を検討する。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・国・県と連携し、情報の共有を図りながら、必要な措置を講じていく。
	R5	国・県と連携し対応を検討する。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・国・県と連携し、情報の共有を図りながら、必要な措置を講じていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	地域防災力の向上	2/6
--------	----	-------	------------	--------	----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明	
① 地域防災計画などの充実	R3	国や県、関係機関からの情報を活用し、現実に見合った計画の更新を進め、実災害時に活かせる計画の策定を行う。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関係機関からの情報を受け、実災害に備えた計画となるよう見直しを行い、関係機関とも情報共有をしている。	
	R4	国や県、関係機関からの情報を活用し、現実に見合った計画の更新を進め、実災害時に活かせる計画の策定を行う。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関係機関からの情報を受け、実災害に備えた計画となるよう見直しを行い、関係機関とも情報共有をしている。	
	R5	国や県、関係機関からの情報を活用し、現実に見合った計画の更新を進め、実災害時に活かせる計画の策定を行う。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・関係機関からの情報を受け、実災害に備えた計画となるよう見直しを行い、関係機関とも情報共有をしている。	
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
	② 自主防災組織の機能向上	R3	自治会を中心とした自主防災組織の充実を図ると共に、防災に関するリーダーとなる人材の育成を行う。 【予算】 1,150千円 【決算】 1,077千円	B	・新型コロナウイルス感染症拡大により、防災士研修会が中止されたため、支出は無かったが、今後も防災士育成補助金の活用は必要である。
		R4	自治会を中心とした自主防災組織の充実を図ると共に、防災に関するリーダーとなる人材の育成を行う。 【予算】 108千円 【決算】 0千円	B	・新型コロナウイルス感染症により、開催時期が変動し、防災士講習の参加者が得られなかったため、支出は無かった。しかし、希望される方も出ているため、継続。
R5		自治会を中心とした自主防災組織の充実を図ると共に、防災に関するリーダーとなる人材の育成を行う。 【予算】 108千円 【決算】 63千円	B	・防災士講習に、2つの自主防災組織から2名の受講があり、防災士2名が増員された。今後も継続して増員を目指す。	
R6		【予算】 千円 【決算】 千円			
R7		【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 防災意識の向上	R3	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会を対象に防災に関する講習会を実施。また、保・小・中の職員を対象とした研修会を実施した。これらは住民からの希望により実施しており、意識の向上の表れと感じる。	
	R4	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会は伸び悩んでいるが、自治会単位での避難体制について相談が始まっている。また、小学校4年生の授業で防災について授業を行った。これらは住民からの希望により実施しており、世代を問わず意識の向上の表れと感じる。	
	R5	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・昨年度の取り組みに加え、中学校での防災授業を行った。『地域で活躍できる中学生』を目指し、今後も継続した取り組みを行っていく。	
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円			

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	地域防災力の向上	3/6
--------	----	-------	------------	--------	----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 要配慮者支援体制の充実	R3	要配慮者の避難を円滑に進めるため、個別避難計画の作成など、自治会や福祉関係団体と連携し着手。 【予算】 35千円 【決算】 35千円	B	・各関係団体と連携し、個別避難計画等の作成を進めている。また、自治会毎に実情に合った計画を作成するため、個別の協議も実施していく必要がある。
	R4	要配慮者の避難を円滑に進めるため、個別避難計画の作成など、自治会や福祉関係団体と連携し着手。 【予算】 140千円 【決算】 0千円	B	・個別避難計画の作成について、新たな進捗ができなかったが、関係機関と連携し進めていく。また、自治会毎に避難者名簿の作成など動きが見られている。
	R5	要配慮者の避難を円滑に進めるため、個別避難計画の作成など、自治会や福祉関係団体と連携し着手。 【予算】 140千円 【決算】 0千円	B	・個別避難計画の作成について、個人情報の取扱いに注意しながら、関係機関と連携し進めていく。また、自治会毎に避難者名簿の作成など動きが見られている。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	段ボールベットや間仕切り等の整備や非常食の整備。 ※施設整備については、所管課で対応 【予算】 932千円 【決算】 908千円	B	・避難所での備蓄品については、賞味期限や状態を管理しながら、補充や更新が必要となる。
	R4	・段ボールベットや間仕切り等の整備や非常食の整備。 ※施設整備については、所管課で対応 【予算】 3,364千円 【決算】 3,069千円	B	・避難所での備蓄品については、賞味期限や状態を管理しながら、補充や更新が必要となる。 ・避難所の環境整備事業として、TV環境整備を行った。今後も実施する必要がある。
R5	・段ボールベットや間仕切り等の整備や非常食の整備。 ※施設整備については、所管課で対応 【予算】 242千円 【決算】 242千円	A	・避難所での備蓄品については、賞味期限や状態を管理しながら、補充や更新が必要となる。 ・能登地震の教訓から、今後トイレ等の整備状況の見直しが必要。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
⑥ 情報伝達手段の充実	R3	防災無線や放送サービス、SNSやHP等を活用し、より分かりやすく、迅速に情報伝達を行う仕組みづくり。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	A	・多様な方法で情報発信を行う仕組みはできてきたが、それぞれに入力作業等が必要になっている。そのため、少ない作業でカバー出来る方法の検討が必要である。また、テレビでの情報発信をより簡素化できる仕組みを構築する必要がある。
	R4	防災無線や放送サービス、SNSやHP等を活用し、より分かりやすく、迅速に情報伝達を行う仕組みづくり。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	A	・防災行政無線の更新に併せ、一つの入力作業で、防災無線・SNS・HP等への出力ができる仕組みづくりを検討を継続する。
	R5	防災無線や放送サービス、SNSやHP等を活用し、より分かりやすく、迅速に情報伝達を行う仕組みづくり。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・情報伝達手段として、町のLINEを整備 ・令和6年度に、防災行政無線の更新に併せ、一つの入力作業で、防災無線・SNS・HP等への出力ができる仕組みづくりを検討を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直し必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	消防機能の充実
--------	----	-------	------------	--------	---------

4/6

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 常備消防の機能・充実	R3	江津邑智消防組合と情報を共有し、計画的な運営・機器整備を行う。 【予算】 137,071 千円 【決算】 137,071 千円	B	引き続き江津邑智消防組合と連携し実施していく。
	R4	江津邑智消防組合と情報を共有し、計画的な運営・機器整備を行う。 【予算】 141,087 千円 【決算】 141,087 千円	B	引き続き江津邑智消防組合と連携し実施していく。
	R5	江津邑智消防組合と情報を共有し、計画的な運営・機器整備を行う。 【予算】 149,456 千円 【決算】 149,456 千円	B	引き続き江津邑智消防組合と連携し実施していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 非常備消防体制の充実	R3	消防団員の確保に努め、非常備消防体制を確保する。 【予算】 13,349 千円 【決算】 12,286 千円	A	消防団員の処遇改善（報酬など）を行うため、拡充とする。
	R4	消防団員の確保に努め、非常備消防体制を確保する。 【予算】 19,833 千円 【決算】 17,654 千円	B	消防団員の処遇改善（報酬など）を行った。現状維持。
	R5	消防団員の確保に努め、非常備消防体制を確保する。 【予算】 21,506 千円 【決算】 17,821 千円	B	消防団員の処遇改善（報酬など）を行った。 一方で、消防団員の確保は引き続き必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	危機管理体制の充実
--------	----	-------	------------	--------	-----------

5/6

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 迅速に対応できる体制づくり	R3	研修会等を開催し、住民意識の醸成に併せた研修会の実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住民一人ひとりのタイムラインの作成に向けた情報発信を充実させるため、研修会等を行う必要があったが、取り組みまで至らなかった。
	R4	研修会等を開催し、住民意識の醸成に併せた研修会の実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住民一人ひとりのタイムラインの作成に向けた情報発信を充実させるため、研修会等を行う予定としていたが、地域ごとの説明の場の要望が出ているため、実施に向け調整する。
	R5	研修会等を開催し、住民意識の醸成に併せた研修会の実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・住民一人ひとりのタイムラインの作成に向けた情報発信を充実させるため、研修会等を行う予定としていたが、地域ごとの説明の場の役員会等へ出向いた際に説明の場を設けることができた。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 業務継続計画の作成及び作成支援	R3	業務継続計画を策定。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		業務継続計画を策定。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・計画の見直しを行いながら、継続して計画の改定を行う。
R5		業務継続計画の見直し。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・計画の見直しを行いながら、継続して計画の改定を行う。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 復旧体制の構築		R3	関係機関を始め、協力団体との連携強化。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
	R4	関係機関を始め、協力団体との連携強化。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・電気等のライフラインの復旧を迅速に行う為、今後も新たな支援団体の模索を進める必要がある。
	R5	関係機関を始め、協力団体との連携強化。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・電気等のライフラインの復旧を迅速に行う為、今後も新たな支援団体の模索を進める必要がある。また、資材取扱い事業者との協定などを行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	16	基本施策名	防災・減災対策の充実	施策の方向性	危機管理体制の充実	6/6
--------	----	-------	------------	--------	-----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 災害時の精神的ケアの充実	R3	災害時の体制について内部検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保健師によるケア体制や、仁寿会との連携も含め、今後も検討が必要。
	R4	災害時の体制について内部検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保健師によるケア体制や、仁寿会との連携も含め、今後も検討が必要。
	R5	災害時の体制について内部検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・保健師によるケア体制や、仁寿会との連携も含め、今後も検討が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 新たな感染症対策	R3	対策会議の開催。 情報収集・発信。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・HPや告知放送による対策の呼びかけや、対策会議を頻繁に行い、緊急事態を回避するための準備を進めた。
	R4	対策会議の開催。 情報収集・発信。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・新型コロナウイルスが5類になったことで、対策会議の廃止など縮小方向にあるため、事業の見直しが必要
	R5	対策会議の開催。 情報収集・発信。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・新型コロナウイルスが5類になったが、以前収束してはいないことから、対応ができる体制のみ継続する必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑥ テロ対策等の充実	R3	・緊急時の職員の参集方法の構築。 ・Jアラートによる緊急放送体制の維持。 【予算】 3,957千円 【決算】 3,955千円	B	・職員の参集メールの構築を行い運用中、また、防災無線の保守管理を継続する
	R4	・緊急時の職員の参集方法の構築。 ・Jアラートによる緊急放送体制の維持。 【予算】 2,885千円 【決算】 2,555千円	B	・職員の参集メールの構築を行い運用中、また、防災無線の保守管理を継続する。 ※防災行政無線については、機器更新がR6年度から必要となる。
	R5	・緊急時の職員の参集方法の構築。 ・Jアラートによる緊急放送体制の維持。 【予算】 3,166千円 【決算】 2,959千円	B	・職員の参集メールの構築を行い運用中、また、防災無線の保守管理を継続する。 ※防災行政無線については、機器更新がR6年度から必要となる。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
17	日常の安全対策の充実	P80~81	総務財政課

施策の方針	交通事故や犯罪などが起きない、安心して暮らせる環境づくりを進めます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全対策の充実</li> <li>・防犯対策の充実</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
町内の交通事故死者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
町内の詐欺被害件数 【単年度値】（単位：件）	目標値	0	0	0	0	0
	実績値	1	0	1	-	-
	達成率	0%	100.0%	0%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春と秋の交通安全週間や毎月1日には街頭指導を行っている。なお運動期間中は、自動車パレード、出陣式、街頭指導を実施した。</li> <li>・詐欺被害0件に向けて、警察と協力し広報活動に取組実現を図ってきたい。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察など関係機関と連携し、交通安全運動の充実・防犯意識の啓発に取り組むこと。</li> <li>・詐欺被害にかかるKPIについては町内での実態把握が困難な数値であることから指標から除外することが適当</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	一次評価のとおりとする

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	17	基本施策名	日常の安全対策の充実	施策の方向性	交通安全対策の充実
--------	----	-------	------------	--------	-----------

1/2

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 交通安全運動の充実	R3	・春と秋の交通安全週間や毎月1日に行う街頭指導。 ・警察署と連携した交通安全啓発。 【予算】 206千円 【決算】 193千円	B	・今後も継続していく必要がある。
	R4	・春と秋の交通安全週間や毎月1日に行う街頭指導。運動期間中は、自動車パレード、出陣式、街頭指導を実施。 ・警察署と連携した交通安全啓発。 【予算】 331千円 【決算】 156千円	B	・今後も継続していく必要がある。
	R5	・春と秋の交通安全週間や毎月1日に行う街頭指導。運動期間中は、自動車パレード、出陣式、街頭指導を実施。 ・警察署と連携した交通安全啓発。 【予算】 344千円 【決算】 201千円	B	・今後も継続していく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	川本警察署と協力して事業を展開。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・今後も年代に応じた交通安全教室などの事業実施を継続していく必要がある。
	R4	川本警察署と協力して事業を展開。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・今後も年代に応じた交通安全教室などの事業実施を継続していく必要がある。
R5	川本警察署と協力して事業を展開。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・今後も年代に応じた交通安全教室などの事業実施を継続していく必要がある。	
R6	【予算】 千円 【決算】 千円			
R7	【予算】 千円 【決算】 千円			
③ 交通安全対策の実施	R3	標識やカーブミラーなどの更新・新設必要箇所などの状況確認を、警察署と連携して実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・必要に応じてカーブミラーや標識の設置について警察署と連携して管理していく
	R4	標識やカーブミラーなどの更新・新設必要箇所などの状況確認を、警察署と連携して実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・必要に応じてカーブミラーや標識の設置について警察署と連携して管理していく
	R5	標識やカーブミラーなどの更新・新設必要箇所などの状況確認を、警察署と連携して実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・必要に応じてカーブミラーや標識の設置について警察署と連携して管理していく
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	17	基本施策名	日常の安全対策の充実	施策の方向性	防犯対策の充実
--------	----	-------	------------	--------	---------

2/2

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 見守り活動の充実	R3	・青色防犯パトロール隊の活動。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・子どもの見守りには欠かせない活動であるため、引き続き人員確保を進める。
	R4	・青色防犯パトロール隊の活動。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・子どもの見守りには欠かせない活動であるため、引き続き人員確保を進める。
	R5	・青色防犯パトロール隊の活動。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・子どもの見守りには欠かせない活動であるため、引き続き人員確保を進める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 防犯啓発活動の充実	R3	県及び郡の防犯連合会と連携した活動。 【予算】 233千円 【決算】 233千円	B	・引き続き連携して活動していく。
	R4	県及び郡の防犯連合会と連携した活動。 【予算】 233千円 【決算】 233千円	B	・引き続き連携して活動していく。
	R5	県及び郡の防犯連合会と連携した活動。 【予算】 233千円 【決算】 233千円	B	・引き続き連携して活動していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 防犯設備の整備促進	R3	・防犯灯の設置補助及び防犯カメラの管理。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 534千円 【決算】 400千円	B	・継続して見守り環境を維持する。
	R4	・防犯灯の設置補助及び防犯カメラの管理。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 561千円 【決算】 244千円	B	・継続して見守り環境を維持する。
	R5	・防犯灯の設置補助及び防犯カメラの管理。 ・青色防犯パトロール隊の人員確保。 【予算】 626千円 【決算】 358千円	B	・継続して見守り環境を維持する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 1

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち すべての住民が、安心して暮らせるまち（安全）
基本方針	防災・減災対策や生活基盤の整備

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
18	インフラ整備・環境対策の推進	P82~84	地域整備課

施策の方針	住み慣れた地域で暮らし続けられる生活基盤を整えます。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地の機能強化</li> <li>・ 居住環境の充実</li> <li>・ 道路の維持・整備</li> <li>・ 環境対策の充実</li> <li>・ 上下水道の維持・整備</li> <li>・ 情報通信網の活用</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
弓市地区の居住者数 【単年度値】（単位：人）	目標値	785	776	768	760	752
	実績値	717	747	721		
	達成率	91.3%	96.3%	93.9%	%	%
改良計画路線の改良率 【累計値】（単位：%）	目標値	52.4	52.7	52.9	54.0	55.1
	実績値	52.4	52.4	52.4		
	達成率	100.0%	99.4%	99.1%	%	%
汚水処理人口普及率 【累計値】（単位：%）	目標値	65.5	65.9	66.4	66.8	67.2
	実績値	63.5	64.6	68.7		
	達成率	96.9%	98.0%	103.5%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弓市地区の居住者については、今後策定する立地適正化計画も含め、大前提となる川本堤防の完成堤防化に向け要望を強化していく。</li> <li>・ 道路改良について、田原絵堂線を改良中（令和6年度内完成予定）</li> <li>・ 汚水処理普及について、継続して強化していく。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施中の治水対策が着実に実現できるよう、川本堤防の完成堤防化に向け引き続き国・県に対して要望を行っていくこと。</li> <li>・ 道路改良についても計画的に実施していくこと。</li> <li>・ 町民の暮らしやすい環境づくりに向け立地適正化計画において具体的な事業の検討を進めること。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立地適正化計画策定の動きに合わせ各種ハード整備についても効果の高い取組を意識すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	中心市街地の機能強化	1/8
--------	----	-------	----------------	--------	------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 都市マスタープラン等の作成	R3	谷地区治水事業に係る谷地区のまちづくり計画を策定。 【予算】 1,203 千円 【決算】 1,203 千円	B	弓市を中心としたマスタープラン策定に向け検討。
	R4	立地適正化計画策定に向けての検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	立地適正化計画策定に係る補助事業に関し、国への概算要望、本要望を実施。令和5年度当初予算計上。令和5年度から2ヶ年にわたり策定を予定。
	R5	立地適正化計画の策定（1年目） 【予算】 5,500 千円 【決算】 5,500 千円	B	国庫補助を活用し本格的に計画策定に着手2か年での策定（令和6年度末策定完了）を目指し取り組みを継続して進める
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	— 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	中心市街地の生活サービス機能の維持・充実を図るため、マスタープランを中心とした立地適正化計画策定に向け検討。
	R4	立地適正化計画策定に向けての検討。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	立地適正化計画策定に係る補助事業に関し、国への概算要望、本要望を実施。令和5年度当初予算計上。令和5年度から2ヶ年にわたり策定を予定。
② 生活サービス施設の維持・充実	R5	立地適正化計画の策定（1年目） 【再掲】 【予算】 5,500 千円 【決算】 5,500 千円	B	国庫補助を活用し本格的に計画策定に着手2か年での策定（令和6年度末策定完了）を目指し取り組みを継続して進める併せて誘導施策（施設）の検討を進める
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	道路の維持・整備	2/8
--------	----	-------	----------------	--------	----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 国道・県道の整備促進	R3	国・県への事業促進要望活動。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	主要地方道川本波多線（川本バイパス）の事業化が決定となり、早期完成に向け要望活動を継続する。
	R4	国・県への事業促進要望活動。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	主要地方道川本波多線川本工区の早期完成、国道261号冠水対策に向け要望活動を継続する。
	R5	国・県への事業促進要望活動。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	主要地方道川本波多線川本工区の早期完成、国道261号冠水対策に向け要望活動を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町道、農林道の維持・改善	R3	中倉日向線（L=1.04Km）：開通 As舗装 A=5,025㎡、ガードレール L=332m、区画線 L=2,218m 【予算】 30,623千円 【決算】 30,623千円	B	町道等の改良を進めると共に、町道・農林道の維持修繕を継続する。
	R4	田原絵堂線（測量・設計） 【予算】 100,100千円 【決算】 40,712千円	B	町道等の改良を進めると共に、町道・農林道の維持修繕を継続する。
	R5	田原絵堂線（L=380m） 【予算】 120,100千円 【決算】 45,281千円	B	町道等の改良を進めると共に、町道・農林道の維持修繕を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 交通安全対策の充実	R3	ガードパイプ L=20.0m 側溝蓋設置 L=40.0m 【予算】 2,000千円 【決算】 2,000千円	B	・通学路点検結果等に基づく交通安全対策の継続。
	R4	因原仏谷線 伐採 【予算】 1,320千円 【決算】 1,320千円	B	・通学路点検結果等に基づく交通安全対策の継続。 ・進捗率50.0%（目標68.8%）
	R5	カーブミラー3基・ガードレールL=10.0m 区画線L=286m 【予算】 1,156千円 【決算】 1,156千円	B	・通学路点検結果等に基づく交通安全対策の継続。 ・進捗率50.0%（目標68.8%）
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	上下水道の維持・整備	3/8
--------	----	-------	----------------	--------	------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 上水道の維持管理の充実	R3	各水道施設維持管理における業務委託。 【予算】 9,983 千円 【決算】 9,982 千円	B	職員数の減少により、直営による維持管理が困難なため外部委託を継続。
	R4	各水道施設維持管理における業務委託。 【予算】 10,376 千円 【決算】 10,347 千円	B	職員数の減少により、直営による維持管理が困難なため外部委託を継続。
	R5	各水道施設維持管理における業務委託。 【予算】 11,321 千円 【決算】 11,315 千円	B	職員数の減少により、直営による維持管理が困難なため外部委託を継続。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 下水道の普及促進	R3	個人が設置する合併処理浄化槽設置費に対する補助。7人槽：2件、5人槽：4件 【予算】 3,980 千円 【決算】 3,980 千円	B	農業集落排水処理事業区域（三原地区）を除く町内全域について、合併処理浄化槽の普及により汚水処理人口普及率を高めていく必要がある。
	R4	個人が設置する合併処理浄化槽設置費に対する補助。7人槽：0件、5人槽：2件 【予算】 6,415 千円 【決算】 1,160 千円	B	農業集落排水処理事業区域（三原地区）を除く町内全域について、合併処理浄化槽の普及により汚水処理人口普及率を高めていく必要がある。
	R5	個人が設置する合併処理浄化槽設置費に対する補助。7人槽：2件、5人槽：7件 【予算】 5,815 千円 【決算】 5,810 千円	B	農業集落排水処理事業区域（三原地区）を除く町内全域について、合併処理浄化槽の普及により汚水処理人口普及率を高めていく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	情報通信網の活用	4/8
--------	----	-------	----------------	--------	----------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ハード施設の維持・向上の推進	R3	FTTH施設の維持管理。 【予算】 72,233 千円 【決算】 71,228 千円	B	・光通信サービスや有線テレビの放送を行うためには、必要な施設維持を継続。
	R4	FTTH施設の維持管理。 【予算】 74,125 千円 【決算】 73,679 千円	B	・光通信サービスや有線テレビの放送を行うためには、必要な施設維持を継続。
	R5	FTTH施設の維持管理。 【予算】 70,156 千円 【決算】 69,203 千円	B	・光通信サービスや有線テレビの放送を行うためには、必要な施設維持を継続。 ・告知放送、域内無料電話のリース期間がR7.12に満了する。ランニングコスト(年間20,000千円)がかかっていることから、今後の方針の検討が必要
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 他分野への活用促進	R3	・IP告知システム端末更改業務（画面付告知端末の導入）100台 【予算】 17,468 千円 【決算】 16,899 千円	C	医療機関や見守り対象者に画面付き告知端末を設置のため、端末購入はR3で終了。 今後、新たな防災や各種相談での活用方法を検討。
	R4	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	防災や各種相談等での活用方法を検討。
	R5	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	C	防災や各種相談等での活用方法を検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 放送サービスの充実	R3	まげなねっと112CHの番組作成（サブチャンネルによる県議会の生放送、町の行事の放送機会の確保） 【予算】 1,533 千円 【決算】 1,533 千円	B	・町内のイベントや行事などの地域情報番組や県ケーブルテレビ協会との連携により番組を放送。 ・また、災害時にも災害情報等の情報発信を実施。 ・今後も町民の利便性を高めるため、番組作成は継続。
	R4	まげなねっと112CHの番組作成（サブチャンネルによる県議会の生放送、町の行事の放送機会の確保） 【予算】 1,720 千円 【決算】 1,575 千円	B	・町内のイベントや行事などの地域情報番組や県ケーブルテレビ協会との連携により番組を放送。 ・災害時の情報発信強化のため、LGテロップ導入。 ・今後も町民の利便性を高めるため、番組作成は継続。
	R5	まげなねっと112CHの番組作成（サブチャンネルによる県議会の生放送、町の行事の放送機会の確保） 【予算】 1,685 千円 【決算】 1,664 千円	B	・町内のイベントや行事などの地域情報番組や県ケーブルテレビ協会との連携により番組を放送。 ・今後も町民の利便性を高めるため、番組作成は継続
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	居住環境の充実	5/8
--------	----	-------	----------------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 住生活基本計画の作成	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	令和4年度策定予定のため継続。
	R4	住生活基本計画を策定（令和4年度） 【予算】 5,000千円 【決算】 4,840千円	D	住生活基本計画を策定した。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		R4に住生活基本計画を策定したことにより終了 ※R5からは住環境プロジェクトチームにより進捗管理中
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町営住宅の更新や多様な住宅の整備促進	R3	・八幡平団地1号棟2号棟の屋上防水工事の実施。 ・八幡平団地3号棟の戸別改善工事の実施。 ・公営住宅等長寿命化計画の策定。 【予算】 62,588千円 【決算】 61,592千円	B	長寿命化計画に基づき、屋上防水工事や戸別改善工事を実施した。戸別改善については、新型コロナウイルスの影響により資材が納品できなかったことからR4に繰越して実施する。今後も、計画に基づきながら対応していく。
	R4	・八幡平団地3号棟の戸別改善工事の実施。 【予算】 92,063千円 【決算】 91,934千円	B	長寿命化計画に基づき、戸別改善工事や解体除去を実施した。特に戸別改善については、新型コロナウイルスの影響により資材の納品が懸念されたが、年度内に完成することができた。今後も、計画に基づきながら対応していく。
	R5	・八幡平団地3号棟の戸別改善工事の実施 ・三島団地の排水管改善工事の実施 ・川本団地1号棟の外壁改善工事の実施 【予算】 90,830千円 【決算】 90,672千円	B	長寿命化計画に基づき、戸別改善工事、排水管改善工事や外壁改善工事を実施した。いずれの工事についても年度内に完成することができた。今後も計画に基づきながら対応していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 空き家対策の充実	R3	・老朽危険空き家除却支援事業補助金を構築 老朽危険空き家除却支援事業補助金実績1件（上限1,000千円） 【予算】 1,259千円 【決算】 1,011千円	B	老朽危険空き家除却支援事業補助金制度を構築し、1件の実績があった。 毎年2件分の予算を計上し、事業の周知を行う。
	R4	・老朽危険空き家除却支援事業補助金を構築 老朽危険空き家除却支援事業補助金実績1件（上限1,000千円） 【予算】 2,000千円 【決算】 0千円	B	老朽危険空き家除却支援事業補助金制度を構築、今年度は実績がなかった。 毎年2件分の予算を計上し、事業の周知を行う。
	R5	・老朽危険空き家除却支援事業補助金を構築 老朽危険空き家除却支援事業補助金実績2件（上限1,000千円） 【予算】 2,000千円 【決算】 1790千円	B	老朽危険空き家除却支援事業補助金制度を構築、今年度は2件の申請があり、実施した。 毎年2件分の予算を計上し、事業の周知を行う。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	居住環境の充実	6/8
--------	----	-------	----------------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 公園・子どものあそび場の充実	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	今後のマスタープランの策定に併せ公園施設等の整備を検討。
	R4	立地適正化計画未策定のため、現時点では該当無し 【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	立地適正化計画の策定（1年目） 【再掲】 【予算】 5,500千円 【決算】 5,500千円	B	・立地適正化計画の策定に併せ各種誘導施策（施設）の一環として検討を進めている
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
⑤ 景観対策の推進	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	今後のまちづくりと並行しながら景観づくりの方向性を検討。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	今後のまちづくりと並行しながら景観づくりの方向性を検討。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	環境対策の充実	7/8
--------	----	-------	----------------	--------	---------	-----

主な取組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① ごみや廃棄物の適正処理の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別アプリ、生ごみ堆肥化装置補助により、普及啓発やごみの減量化をはかる。</li> <li>・事務組合負担金（ごみ・し尿処理の運営費、ごみ処理施設整備費）により、適正な処理を推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子「家庭ごみの分別と出し方のしおり」の配付や、スマートフォンによるごみ分別アプリを通じ、ごみの分別やリサイクル活動等の促進に努めている。</li> <li>・ごみの減量化に向け、引き続き生ごみ堆肥化装置設置事業補助を実施する必要がある。</li> <li>・新可燃ごみ処理施設の供用開始に伴い、適正な施設の運営に向け、引き続き整備や運営に係る経費を負担する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 425,612千円 【決算】 425,319千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別アプリ、生ごみ堆肥化装置補助により、普及啓発やごみの減量化をはかる。</li> <li>・事務組合負担金（ごみ・し尿処理の運営費、ごみ処理施設整備費）により、適正な処理を推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子「家庭ごみの分別と出し方のしおり」の配付や、スマートフォンによるごみ分別アプリを通じ、ごみの分別やリサイクル活動等の促進に努めている。</li> <li>・ごみの減量化に向け、引き続き生ごみ堆肥化装置設置事業補助を実施する必要がある。</li> <li>・ごみ処理施設の適正な施設の運営に向け、引き続き整備や運営に係る経費を負担する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 118,546千円 【決算】 118,497千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ分別アプリ、生ごみ堆肥化装置補助により、普及啓発やごみの減量化をはかる。</li> <li>・事務組合負担金（ごみ・し尿処理の運営費、ごみ処理施設整備費）により、適正な処理を推進する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子「家庭ごみの分別と出し方のしおり」の配付や、スマートフォンによるごみ分別アプリを通じ、ごみの分別やリサイクル活動等の促進に努めている。</li> <li>・ごみの減量化に向け、引き続き生ごみ堆肥化装置設置事業補助を実施する必要がある。</li> <li>・ごみ処理施設の適正な施設の運営に向け、引き続き整備や運営に係る経費を負担する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 130,997千円 【決算】 130,938千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② 地球温暖化対策の推進	R3	太陽光発電等導入促進事業補助の実績はなかった。	B	太陽光発電等導入促進事業補助金については、地球温暖化防止に向け、引き続き実施する必要がある。
		【予算】 800千円 【決算】 0千円		
	R4	太陽光発電等導入促進事業補助は1件あるが、年度内で完了できないことから令和5年度での繰越となった。	B	太陽光発電等導入促進事業補助金については、地球温暖化防止に向け、引き続き実施する必要がある。
		【予算】 140千円 【決算】 0千円		
	R5	太陽光発電等導入促進事業補助の交付決定2件である。なお、県補助上、年度内完了が絶対条件であることから、申請者に対し、施工者への注意喚起を促している。	B	太陽光発電等導入促進事業補助金については、地球温暖化防止に向け、引き続き実施する必要がある。
		【予算】 840千円 【決算】 560千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 不法投棄対策の充実	R3	自治会とも連携し、注意看板や防犯カメラを設置し、予防対策を図る。	B	看板やカメラを設置した箇所は抑止効果があることから、継続して実施する。
		【予算】 70千円 【決算】 5千円		
	R4	自治会とも連携し、注意看板や防犯カメラを設置し、予防対策を図る。	B	看板やカメラを設置した箇所は抑止効果があることから、継続して実施する。
		【予算】 69千円 【決算】 5千円		
	R5	自治会とも連携し、注意看板や防犯カメラを設置し、予防対策を図る。今年度、南佐木地区を重点監視地域として指定し、保健所やしまね産業資源循環協会県央支部と連携した合同パトロールを6月と11月に実施。なお、パトロールに合わせ、地域からの推薦により、監視モニター員2名を委嘱している。	B	重点区域でパトロールした結果、2tダンプ1台ほどの不法投棄を回収した。看板やカメラを設置した箇所は抑止効果があるため継続して実施するが、目につかない場所における不法投棄がなくなる。引き続き注意喚起するなど啓発する。
		【予算】 69千円 【決算】 7千円		
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取組に評価シート

基本施策番号	18	基本施策名	インフラ整備・環境対策の推進	施策の方向性	環境対策の充実	8/8
--------	----	-------	----------------	--------	---------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 自然環境の保護・保全	R3	水質調査の実施時期を改め、7月・10月に実施。調査回数については変更なし。 【予算】 27千円 【決算】 27千円	B	定期的な検査により水質汚染状況を把握している。今後も水質環境の維持に向け継続して実施する。
	R4	例年実施している3河川（濁川、三谷川、祖式川）の水質調査を6月、10月の2回実施した。加えて、1河川（田水川）について調査を追加し、年1回10月に実施した。 【予算】 55千円 【決算】 55千円	B	定期的な検査により水質汚染状況を把握している。加えて、水浴場としての利用があったことから、1河川調査を追加し水質汚染状況を把握した。今後も水質環境の維持に向け継続して実施する。
	R5	濁川、三谷川、祖式川の水質調査を7月に1回・10月中に2回目を実施。また、田水川については年1回の水質調査を7月に実施。 【予算】 83千円 【決算】 83千円	B	定期的な検査により水質汚染状況を把握している。今後も水質環境の維持に向け継続して実施する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

# 施策評価シート

1 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 効率的な行財政運営を推進します
基本方針	効率的な行財政運営を推進

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	担当課
19	効率的な行財政運営の推進	P86~87	総務財政課

施策の方針	財政健全化を推進するとともに、町民から信頼される役場の実現に向けた行政を推進します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等総合管理計画の推進</li> <li>・行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進</li> <li>・持続可能な財政基盤の確立</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
公共施設の総延べ床面積 【単年度値】（単位：千㎡）	目標値	66	65	64	63	62
	実績値	67	65	65		
	達成率	98.5%	98.5%	98.5%	%	%
自らが希望して専門研修に参加した職員の割合 【単年度値】（単位：%）	目標値	43.8	56.2	68.8	81.3	100.0
	実績値	49.2	45.9	71.0		
	達成率	112.3%	81.70%	103.2%	%	%

評価	担当課評価
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門研修（選択研修）の参加率の目標達成が出来た。</li> <li>・島根県市町村総合事務組合がまとめる、島根県市町村総合事務組合市町村職員研修の職員数に対する受講割合は県内1位の96.0%で、県内平均18%を大きく上回る受講割合となっており、職員の研修意欲の高さ、積極的な参加姿勢が伺える。</li> <li>・kintone（キントーン）による業務の内製化など効率化に向けた取り組みを実施。</li> </ul>

評価	一次評価（副町長、総務課長）
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設維持管理システムの更なる活用を検討すること</li> <li>・今後の立地適正化計画に伴う事業の実施に向けた財源確保のための事業のスクラップ&amp;ビルドが必要。特に指定管理施設については不断の見直しが必要。</li> </ul>

評価	最終評価（町長、教育長）
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業のスクラップ&amp;ビルドの運用を早期に確立すること</li> <li>・町の遊休資産の効果的な活用や処分について具体的な対策を明確にすること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 施策評価シート

2 / 2

第6次総合計画の位置づけ

将来像（基本目標）	たすけあい・支えあう中で自分らしく暮らし続けられるまち 効率的な行財政運営を推進
基本方針	効率的な行財政運営の推進

基本施策番号	基本施策名	記載ページ	主担当課
19	効率的な行財政運営の推進	P86~87	総務財政課

施策の方針	財政健全化を推進するとともに、町民から信頼される役場の実現に向けた行政を推進します。
施策の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共施設等総合管理計画の推進</li> <li>・ 行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進</li> <li>・ 持続可能な財政基盤の確立</li> </ul>

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
積立金現在高 【単年度値】（単位：百万円）	目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績値	2,425	2,495	2,474		
	達成率	105.4%	108.5%	107.6%	%	%
地方債現在高 【単年度値】（単位：百万円）	目標値	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
	実績値	5,483	5,385	5,362		
	達成率	87.5%	89.1%	89.5%	%	%
町税の徴収率 【単年度値】（単位：%）	目標値	95.00	95.05	95.10	95.15	95.20
	実績値	95.90	96.10	95.28		
	達成率	100.9%	101.1%	100.2%	%	%

評価	担当課評価
/	

評価	一次評価（副町長、総務課長）
/	

評価	最終評価（町長、教育長）
/	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	19	基本施策名	効率的な行政財政運営の推進	施策の方向性	公共施設等総合管理計画の推進	1/4
--------	----	-------	---------------	--------	----------------	-----

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① アセットマネジメントの推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセットマネジメント取り組み方針に基づいた総資産量の適正化を目指し、公共施設維持管理システムの活用により建物施設の総延床面積の縮減を目指す。</li> <li>・公共施設維持管理システムの運用</li> </ul> <p>【予算】 880千円 【決算】 880千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課の公共施設維持管理担当者に対して施設点検マニュアル及び公共施設維持管理システムの運用研修を行い、今後の施設管理の事務的な流れを確立した。</li> <li>・各担当者が各公共施設の基本項目のほか、施設の修繕履歴や維持管理費等の情報をシステムに入力したが、現時点では建物施設の延べ床面積の縮減には繋がっていない。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセットマネジメント取り組み方針に基づいた総資産量の適正化を目指し、公共施設維持管理システムの活用により建物施設の総延床面積の縮減を目指す。</li> <li>・公共施設維持管理システムの運用</li> </ul> <p>【予算】 660千円 【決算】 660千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当者が施設の修繕履歴や維持管理費等の情報をシステムに入力し、施設の適正管理に繋がった。</li> <li>・定住促進住宅を新たに建設した一方で、神田団地、古布毛団地、井ノ迫団地の除却を行い、総延床面積の縮減に繋がった。</li> </ul>
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセットマネジメント取り組み方針に基づいた総資産量の適正化を目指し、公共施設維持管理システムの活用により建物施設の総延床面積の縮減を目指す。</li> <li>・公共施設維持管理システムの運用</li> </ul> <p>【予算】 660千円 【決算】 660千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当者が施設の修繕履歴や維持管理費等の情報をシステムに入力し、施設の適正管理に繋がった。</li> <li>・旧合銀社宅の除却を行い、総延床面積の縮減に繋がった。</li> </ul>
	R6	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		
	R7	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		
② 長寿命化・予防保全推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設毎の戸別施設計画を策定し、予防保全の観点に基づき安全性の確保と延命化に向けた対策を進める。</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設点検マニュアルに基づき、各公共施設の施設点検を行った。</li> <li>・この施設点検結果に基づき、令和4年度以降順次予防修繕を行う。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設毎の戸別施設計画に基づいた安全性の確保と延命化に向けた対策を進める。</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の点検結果に基づき、予防修繕を行った。</li> </ul>
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設毎の戸別施設計画に基づいた安全性の確保と延命化に向けた対策を進める。</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の点検結果に基づき、予防修繕を行った。</li> </ul>
	R6	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		
	R7	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		
③ 民間活力の導入	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を施設の整備や管理に積極導入するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用した公共サービスの提供を推進する。</li> <li>・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案募集</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案を募集したところ、小売電気事業者1社から価格交渉力に特化した電力最適購入について提案があり、採択を行った。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を施設の整備や管理に積極導入するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用した公共サービスの提供を推進する。</li> <li>・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案募集</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度に採択した電力最適購入について、ウクライナ情勢により、新規契約が不可となったため、契約に至っていない。</li> </ul>
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力を施設の整備や管理に積極導入するなど、民間事業者の資金やノウハウを活用した公共サービスの提供を推進する。</li> <li>・川本町公共マネジメント民間提案制度に基づく提案募集</li> </ul> <p>【予算】 0千円 【決算】 0千円</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力最適購入については、ウクライナ情勢の影響によりR5年度も契約には至らなかった。採択事業者からはR6年度に再度説明を受ける予定。</li> </ul>
	R6	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		
	R7	<p>【予算】 千円 【決算】 千円</p>		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	19	基本施策名	効率的な行財政運営の推進	施策の方向性	行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進
--------	----	-------	--------------	--------	-----------------------

2/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 職員の意識改革と資質向上	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の能力開発を進めるための人事評価制度の運用や、資質向上に向けた研修等を推進</li> <li>人事評価研修の開催</li> <li>各種研修への積極的な参加勧奨</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員を対象に人事評価研修を開催し、特別職も含む43名が参加した。</li> <li>人事評価研修は評価者と被評価者に分かれての研修とし、人事評価の基本的な知識を再確認することができた。</li> <li>コロナ感染防止の観点から全国研修への参加は行わなかったが、県自治研修所や県総合事務組合が開催する選択研修に延べ42名と多くの職員が参加し、職員数あたりの参加率は県内自治体でもトップであった。</li> </ul>
		【予算】 1,642 千円 【決算】 1,163 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の能力開発を進めるための人事評価制度の運用や、資質向上に向けた研修等を推進</li> <li>人事評価研修の開催</li> <li>各種研修への積極的な参加勧奨</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択研修の情報などを発信し研修への積極的な参加を促した。また、町独自研修として人権研修や倫理研修を実施し、全職員（休職・育休中除く）が何らかの研修に参加することができた。</li> </ul>
		【予算】 2,036 千円 【決算】 1,624 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の能力開発を進めるための人事評価制度の運用や、資質向上に向けた研修等を推進</li> <li>人事評価研修の開催</li> <li>各種研修への積極的な参加勧奨</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修情報の発信に加え、管理職から研修参加の促しにより、研修へ参加しやすい環境を構築できた。</li> <li>また、町独自として人権研修、セクハラ研修やカスハラ研修なども実施し、職員の意識改革・資質向上につながる研修実施をすることができた。</li> </ul>
	【予算】 2,036 千円 【決算】 1,434 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② ICT活用の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会、庁議ペーパーレス化事業（タブレット30台）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員、管理職にタブレットを配布し、議会・庁議のペーパーレス化を実施</li> <li>今後は、デジタル化の推進にあわせ、内部手続き等でのペーパーレス化やICTを活用した業務改善の実施が必要</li> </ul>
		【予算】 3,675 千円 【決算】 3,675 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス会議システム利用</li> <li>庁舎内ICT機器の整備（窓口用PC、タブレット、モニター）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス会議システムによりペーパーレスの取り組みを実施</li> <li>窓口用PCやタブレットを配備し、デジタル化の取り組みを推進</li> </ul>
		【予算】 1,410 千円 【決算】 1,410 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV会議システム（ZOOM）利用</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>TV会議システム（ZOOM）を活用することで、出張旅費の削減に加え、移動時間を有効活用できるようになった。</li> </ul>
	【予算】 1,023 千円 【決算】 1,023 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 業務の組織機構の効率化	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民との協働の推進、組織力の維持・向上を図り、事務事業の企画・改善を進める。</li> <li>自治会長会議、まちづくり意見交換会の開催</li> <li>庁議の定期開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会長会議の実施やまちづくり意見交換会の開催等により、町民との協働推進を図った。</li> <li>庁議等の定期開催により事務運営について情報の共有を図った。</li> </ul>
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民との協働の推進、組織力の維持・向上を図り、事務事業の企画・改善を進める。</li> <li>自治会長会議の開催（3回）</li> <li>テーマを設定したまちづくり意見交換会の開催（3回）</li> <li>庁議の定期開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの開催内容を見直し、意見交換するテーマを設定し、まちづくり意見交換会を開催し、参加者が増え多様な意見交換の場づくりに取り組んだ。</li> <li>庁議等の定期開催は継続して取り組み、事務運営について情報の共有を図った。</li> </ul>
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス会議システム利用</li> <li>kintoneによるシステム内製化・効率化</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレス会議システムによりペーパーレスの取り組みを実施</li> <li>kintoneを活用し、業務の効率化を図った。</li> </ul>
	【予算】 990 千円 【決算】 990 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	19	基本施策名	効率的な行政運営の推進	施策の方向性	行政サービスの高度化・効率化・透明化の推進
--------	----	-------	-------------	--------	-----------------------

3/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民に開かれた行政運営の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報かわもとの発行</li> <li>・HP、SNSでの定期的な情報発信</li> <li>・まちづくり意見交換会の開催（3回）</li> <li>・地区別座談会の開催（10地区）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの町民がスマートフォンを所有していることから、スマートフォンへのプッシュ通知（LINE・アプリ）の導入により、情報発信の強化が必要。</li> <li>・また、より見やすく、編集が容易なHPの改修の検討も必要。</li> </ul>
		【予算】 6,295 千円 【決算】 5,894 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報かわもとの発行</li> <li>・HP、SNSでの定期的な情報発信</li> <li>・まちづくり意見交換会の開催（3回）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの町民がスマートフォンを所有していることから、スマートフォンへのプッシュ通知が必要。</li> <li>・発信する情報、対象者、活用するツールを整理し、的確な情報発信が必要。</li> </ul>
		【予算】 11,467 千円 【決算】 7,267 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報かわもとの発行</li> <li>・HP、町公式LINEでの定期的な情報発信</li> <li>・住民との対話の機会をつくり、事務事業の企画改善を進める</li> <li>・まちづくり意見交換会の開催（3回）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり意見交換会の開催（全3回）</li> <li>・自治会長会議の開催（全3回）</li> <li>・町公式LINE構築を構築し、スマートフォンへ情報配信できる環境を構築（R6.5.28時点 登録者数861人）</li> </ul>
	【予算】 10,666 千円 【決算】 9,279 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3			
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

主な取り組み 評価シート

基本施策番号	19	基本施策名	効率的な行政運営の推進	施策の方向性	持続可能な財政基盤の確立
--------	----	-------	-------------	--------	--------------

4/4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 健全な財政運営の推進	R3	・第三次行政改革大綱を改定し、健全な財政運営に努めるとともに、町民への情報公開を推進する。 ・地方公会計に基づく財務書類の作成と町HPへの公表。 【予算】 2,530千円 【決算】 2,530千円	B	・令和2年度決算に基づく固定資産台帳の整備及び財務書類の作成を行い、町公式HPに公表した。 ・財務書類に基づく分析結果をふまえて予算編成方針の策定を行い、健全な財政運営に向けた取り組みの参考とした。
	R4	・地方公会計に基づく財務書類の作成と町HPへの公表。 【予算】 2,530千円 【決算】 2,530千円	B	・令和3年度決算に基づく固定資産台帳の整備及び財務書類の作成を行い、町公式HPに公表した。 ・財務書類に基づく分析結果をふまえて予算編成方針の策定を行い、健全な財政運営に向けた取り組みの参考とした。
	R5	・地方公会計に基づく財務書類の作成と町HPへの公表。 【予算】 2,530千円 【決算】 2,420千円	B	・令和4年度決算に基づく固定資産台帳の整備及び財務書類の作成を行い、町公式HPに公表した。 ・財務書類に基づく分析結果をふまえて予算編成方針の策定を行い、健全な財政運営に向けた取り組みの参考とした。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 町税等の賦課徴収の推進	R3	・適正な賦課と納税意識の高揚を促すと共に、納付方法の多様化により納税者の利便性を高め、期限内納付の推進に努める。 ・コンビニエンスストア及び決済アプリPayPay納付の運用開始。 【予算】 208千円 【決算】 199千円	B	・従前の口座振替や金融機関での窓口納付に加えて、コンビニ及びPayPayでの納付を可能としたことで、納税者の利便性を高め期限内納付の推進に繋げることが出来た。
	R4	・適正な賦課と納税意識の高揚を促すと共に納付方法の多様化により納税者の利便性を高め、期限内納付の推進に努める。 ・令和3年度から開始したコンビニエンスストア及びPayPayアプリ納付の促進を図る。 【予算】 276千円 【決算】 171千円	B	・コンビニ納付やPayPayアプリ納付利用促進のため、各税目納付書送付時に利用案内を促した。また、令和5年4月から「QRコード」を利用した運用を行い、納税手段の拡大を行うため、地方税共同機構や金融機関等との調整を行った。
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ ふるさと納税等の増大対策	R3	・ポータルサイトの追加(楽天) ・ガバメントクラウドファンディング、災害寄附の実施。 【予算】 14,371千円 【決算】 14,176千円	B	・寄附額の総計が3千万円を超え、平成30年度に次ぐ2番目となった。 ・引き続き新規返礼品、魅力的な返礼品の開発に取り組む。 ・寄附を活用した事業実施の検討を進める。
	R4	・ポータルサイトの追加検討 (R5.6月開始: ANAのふるさと納税) ・雑誌への広告掲載 (『農産物を買Walker2023』) ・返礼品提供事業者研修会の開催 ・新規返礼品の追加 (23品) 【予算】 11,699千円 【決算】 11,698千円	B	・寄附の活用実績を町HPや寄附者宛てのメルマガで情報発信するなど、使途について共感を得る工夫が必要。 ・引き続き返礼品の開拓・見直しを行う。
	R5	・募集チラシの作成 ・新規返礼品の追加 (13品) ・ガバメントクラウドファンディング (3月~) の実施 【予算】 10,269千円 【決算】 9,168千円	A	・魅力ある返礼品の開拓・見直しが必要。 ・中間支援業務委託先に対して業務内容の向上を図ることに合わせて、連携をさらに強化させる。 ・新規納税者の発見方法について検討が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充 (今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続 (当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し (事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了 (「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
O1	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	P92～P95	まちづくり推進課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
住民自らが地域ビジョンを策定した地区数（累計） （単位：地区）	目標値	2	5	5	8	8
	実績値	2	2	2		
	達成率	100%	40%	40%	%	%
住民主体の集いの場の設置数（累計） （単位：ヶ所）	目標値	5	5	5	6	6
	実績値	5	5	5		
	達成率	100%	100%	100%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	【担当評価】
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の地域が連携し、地域の生活機能の維持・改善や地域ビジョン策定に取り組む補助事業を創設したが実績はなかった</li> <li>・地域ビジョンの策定については補助事業を中心に引き続き広報周知を図る一方で、立地適正化計画等と連動し地域づくりに波及を図りたい。</li> </ul>

評価	【一次評価】（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画の策定に合わせ、自治会長連合会や社会福祉協議会や中間支援組織等関係機関と連携を密にし広域的な課題や個別課題に細やかに対応すること。</li> <li>・自治会での課題解決につながるような研修などの取組みを支援すること。</li> </ul>

【外部評価】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョン策定はハードルが高いので準ずるものでも良いのではないか。</li> <li>・補助事業を活用したモデル事例を作ることは次につながるステップとなるので積極的な呼びかけを行うと良い。</li> <li>・自治会活動に高校生を巻き込みながら進めるのも良いのではないか。</li> </ul>	

評価	【最終評価】（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き補助事業の活用の契機となるような取組を図るとともに自治機能の状況についても注視すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	01	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	(1)	集いの場の運営を軸とした、生活支援が身近なところで持続できる仕組みづくり
------------	----	---------	-------------------	-----	--------------------------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 三原モデルの横展開 (住民主体の集いの場づくりの推進)	R3	・地区別座談会の実施。(全10地区) ・町内全域のたすけあいの仕組み(生活支援サービス)開始。 【予算】 4,680千円 【決算】 4,680千円	B	・地区別座談会にて情報の共有、意見交換を行ったが、住民主体の地域運営組織の新規設立、地区計画の策定には至らなかった。 ・住民主体の団体による生活支援サービスが開始された。 ・住民主体の取組が創出されるよう継続して支援。
	R4	・町内全域のたすけあいの仕組み(生活支援サービス)の継続。 ・社会福祉協議会主催ミニデイサービスとの連携 【予算】 2,000千円 【決算】 2,000千円	B	・住民主体の団体による生活支援サービスを継続して支援した。 ・子どもの見守りなど、住民主体の立場から福祉支援において幅広く活動を展開された。
	R5	・町内全域のたすけあいの仕組み(生活支援サービス)の継続。 ・社会福祉協議会主催ミニデイサービスとの連携 【予算】 2,300千円 【決算】 1,700千円	B	・住民主体の団体による互助の仕組みづくり活動について継続支援を行った。 ・他団体との連携も有機的に実践し、集いの場において好循環が生まれつつある。引き続き支援を行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 集いの場をつなぐ買い物対策	R3	・運営事業者、サロン運営主体にヒアリングを実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・実施に向け令和3年度事業者側、サロン運営側にヒアリングを実施。 ・ヒアリング結果では、現時点では民業の採算性やサロンでの必要性の面から早急な需要は無い結果となった。 ・買い物支援のあり方を含め状況を注視しながら検討を継続。
	R4	・各地域支援業務の中での現状の把握を行った 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・買い物支援の実態についてサロン運営者や関係機関からヒアリングを実施。家族等による支援や移動販売で対応できているケースが多い現状であった。 ・集いの場での定期的な購買機会は、コーヒーの日、スープの日に加え、R4年5月よりサテライト型相談の場にキッチンカー巡回が加わり4箇所となっている。 ・尾原地区の集いの場では、前年度から始まった無償の産直市が定着している。 ・買い物支援の早急な需要は低いと判断するが、今後も継続的に検討を行っていく必要がある。
	R5	・各地域支援業務の中での現状の把握を行った 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・移動販売の活用で、購買行動に対する満足度は概ね得られている実状あり。 ・集いの場での定期的な購買機会は、コーヒーの日、スープの日に加え、R4年度よりキッチンカー巡回が加わり4箇所となっている。 ・R3年度から開催の尾原地区集いの場での産直市は、今年度も継続され好評を得ている。 ・買い物支援の早急な需要は低いと判断するが、今後も継続的に検討を行っていく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 自治機能の再編	R3	・地区別座談会にて自治会運営の現状等を確認。 ・R3年度においては、自治機能の再編について各自治会と検討する場面はなかった。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・地区別座談会にて集落、自治会の現状や自治会間での連携について確認。 ・集落間、自治会間での共同作業の確認をはじめ、将来の自治機能のあり方について引き続き検討を進める。 ・自治機能の再編について特に取り組む事はできなかったが、高齢化に伴う担い手不足等により自治機能を維持することが困難な自治会もあるのは事実である。 ・自治会との意見交換を行いながら、検討を行う必要がある。
	R4	・集落の生活機能維持確保に活用可能な補助制度を新設した。 【予算】 1,500千円 【決算】 0千円	B	・結果として補助制度の活用実績なし。 ・活用検討の契機となるような機会創出を工夫したい。
	R5	・地域の生活機能の維持確保、ビジョン策定等に活用できる補助事業を設置 【予算】 1,000千円 【決算】 0千円	B	・生活機能の維持・確保に向けた支援事業の活用は無かった。 ・集落実態調査を行い、自治会長会議等で周知を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	01	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	(1)	集いの場の運営を軸とした、生活支援が身近なところで持続できる仕組みづくり
------------	----	---------	-------------------	-----	--------------------------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 住民主体の活動起こしに向けた助成事業	R3	・地区別座談会でのヒアリングをもとに助成事業の骨子を作成 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和4年度から助成事業を創設し広く利用を募る。
	R4	【再掲】 ・集落の生活機能維持確保に活用可能な補助制度を新設した。 【予算】 1,500千円 【決算】 0千円	B	【再掲】 ・結果として補助制度の活用実績なし。 ・活用検討の契機となるような機会創出を工夫したい。
	R5	【再掲】 ・地域の生活機能の維持確保、ビジョン策定等に活用できる補助事業を設置 【予算】 1,000千円 【決算】 0千円	B	【再掲】 ・生活機能の維持・確保に向けた支援事業の活用は無かった。 ・集落実態調査を行い、自治会長会議等で周知を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	01	プロジェクト名	地域運営・たすけあいの仕組みづくり	(2)	買い物、通院に不便なく利用できる交通体系の構築
------------	----	---------	-------------------	-----	-------------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 生活交通実態調査	R3	・生活交通実態調査の実施 【予算】 3,850 千円 【決算】 3,850 千円	D	・生活交通実態調査を行い、効果や課題等の抽出が終わり次の取組へ移行するため本取組は終了。
	R4	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住民主体のたすけあい交通等の試行	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民主体の地域運営組織との協議や、令和4年度策定予定の地域公共交通計画策定検討において導入や試行について検討を進める。
	R4	・地域公共交通計画のアクションプラン、評価指標に住民主体（多様な交通）について記載した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・住民主体の地域運営組織とたすけあい交通について意見交換を実施 ・地域公共交通計画に記載 ・導入について検討を継続していく必要がある。
	R5	・住民主体の地域運営組織との意見交換を実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・地域公共交通計画に基づき、導入について検討を継続していく必要がある。 ・住民主体の地域運営組織とたすけあい交通について協議、検討が必要。
	R6	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 地域交通の再設計	R3	- 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・令和4年度策定予定の地域公共交通計画にて再設計を検討する。
	R4	・地域公共交通計画にて持続可能な交通のあり方を明記。 【予算】 1,646 千円 【決算】 1,646 千円	B	・地域公共交通計画に記載したアクションプラン、目標の実現に向け各関係機関と連携、調整のもと取り組みを推進していく必要がある。
	R5	・加藤病院移転に伴う延伸に関し各種運行事業者と協議を実施 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	・路線バス事業者及び地域運営組織等と連携、協議を行い、持続可能な交通体系の実現に向け取り組みを行う必要がある。
	R6	- 【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	- 【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
02	医療・介護・福祉サービスの強化	P96~P99	健康福祉課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
平均自立期間（男性） （単位：歳）	目標値	78.5	78.9	79.3	79.7	80.0
	実績値	80.1	79.2	80.2		
	達成率	102.0%	100.4%	101.1%	%	%
平均自立期間（女性） （単位：歳）	目標値	85.2	85.4	85.6	85.8	86.0
	実績値	82.4	82.4	79.9		
	達成率	96.7%	96.5%	93.3%	%	%
地域住民主体の子育て拠点施設の年間利用者数 （単位：人）	目標値	250	250	300	350	400
	実績値	0	10	240		
	達成率	0.0%	4.0%	80.0%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	【担当評価】
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民主体の子育て拠点について 中間支援組織に補助金を交付し子ども食堂（いただきますの日）の実施や子ども子育て・子育てに関する研修会を開催。 今後も中間支援組織や関係機関と連携し取り組む必要がある。</li> <li>・平均自立期間について 男性は目標達成できた。現行の取り組みを継続し、適時必要なサービスが住民に供給される体制づくりに努めていく。</li> </ul>

評価	【一次評価】（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き町民やサービス利用者の声を基に、中間支援組織や医療機関と連携を図りながら子育て環境の充実や平均自立期間の延伸に努めること。</li> </ul>

【外部評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均自立期間が伸びた結果介護保険料が下がった等、健康に対する皆さんの取組に対し何らかの数値で周知すると良い</li> <li>・「子ども家庭センター」を設置したことを広報等で周知を行っても良いのではないか</li> <li>・医療関係の労働者の確保という観点では「外国人技能実習生」の住まいの確保が課題と感じる</li> </ul>

評価	【最終評価】（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の医療福祉施策の実施状況や効果に関し積極的に数値化すること</li> <li>・医療人材の確保に向けた具体的な取組を検討すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	02	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	(1)	病院機能と一体となった福祉・子育てのワンストップ拠点の整備
------------	----	---------	-----------------	-----	-------------------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 病院機能と一体となった福祉・子育てのワンストップ拠点の整備	R3	・基本方針を定めた基本プランを策定した。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・基本プラン実現に向けて令和4年度以降、仁寿会・関係団体と協議しながら、拠点の整備を目指す。
	R4	・病児病後児保育等の具体的な整備についての検討を継続した 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・仁寿会、庁内関係部署と協議を継続。 ・資材調達等の問題から建物建設スケジュールが遅延しているが、完成時に拠点整備が可能となるよう目指す。
	R5	・病児病後児保育等の具体的な整備についての検討を継続した 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・仁寿会、庁内関係部署と協議を継続。 ・資材調達等の問題から建物建設スケジュールが遅延しているが、完成時に拠点整備が可能となるよう目指す。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	02	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	(2)	地域と専門機関が連携した地域包括ケアシステムの構築
------------	----	---------	-----------------	-----	---------------------------

2 / 4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 暮らしの保健室の運営	R3	・巡回型暮らしの保健室の開催(14回：6地区) ・常設型暮らしの保健室の開催(18回：シーブース) 【予算】 410 千円 【決算】 263 千円	B	・巡回型と常設型、2つの手法を活用することで少しづつではあるが認知度は高まってきている。 ・現状で継続し、効果評価を行っていく。
	R4	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全39回開催された。(巡回型22回、常設型17回) 【予算】 356 千円 【決算】 220 千円	C	・巡回、常設等幅広く身近に健康相談等を行える場が設けられた。 ・一方で、常設型保健室の来場者数はSNS等を活用し周知・発信を行ったが伸び悩んだため、R5年度は巡回型を中心に開催する。
	R5	・住民主体の団体による暮らしの保健室が全38回開催された。(巡回型38回) 【予算】 195 千円 【決算】 163 千円	B	・R5年度は方法を見直し、巡回型を中心に開催した。身近な地域の集いの場で健康相談を行える機会として、利用している住民にも次第に認知されてきている。次年度も引き続き支援を行っていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 住民主体の「地域ケア会議」の確立	R3	・任意団体主催による地域ケア会議を開催(0回) 【予算】 145 千円 【決算】 0 千円	B	・地域住民によるケア会議が未実施となった要因と次年度の実施計画や開催の意思について確認が必要。
	R4	・任意団体主催による地域ケア会議を開催(2地区) 【予算】 72 千円 【決算】 10 千円	B	・任意団体と地域包括支援センターで住民主体の地域ケア会議を開催し、各地区の現状、課題について共有できた。次年度は、1地区拡大し各地区の課題を関係機関と協議していきたい。
	R5	・任意団体主催による地域ケア会議を開催(2地区) 【予算】 129 千円 【決算】 0 千円	B	・今年度は住民団体主導で2地区で開催があった。各地区の現状や課題の共有機会は、実状に応じて定期的に行いたいとの意向あり。次年度も住民団体主導で開催していく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	02	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	(3)	子育て支援体制の強化、運営の仕組みづくり
------------	----	---------	-----------------	-----	----------------------

3 / 4

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 子育て支援体制の強化	R3	家庭での絵本の読み聞かせを通じた親子のコミュニケーション機会の増加を図るため、小学3年生までの全員へ絵本を届けた。町内各保育所を対象とした地域子育て支援活動補助については、新型コロナ対策で事業が中止となった。 【予算】 919 千円 【決算】 512 千円	B	令和3年度は基本方針を定めた「基本プラン」を策定した。令和4年度以降、病児保育の実施等、プランの実現を目指す中で、子育て支援体制の強化を図っていく。
	R4	絵本のお届け事業は継続。住民主体の子育て拠点整備の支援を行った。 【予算】 327 千円 【決算】 231 千円	B	・子育て支援体制として、令和5年度から開催される地域住民主体の子育て支援事業を支援した。今後も、活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。
	R5	絵本のお届け事業は継続。住民主体の子育て支援事業への支援 【予算】 831 千円 【決算】 732 千円	B	・中間支援組織へ補助金を交付し、子育て支援に関するニーズ調査、おでかけいただきますの日、子育て支援員の育成などを実施された。今後も住民主体の子育て支援活動が町内全域に広がるよう支援を継続する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 拠点施設の運営の仕組みの再編	R3	すこやかセンター閉鎖に伴う、子育てサポートセンターの一時移転先について、教育課、社会福祉協議会と協議により、川本小学校へ移転することとなった。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	令和3年度は基本方針を定めた「基本プラン」を策定した。令和4年度以降、関係団体等との協議により、プラン実現に向け、拠点施設の運営の仕組みの再編を目指す。
	R4	小学生の居場所事業は小学校空教室、在宅児の居場所は定期的に会館で開催した。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	関係団体等との協議により、プラン実現に向け、拠点施設の運営の仕組みの再編を目指す。
	R5	小学生の居場所事業は小学校空教室、在宅児の居場所は定期的に会館で開催した。(社会福祉協議会) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	関係団体等との協議により、プラン実現に向け、中間支援組織と在宅児の居場所について検討をおこなった。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番号	02	プロジェクト名	医療・介護・福祉サービスの強化	(4)	医療・福祉の担い手の確保・育成
--------	----	---------	-----------------	-----	-----------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 医療従事者の確保	R3	公的病院等支援補助金を拡充し、医師確保を図った。 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	コロナ禍においても、病院機能を維持し、地域医療提供体制を確保するため、不採算地区病院への支援として特別交付税基準額の引き上げに伴い、50,000千円の増額補正を行った。
	R4	公的病院等支援補助金にて財政支援を行うことにより、医師確保を図った。 【予算】 130,000 千円 【決算】 130,000 千円	B	昨年度に引き続き、非常勤医師確保のための財政支援を行った。
	R5	公的病院等支援補助金にて財政支援を行うことにより、医師確保を図った。 【予算】 168,000 千円 【決算】 168,000 千円	B	昨年度に引き続き、非常勤医師確保のための財政支援を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 保小中高の各段階におけるキャリア教育の推進	R3	高校の授業において、町保健師や、仁寿会医療従事者が健康教育を行うなど、保健医療分野への関心を高めてもらう機会が提供されている。介護の入門的研修に参加いただいた。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	医療介護分野への関心を高めてもらう機会創出のため、医療機関や介護事業所等と連携しながら、引き続きキャリア教育の推進に努める。
	R4	高校の授業において、町保健師が健康教育を行うなど、保健医療分野への関心を高めてもらう機会が提供されている。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	地域医療教育の現状と課題を共有し、将来にわたる邑智地域の医療人材確保に向けた取り組みにつなげるため、来年度はシンポジウムを予定。
	R5	高校の授業において、町保健師が健康教育を行うなど、保健医療分野への関心を高めてもらう機会が提供されている。 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	地域医療教育の現状と課題を共有し、将来にわたる邑智地域の医療人材確保に向けた取り組みにつなげるため、子どもを対象としたシンポジウムを予定していたが、調整がつかず、3町合同での実施は見送りとなった。今後、町独自での実施を検討する。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
03	コンパクトタウン弓市の魅力向上	P100~P103	まちづくり推進課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
弓市地区の居住者数 (単位：人)	目標値	785	776	768	760	752
	実績値	717	747	721		
	達成率	91.3%	96.3%	93.9%	%	%
弓市地区での起業・開業者数 (累計値) (単位：件)	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	1	1	2		
	達成率	100.0%	50.0%	66.6%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	【担当評価】
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に弓市魅力化実施計画案を作成した。</li> <li>・令和5年度から策定に取り組んでいる立地適正化計画の区域設定、誘導施策ともリンクさせながら具体的な事業予定と規模を検討中</li> </ul>

評価	【一次評価】（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画に基づくまちづくりと移住定住施策を進めることにより民間投資を促すこと</li> <li>・弓市市内の交流を促進するうえで必要な宿泊施設の不足について検討すること</li> </ul>

【外部評価】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在予算額がゼロ予算となっているように見受けられる。立地適正化計画の先に具体策とともに予算化が見えてくると良い</li> <li>・商工会含め関係者が連携して動く場を更に促進すること</li> </ul>	

評価	【最終評価】（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会や観光協会、一般社団法人かわもと暮らしと更なる連携を図り取組を進めること</li> <li>・立地適正化計画の策定が完了するタイミングを控え弓市市内においても民間活力を促す新たなスキームを検討すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	03	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	(1)	歩いて暮らせるコンパクトで安全なまちづくり
------------	----	---------	-----------------	-----	-----------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 安全・便利で災害に強い道路整備	R3	・主要地方道川本波多線（川本工区）の早期事業化に対する県への要望活動 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度において、川本工区として山側ルートが決定され、今後は事業の早期着手に対して要望活動を継続。
	R4	・主要地方道川本波多線（川本工区）の早期事業化に対する県への要望活動 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度において、川本工区として山側ルートが決定され、今後は事業の早期着手に対して要望活動を継続。
	R5	・主要地方道川本波多線（川本工区）の早期完成に対する県への要望活動 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和3年度において、川本工区として山側ルートが決定され、今後は事業の早期完成に対して要望活動を継続。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 駐車場整備、公衆トイレ等の設置	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・今後、弓市地区を中心としたマスタープランの策定に併せて検討を継続。
	R4	・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した。 【予算】 1,903千円 【決算】 1,903千円	B	・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	・立地適正化計画策定の過程で検討中 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・立地適正化計画策定の中の誘導施策（施設）の1つとして検討中
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 弓市市内の移動手段の確保	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和4年度に予定している地域公共交通計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した ・地域公共交通計画を策定した 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。 ・地域公共交通計画においても本項目について記載した。
	R5	・加藤病院移転に伴う路線バス延伸の協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和7年度に加藤病院移転に伴う運行案を関係各所に提示し、検討を行った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	03	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	(2)	町の拠点エリアの魅力向上
------------	----	---------	-----------------	-----	--------------

2 / 3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 空き店舗の活用、事業承継の支援	R3	・川本町商工会、西部県民センターと事業承継に関する協議、情報共有。 ・Webサイト「つながる、かわもと。」に空き店舗データベース公開。 【予算】 3,870千円 【決算】 1,964千円	B	・空き店舗の活用、事業承継について、川本町商工会と引き続き連携し、情報収集及び意向調査を行う。
	R4	・川本町商工会、西部県民センターと事業承継に関する協議、情報共有。 ・Webサイト「つながる、かわもと。」に空き店舗データベース公開。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・空き店舗の活用、事業承継について、川本町商工会と引き続き連携し、情報収集及び意向調査を行う。
	R5	・地域商業等支援事業による新規開業支援(1件) ・事業承継推進協議会における商工会、県、関係機関との協議、情報共有 ・Webサイト「つながる、かわもと。」に空き店舗データベース公開。 【予算】 4,000千円 【決算】 678千円	B	・空き店舗の活用、事業承継について、川本町商工会と引き続き連携し、情報収集及び意向調査を行う。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	② 旧JR石見川本駅周辺の活用	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B
R4		・駅舎は島根中央信用金庫へ貸出し、ホームや線路内は観光協会によるレールバイクイベント等で利用。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・レールバイクイベントには、中・高校生等もスタッフとして参加し、町内外から、飲食や物品の販売をしに個人店舗が集まっている。また、定期的に開催していることもあり、賑わいの創出につながっている。
R5		・駅舎は島根中央信用金庫へ貸出し、ホームや線路内は観光協会によるレールバイクイベント等で利用。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・レールバイクイベントには、中・高校生等もスタッフとして参加し、町内外から、飲食や物品の販売をしに個人店舗が集まっている。また、毎月開催していることもあり、賑わいの創出につながっている。
R6		【予算】 千円 【決算】 千円		
R7		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ まちの賑わい創出		R3	・川本町観光協会によるレールバイクイベントの開催(6回) ・弓市商店会と観光協会の共催によるテイクアウトフェア開催(2回) ・弓市ストア(13回) 【予算】 950千円 【決算】 950千円	B
	R4	・レールバイク(10回) ・アウトドアイベント(笹遊里) ・イルミネーション点灯式(実行委員会) 【予算】 950千円 【決算】 950千円	B	・観光協会実施イベントへの高校生スタッフ(あそろぼ)の参加。 ・イルミネーション点灯式(石見川本駅)の企画・運営。
	R5	・レールバイク(8回) ・アウトドアイベント(笹遊里) ・高校学園祭マルシェ(島根中央高校) ・イルミネーション点灯式(実行委員会) 【予算】 956千円 【決算】 956千円	B	・観光協会実施イベントへの高校生スタッフ(あそろぼ)の参加。 ・イルミネーション点灯式(石見川本駅)の企画・運営。 ・町内事業者との関わりの検討を進める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	03	プロジェクト名	コンパクトタウン弓市の魅力向上	(3)	居住環境の整備
------------	----	---------	-----------------	-----	---------

3 / 3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 定住促進住宅、高齢者住宅等の整備促進	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和4年度に予定している重点プロジェクト3実施計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	・住生活基本計画に基づき、庁内でのプロジェクトチームで協議、検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・庁内で横断的な連携を行い、町に適した政策を進める
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 民間資産の活用による住宅整備	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・令和4年度に予定している重点プロジェクト3実施計画策定の中で検討を進める。
	R4	【再掲】 ・弓市魅力化検討案を策定し具体案を明記した 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	【再掲】 ・重点PJ3の具体計画となる弓市魅力化検討案にて取組項目、場所等の素案を定めた。
	R5	【再掲】 ・住生活基本計画に基づき、庁内でのプロジェクトチームで協議、検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・庁内で横断的な連携を行い、町に適した政策を進める ・町内事業者へアプローチを行い資産活用に取組む
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
04	地域資源を活かした付加価値の創出	P104~P107	産業振興課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
道の駅かわもとの売上高 (単位：百万円)	目標値	152.8	152.8	152.8	168.1	183.4
	実績値	139.3	151.4	156.5		
	達成率	91.1%	99.1%	102.4%	%	%
町内の起業者数(累計値) (単位：件)	目標値	1	3	4	6	7
	実績値	1	1	3		
	達成率	100.0%	33.3%	75.0%	%	%
電子決済導入事業者(店舗)数 【累計値】(単位：件)	目標値	20	60	70	75	80
	実績値	20	61	60		
	達成率	100%	101.7%	85.7%	%	%
新規就農者数(累計値) (単位：人)	目標値	1	2	3	4	5
	実績値	0	2	2		
	達成率	0%	100%	66%	%	%

評価	【担当評価】
B	<p>コロナ禍の終了により、道の駅への来店者が増加した。施設の魅力向上を推進し、次年度以降も更なる増加を目指す。</p> <p>地域おこし協力隊制度を活用し、新規就農者及び起業者を発掘する。</p> <p>電子決済を活用した町内消費拡大策に引き続き取り組む。</p> <p>商工会と連携し町内商工業者及び新規進出企業への支援策を検討する。</p>

評価	【一次評価】(副町長、総務課長)
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ明けによる道の駅への来客者増の流れを維持し売上高増につなげる</li> <li>こと。</li> <li>・商工会や(一社)かわもと暮らしなど関係機関と情報交換会を密にし、事業承継や新たなビジネスチャンスにつながる細やかな情報把握に努めること。</li> <li>・地域おこし協力隊等で起業を志す方の募集を継続すること</li> <li>・電子決済導入については町内事業者の意見を聞きながら事業の改善に努めること。</li> </ul>

【外部評価】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業の担い手不足に対応した具体的な指標を検討すると施策との連動に直結するのではない</li> <li>か</li> <li>・KPIとしている道の駅かわもとの売上高だが、物価高騰で実際の利益は下がっている可能性もあるので入込客数等のKPIに変更することも検討してみてはどうか。</li> </ul>	

評価	【最終評価】(町長、教育長)
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画策定を控え本町産業の付加価値創出の拠点たる道の駅の機能強化に向けた検討を速やかに具体化すること</li> <li>・エゴマをはじめとした農産物のブランド化を支援する新たな仕組みを構築すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)
- B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)
- C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)
- D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番号	04	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	(1)	農産物のブランド力の向上
--------	----	---------	------------------	-----	--------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	事業進捗	評価の説明
① エゴマの更なる品質向上	R3	島根県農業技術センターと連携した害虫対策協議 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	町内の圃場に、モンオビヒメヨトウが大量発生し、収穫ができない圃場が多く出たため、島根県農業技術センターと連携し、蛹の捕獲及び生態調査をおこなった。令和4年度において、モンオビヒメヨトウ対策の実証圃の設置をおこなっている。
	R4	・奨励作物拡大支援補助金の交付 ・エゴマ害虫防除実証ほ業務の実施 【予算】 12,720 千円 【決算】 7,741 千円	B	補助金はエゴマ生産者を支える重要な制度であり、継続は必須。また実証ほ業務の実施により、害虫防除に関する一定の知見を得られた。
	R5	奨励作物拡大支援補助金の交付 【予算】 9,950 千円 【決算】 6,924 千円	B	補助金を継続し、エゴマ生産者への支援を行った。今後の課題として新たな担い手の確保が必要。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② エゴマ関連商品の開発支援	R3	6次産業化推進事業 【予算】 804 千円 【決算】 48 千円	B	地域おこし協力隊が製造する百貨店等に向けた、エゴマ油等の新規パッケージの開発をおこない、販売をおこなった。
	R4	・えごま鴨だしラーメンの販売(民間事業者により実施) 【予算】 0 千円 【決算】 0 千円	B	民間事業者を中心に新たな商品開発が実施された。
	R5	6次産業化推進事業 【予算】 557 千円 【決算】 227 千円	B	認定農業者が製造するえごま油の新商品パッケージの開発、百貨店等での店頭販売による商品アピールを支援した。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 水田農業の振興	R3	奨励作物拡大支援事業 担い手アクションサポート事業 【予算】 8,265 千円 【決算】 8,265 千円	B	水田を活用し、有害鳥獣被害に強いエゴマ・ピーマンの生産奨励をおこなった。ピーマンについては、JAと連携して拡大を広め、令和2年度と比較して、生産農家が3件から23件に増加した。また、ピーマンの栽培促進PR動画を、県・JA・町で作成し、まげなネットで放映をおこなった。
	R4	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,162 千円 【決算】 1,150 千円	B	取組が町内全体の水田活用状況の把握や、水田活用の支援等へとつながっており、水田農業の振興のために継続して実施する必要がある。
	R5	・経営所得安定対策等推進事業補助金の交付 ・特別栽培米生産拡大補助金の交付 【予算】 1,187 千円 【決算】 1,022 千円	B	水田を活用した取組を支援することで、耕作放棄地対策に繋がっている。また、JAで推奨している特別栽培米(ハーフ米)の買取価格支援を行い、生産者の確保、面積の拡大を図った。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	04	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	(1)	農産物のブランド力の向上
------------	----	---------	------------------	-----	--------------

2 / 5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 地域ブランドの発信拠点としての道の駅の機能強化	R3	6次産業化推進事業 【予算】 804千円 【決算】 58千円	B	川本エゴマの会が、自社製品を道の駅で陳列する棚のリニューアルをおこない、エゴマ販売の促進を図った。
	R4	担い手アクションサポート事業補助金の交付 【予算】 130千円 【決算】 130千円	B	地域農業再生協議会が、コロナ禍が終了し、今後は産直イベントの開催を行うための備品（音響設備）を整備した。今後は、道の駅の機能強化を推進していく必要がある。
	R5	6次産業化推進事業 【予算】 557千円 【決算】 0千円	B	特に取り組みはできなかったが、コロナ禍が終了したため、道の駅の機能強化を推進していく必要がある。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	04	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	(2)	医療・福祉と異業種の連携促進
------------	----	---------	------------------	-----	----------------

3 / 5

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 産業連関の把握	R3	・調査の実施方法等を検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・実態調査を行い、状況把握・再整理を行う。
	R4	・調査方法等の検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R5	・商工会との定期的な協議による聞き取り ・調査方法等の検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 異業種連携・ビジネスマッチングの推進	R3	・町内調達の実施方法を検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・実態調査を行い、状況把握及び対応策を検討する。
	R4	・調査方法等の検討 ・商工会との協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R5	・調査方法等の検討 ・商工会との協議 【予算】 0千円 【決算】 0千円	C	・評価指標の見直しに伴い、より効果的な取り組みの実施を検討
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	04	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	(3)	企業との連携体制の構築
------------	----	---------	------------------	-----	-------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 企業との連携体制の構築	R3	・(株)三協との情報共有 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・引き続き(株)三協との情報交換を行い、ニーズ把握及び支援を行う。
	R4	・三協との協議、情報共有(広報紙の発行) ・植樹イベントの実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・継続的な協議、効果的な支援策の検討が必要。
	R5	・(株)三協との協議、情報共有(広報紙の発行) ・植栽イベントの開催、創立60周年記念式典に出席 ・中小企業設備投資促進事業補助金の創設 【予算】 5,000千円 【決算】 4,675千円	B	・(株)三協と定期的な協議を継続し、現状及びニーズを把握し今後の支援策を検討する。 ・創設した補助金による企業の進出を促す。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	04	プロジェクト名	地域資源を活かした付加価値の創出	(4)	起業支援の充実と新しい人の流れづくり
------------	----	---------	------------------	-----	--------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 起業家の育成・誘致	R3	・雇用型から起業型地域おこし協力隊への移行(1件) ・かわもと暮らしを窓口とした協力隊員の相談、支援を実施 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・新規の協力隊員の募集に至らなかった。 ・R4で任期満了となる協力隊員(5名うち農業1名)の定着を図る。
	R4	・起業型地域おこし協力隊員の支援 【予算】 13,966千円 【決算】 13,966千円	B	・任期満了隊員の定着(5名) ・新規協力隊員の募集、確保を図る
	R5	・起業型地域おこし協力隊員の支援 【予算】 6,266千円 【決算】 3,566千円	B	・任期満了となった協力隊員の定着を図る。 ・新規協力隊員の募集、確保を図る。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② サテライトオフィス等受け入れ体制強化	R3	・かわもとテレワークスペース0to-LaVoへの新規入居(1件) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・引き続き受け入れ体制の整備、物件の選定等を行う。
	R4	・国や県による支援事業等の情報収集 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・ターゲット業種の明確化、進出企業への支援策の検討。
	R5	・国や県による支援事業等の情報収集 ・中小企業設備投資促進事業補助金の創設 【予算】 5,000千円 【決算】 4,675千円	B	・創設した補助金による企業の進出を促す。 ・ターゲット業種の明確化を進める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 関係人口の確保	R3	・スタディツアーの実施方法を検討。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者の課題等を抽出しツアー内容の検討を進める。 ・かわもと暮らし、県定住財団と連携した効果的な実施方法の検討。
	R4	・高校卒業生を対象とした「しまちゅうエール」(LINE、HP) 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者の課題等を把握し実施内容を検討する。
	R5	・高校卒業生を対象とした「しまちゅうエール」(LINE、HP)の継続 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・町内事業者と関係人口が関わる場の創出を実施
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
05	保小中高の連携による教育環境の充実	P108~P111	教育課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した児童の割合（小学生）（単位：％）	目標値	93.0	94.0	95.0	96.0	97.1
	実績値	88.0	93.0	86.0		
	達成率	94.6%	98.9%	90.5%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（中学生）（単位：％）	目標値	84.0	85.0	86.0	87.0	88.2
	実績値	72.0	90.0	92.0		
	達成率	85.7%	105.9%	107.0%	%	%
地域社会の魅力や課題について考える学習に主体的に取り組んでいると回答した生徒の割合（高校生）（単位：％）	目標値	57.8	58.8	59.9	60.9	62.0
	実績値	66.0	68.3	72.4		
	達成率	114.2%	116.2%	120.9%	%	%
情報を、勉強したことや知っていることと関連付けて理解していると回答した高校3年生の割合（単位：％）	目標値	83.0	85.0	88.0	90.0	95.0
	実績値	74.7	79.1	85.7		
	達成率	90.0%	93.1%	97.4%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	【担当評価】
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育と社会教育との連携により、児童生徒と地域住民との対話の機会創出が進んでいる。具体的には、ジョブカフェ（中1）、かわもと一く（小5、中2）、職業体験（中3）など。また、かわもとあそらを拠点とした異世代交流が進み、地域活動に積極的に参加する生徒も増加。KPIにおいて中学生の目標達成率が向上していることは、その成果と思われる。</li> <li>・教育ビジョンを柱として、町全体で子どもの教育に関わる風土の醸成に向けて引き続き取り組む。</li> </ul>

評価	【一次評価】（副町長、総務課長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育機関と連携を密にし子どもたちの学びや成長を支える機会の創出に関して必要な課題に細やかに取り組むこと。</li> <li>・引き続き地域活動への関心や活動への参加を促すための体制整備に取り組むこと。</li> </ul>

【外部評価】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIに設定されている「情報を、勉強したいことや知っていることと関連付けて理解している割合」が徐々に高まっていることは良いと感じる。</li> <li>・社会経験を培う必要もあるため高校生を地域課題解決の1人のプレイヤーとして積極的に地域の方に活用してもらいたい</li> </ul>

評価	【最終評価】（町長、教育長）
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上に向け新たなツールを用いて小中の家庭教育支援を強化すること</li> <li>・一人ひとりの希望に応じた学びや成長を促すための新たな公的スキームを構築すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(1)	川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備
------------	----	---------	-------------------	-----	----------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域との協働によるビジョンの実現	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期川本町教育ビジョン実施計画策定。</li> <li>・第2期川本町教育ビジョンPT会議による協議。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中高、社会教育関係者と連携し、育てたい子ども像のグランドデザインを作成した。</li> <li>・今年度の目的である連携体制が構築できたため、今後は関係機関の連携に向けて協議を進めていく必要がある。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小中高のグループによる連携体制の構築</li> <li>・教育講演会の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小、中高の連携を図るために、グループ会議を開催し、令和5年度以降に実施できる内容を検討した。保小については、令和5年度よりコロナ禍前の内容を再開していくこととした。</li> <li>・学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、島根大学教授と鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。参加者は少数であったが、有意義な会となった。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期川本町教育ビジョンPT会議において保小・中高の2つのグループによる連携体制の構築</li> <li>・保小連携合同研修会の開催</li> <li>・教育講演会の開催</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小、中高の連携を図るためにグループ会議を開催した。保小については、令和5年度から教員の保育所見学や、年長児と小学校1年生との交流など、コロナ禍前の内容を一部再開した。中高グループは、令和5年度にも開催した「探求フェスタ」を通して連携ができるように検討を行った。</li> <li>・プロジェクトチームを対象とした保小連携合同研修会を開催し、幼小連携等の情報共有の機会となった。</li> <li>・学校、家庭、地域が連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える人づくりについて一緒に考える機会の創出のため、鳥取県南部町社会教育委員を招聘し、教育講演会を開催した。</li> </ul>
	【予算】 30千円 【決算】 30千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 一体型コンソーシアムの構築	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティスクール制度説明（教育委員、校長会）</li> <li>・R3.6月17日に設立総会及び第1回理事会を実施。</li> <li>・6月に第2回理事会を実施（規約改正 顧問・アドバイザー設置）</li> <li>・R4.3月23日に第3回理事会を実施（活動報告など）</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会、学校に対してコミュニティスクールの制度説明を実施し、今後検討していくことを共有したが、検討体制を構築するまでは至らなかった。</li> <li>・令和3年度は計画どおり新たな協働体制「教育創生コンソーシアム島根中央」の設立を実現できた。</li> <li>現状は、高校の取り組みに対する協働体制だが、川本町全体の教育発展するための協働体制構築に向け、今後取り組みを進めていく。</li> </ul>
		【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教育】</li> <li>・コミュニティスクール制度説明</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会での協議</li> <li>【まち】</li> <li>・コンソーシアム運営マネージャーの配置（1名）</li> <li>・第1回理事会（5月30日）：事業報告・事業計画</li> <li>・第2回理事会（10月24日）：中間報告</li> <li>・第3回理事会（3月22日）：活動報告等</li> <li>・コンソーシアム拠点「Linkベース」の整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教育】</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会としての方向性を答申するために、県内の学校視察を行い、学校運営協議会、地域学校協働本部について協議した。3回の検討委員会を実施したが、令和5年度に答申することになり、答申を基に今後の体制を検討していく。</li> <li>【まち】</li> <li>・コンソーシアム運営マネージャーを中心に、高校の取り組みに対する協働体制の構築を進めた。</li> <li>・コンソーシアムの拠点「Linkベース」を校内に整備した。今後、生徒・教員が利用しやすい場所づくりや地域との橋渡しをこの拠点を中心に進める。</li> <li>・今後、後援会とコンソーシアムとの事業のすみ分けを明確化し、それぞれの立場から取り組みを進めていく。</li> </ul>
		【予算】 2,199千円 【決算】 2,012千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教育】</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会の答申</li> <li>・町立学校運営協議会設置準備</li> <li>【まち】</li> <li>・コンソーシアム運営マネージャーの配置（1名）</li> <li>・第1回理事会（5月23日）：事業報告・事業計画</li> <li>・第2回理事会（10月31日）：中間報告</li> <li>・第3回理事会（3月21日）：活動報告等</li> <li>・コンソーシアム拠点「Linkベース」の運用開始</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教育】</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会の答申（5/31）を受け、R6年度に学校運営協議会設置に向けた準備開始。</li> <li>*準備委員会（教育課長、補佐、指導主事、社教主事）</li> <li>*推進会議（教育長、学校長+準備委員会メンバー）</li> <li>・教育関係者の研修 12/25開催（CSマイスター）</li> <li>・教育委員会 1月協議会規則を制定、3月委員任命。</li> <li>・R6年度より年3回の協議会を開催予定（第1回：R6.4.16）</li> <li>【まち】</li> <li>・コンソーシアム運営マネージャーを中心に、高校の取り組みに対する協働体制の構築を進めた。</li> <li>・コンソーシアムの拠点「Linkベース」を校内に設置し、地域・行政・学校を結ぶ中継地点として、生徒自らの活発な地域活動をサポート。</li> </ul>
	【予算】 2,822千円 【決算】 2,404千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

③ 活動の推進に取り組む団体の育成	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育（高校魅力化）の活動推進に高校魅力化CN7名を配置</li> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中。</li> <li>・持続的で発展的に教育を通じた人づくりの取り組みを行う団体創出に向けた取り組みを継続実施。</li> </ul>
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育（高校魅力化）の活動推進に高校魅力化CN7名を配置</li> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体の在り方について継続検討中</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中。</li> <li>・持続的で発展的に教育を通じた人づくりの取り組みを行う団体創出に向けた取り組みを継続実施。</li> <li>・来年度、吹奏楽部にCNを配置しより一層高校魅力化を推進する。</li> </ul>
		【予算】 16,470 千円 【決算】 13,925 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育（高校魅力化）の活動推進に高校魅力化CN7名を配置</li> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体の在り方について継続検討中</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吹奏楽部にCNを配置しより一層の高校魅力化を推進。</li> <li>・保小中高の特色ある学びの推進に向けた団体のあり方について検討中。</li> <li>・持続的で発展的に教育を通じた人づくりの取り組みを行う団体創出に向けた取り組みを継続実施。</li> </ul>
	【予算】 20,774 千円 【決算】 20,595 千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(1)	川本町教育ビジョンの実現と推進体制の整備
------------	----	---------	-------------------	-----	----------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 島根県立大学等、高大連携の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討中。</li> <li>・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考に する機会として、バーチャル国際交流（オンライン）を県 立大学と実施。</li> </ul> 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業について検討中。</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びの場としてPRできる、 高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り 組む。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立大生とバーチャル国際交流の参加（4回）</li> <li>・上級学校（大学）訪問（島根大学、県大看護・栄養、出 雲トリニティカレッジ保育）</li> <li>・韓国語スピーチ動画コンテスト参加（3名）</li> <li>・韓国語ハングル講座（6名）</li> </ul> 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業について検討中。</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びの場としてPRできる、 高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り 組む。</li> </ul>
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>・大学生の体験を聞き高校生がこれからの進路の参考にす る機会として、バーチャル国際交流（オンライン）、ハン グル語講座、短期留学生の受け入れを県立大学と実施。</li> </ul> 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施可能な大学との協働事業などについて検討</li> <li>・島根中央高校の特色ある学びの場としてPRできる、 高度で多様な学びのプログラム構築に向け継続して取り 組む。</li> </ul>
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
		R3	【予算】 千円 【決算】 千円	
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(2)	保小中高が連携した教育の推進	3 / 6
------------	----	---------	-------------------	-----	----------------	-------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 基礎学力の定着	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援。</li> <li>英検ジュニアチャレンジ会 (3回)</li> <li>英語検定、英検 Jr 検定費用助成。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。</li> <li>学び合い学習に伴う研修を3回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施となった。</li> <li>英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数6名のうち3名は次のグレード(シルバー)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>次年度以降は、意欲ある子どもたちをさらに支援するために、幼児期から取り組める算数・数学検定や漢字検定を英語費用助成制度に加えることとし、支援を拡大する。</li> </ul>
		【予算】 2,995 千円 【決算】 2,446 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共に学び合う授業を目指して」校内研究会(学び合い研修) (3回)</li> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援</li> <li>英検ジュニアチャレンジ会 (3回)</li> <li>英語検定、算数・数学検定、漢字検定費用助成</li> <li>算数・数学検定、漢字検定会場設置</li> <li>英検 Jr 検定費用助成</li> <li>学力育成会議の設置・運営</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等の学校支援施策を推進するためには、専門性のある指導主事が行った。</li> <li>英検費用助成制度を活用し、小学生向けの英検ジュニアを団体受検することとし、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数15名のうち11名は次のグレード(シルバー)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」21名、「漢字検定」39名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、学ぶ意欲のある町民に対して、事前学習や検定料助成を検討する必要がある。</li> </ul>
		【予算】 3,587 千円 【決算】 2,923 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「共に学び合う授業を目指して」校内研究会(学び合い研修) (3回)</li> <li>派遣指導主事1名の配置による学校支援</li> <li>各種検定助成事業(英語、算数・数学、漢字)</li> <li>*英検ジュニア検定とチャレンジ会 (3回)</li> <li>*検定会場設置(算数・数学、漢字)</li> <li>学力育成会議の設置・運営 (2回)</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の学力向上や教職員の学級経営力向上、生徒指導、特別支援教育の推進等、学校支援施策の推進にあたっては、専門性のある指導主事と連携した。</li> <li>学力育成会議を開催し、児童生徒の課題を小中で確認し、指導の重点等について協議した。</li> <li>中学校では、英検と漢検に学校として取り組み、ほぼ全校生徒が受検している。</li> <li>小学生向けの英検ジュニアを団体受検する機会を設け、これに向けた学習会を無料で開催した。受検者数は昨年の15名から21名に増え、そのうち13名は次のグレード(シルバー、ゴールド)の受験資格を得た。毎年度、受検者数の増減はあるものの、学ぶ意欲のある児童が参加し、楽しく学習している。</li> <li>「算数・数学検定」、「漢字検定」の準会場を町内に設け、学ぶ意欲のある方を対象に検定を実施した。町内外から「算数・数学検定」28名、「漢字検定」37名の参加があり、町内に住所を有する児童生徒に対しては検定料を助成した。今後は、町全体が学ぶ風土を醸成するため、学ぶ意欲のある町民に対する検定助成などを検討していきたい。</li> <li>検定助成について、町が準会場を設置する場合、検定料徴収から補助金交付までの流れが複雑であるため、受検費用の流れを整理し、可能であれば補助制度と町費負担の検定事業との2本立てで実施するようにR7予算から見直しを検討したい。</li> </ul>
	【予算】 3,113 千円 【決算】 1,446 千円			
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② スポーツや文化活動(部活動)に取り組める環境の実現	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体ヒアリングによる現状把握(一部) 2030島根国体に向けたジュニア育成事業(カヌー体験教室)</li> <li>川本中学校吹奏楽部との合同練習を実施(島根中央高校)</li> <li>女子硬式野球部はオープンスクールとは別に近隣中学生向けに部活動体験会を実施。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ団体の活動支援に向けてヒアリングを計画していたが、一部しか実施できなかった。次年度については、関係者へのアンケートを実施し、支援に向けて進めていく。</li> <li>カヌー体験教室については、2回計画していたが、雨天のため1回は中止とした。町民プールを活用し開催した教室には沢山の子どもが参加し、引き続き育成に向けて事業を実施していく。</li> <li>令和3年度の計画どおり中高生合同の練習会を実施。今後も中高生合同練習会の実施を継続し取り組む。</li> </ul>
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>【教育】</li> <li>KSCや川本町体育協会との連携</li> <li>2030島根国体に向けたジュニア育成事業(カヌー体験教室)</li> <li>【まち】</li> <li>(島根中央高校)</li> <li>中国地区女子野球大会及び野球教室の運営を女子野球部がサポートし、高校生と中学生の交流機会を創出。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>KSC、川本町体育協会、学校を交え、「島根国スポ」、「部活動の地域移行」を含めて検討していく必要がある。</li> <li>カヌー体験教室については、島根中央高等学校や美郷町と連携しながら、選手育成及び次世代の掘り起こしを含めて、継続的な取り組みにするよう検討する。</li> </ul>
	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円			

R5	<p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川本町スポーツ大会等出場助成金」制度</li> <li>・スポーツ講演会開催</li> <li>・中学校部活動遠征費補助</li> </ul> <p>【まち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（島根中央高校）</li> <li>・中国地区女子野球大会及び野球教室の運営を女子野球部がサポートし、高校生と中学生の交流機会を創出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもとスポーツクラブのジュニアチーム(野球、バレー)が上位大会へ出場するなど目覚ましい成績を残した。こうした場合の遠征費などを支援するため、「川本町スポーツ大会等出場助成金交付要綱」を制定した。(R6.4.1施行)</li> <li>・中学校部活動の県大会以上の出場にあたっては、部活動遠征費補助金において支援した。</li> <li>・スポーツ講演会を開催し、スポーツに取り組むことの素晴らしさを体験する機会も設けた。(R6.3.2女子野球)</li> <li>・部活動の地域移行については特に動きなし。</li> </ul>
R6	<p>【予算】                    千円                    【決算】                    千円</p>	
R7	<p>【予算】                    千円                    【決算】                    千円</p>	

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(2)	保小中高が連携した教育の推進
------------	----	---------	-------------------	-----	----------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
③ 成長段階に応じた地域資源を活かした教育の推進	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈幼児〉K-POP（親子体験プログラム）の実施（全3回）</li> <li>・〈小学生〉かわもとサマーデイキャンプの実施（全3回、延べ104名）</li> <li>・〈中高生〉かわもとあそラボの取り組み支援</li> <li>・〈その他〉川本町ふるさとカルタの作成（500セット）</li> <li>・ふるさと学、探究学習で地域資源を用いた学習機会の場を実施。地域資源を活かした探究授業の発展に向け、授業プログラムの検討を継続</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者通して繋がりが不安や疑問を解消する。</li> <li>・小学生を対象に、町内3カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や中高生ボランティアの方々と交流し、関係性づくりを図った。</li> <li>・中高生生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。</li> <li>・地域教材として、川本町の魅力（自然、文化、暮らし、歴史、観光）に関する事柄を集めたカルタという形に残るものを作成した。カルタを通して地域の魅力を再発見することができる。</li> <li>・令和3年度の計画どおり地域資源を用いた授業を実施。</li> <li>・小中高と学びの連続性や校種間のつながりを意識したプログラム構築に向けた取り組みが必要。</li> </ul>
		【予算】 3,899千円 【決算】 3,638千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈幼児〉K-POP（親子体験プログラム）の実施（全4回）</li> <li>・〈小学生〉かわもとサマーチャレンジウィークの実施</li> <li>・〈中高生〉かわもとあそラボの取り組み支援</li> <li>・〈その他〉川本町ふるさとカルタの活用</li> <li>・〈学校〉ふるさと学、探究学習で地域資源を用いた授業を構成。その成果発表の場等活用を検討</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の親子を対象に、地域の方や自然とのふれあいを通して、参加者通して繋がりが不安や疑問を解消する機会を提供できた。また、新に計画したプログラムでは、新たな人材の出番を創出することができた。</li> <li>・小学生を対象に、町内4カ所を活動拠点として、地域の自然探検を通し地域の大人や大学生の方々と交流し、関係性づくりが図れた。</li> <li>・中高生生の活動の場として、教育委員会だけでなく、観光協会等にも協力し連携できる体制を図ることができた。また、小学生をはじめ、自らいイベントの企画・運営をすることができ、これからの取り組みの幅を広げることが期待できる。</li> <li>・川本町ふるさとカルタを小中高校や公民館、福祉施設等へ配布し、公民館活動でも実施するなど普及活動に務めた。</li> <li>・ふるさと教育においても地域資源や人材を活用した授業が展開でき、今後は、成果発表等の活用の場の提供を検討することが必要とされる。</li> </ul>
		【予算】 6,470千円 【決算】 6,067千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〈幼児〉K-POP（親子体験プログラム）の実施（全4回）</li> <li>・〈小学生〉かわもとサマーチャレンジウィークの実施（7/24～7/28（5日間）参加者延べ79名）</li> <li>・〈中高生〉かわもとあそラボの取り組み支援</li> <li>・〈その他〉川本町ふるさとカルタの活用</li> <li>・〈学校〉ふるさと学、探究学習で地域資源を用いた授業を構成。その成果発表の場等活用を検討</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の親子を対象に、親同士のつながりづくりや家族間交流、豊かな自然とのふれあいをねらいとして、年4回実施し、様々な活動の場を提供できた。参加家族だけの交流ではなく、地域住民や中高生ボランティアスタッフとも交流することができた。</li> <li>・サマーチャレンジウィークでは、小学生を対象に、町内5カ所を活動拠点とする地域の自然探検を通し、地域の大人や高校生・大学生ボランティアと交流し、関係性を作った。</li> <li>・参加者の固定化と事業実施の日程調整が課題。</li> </ul>
	【予算】 6,902千円 【決算】 6,081千円			
	R6			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
	R7			
	【予算】 千円 【決算】 千円			
④ 安心して学ぶことができる教育環境の整備	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校長寿命化調査。・教育情報化推進計画策定、実施。</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（1回）。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校を今後10年間使用していくうえでの修繕内容について調査を実施し、調査結果に基づいて修繕を実施する。</li> <li>・学校でのICT活用を推進していくために、教育情報化推進計画を策定し、学校に対して説明を実施した。学校においては、取組レベル指標を基に、進捗状況を確認している。</li> <li>・学校施設の建て替えを含めた今後の学校のあり方を検討していくため、検討委員会を設置し、検討委員会を開催した。令和5年2月を目途に答申をまとめている。</li> </ul>
		【予算】 3,367千円 【決算】 3,373千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川本町立学校改修事業</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会設置、運営（3回）</li> <li>・教育情報化推進計画の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校改修事業は、物価の高騰により全項目の改修が完了しなかった。</li> <li>・学校施設の建て替えを含めた学校のあり方を検討するため、学校視察、地域公聴会を行い、検討委員会において審議を進め、令和5年5月を目途に答申をまとめる。</li> <li>・ICT機器の有効活用を図るため、教育委員会、学校担当者において、教育情報化推進計画の見直しに進め、活用促進を図っている。</li> </ul>
	【予算】 41,250千円 【決算】 41,250千円			
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川本町立学校改修事業</li> <li>・川本町立学校のあり方に関する答申を踏まえた方向性の検討</li> <li>・教育情報化推進計画の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用者の安全確保および施設を長期間維持していくため、毎年実施する施設点検、保守点検において報告された修繕箇所について修繕を行った。</li> <li>・川本町立学校のあり方検討委員会からの答申（5/31）を受け、小中学校の建替えを具体的に進めるための検討体制について協議した。「基本構想」及び「基本計画」の策定に向けた検討委員会を設置することが決定。</li> <li>・教職員の長時間勤務を解消し、教育の質の維持向上や業務の効率化を図るため、学籍情報や成績管理・健康管理など、児童生徒の全ての情報を一元管理できる「統合型校務支援システム」を導入。浜田管内三市三町統一システム。</li> </ul>
	【予算】 21,381千円 【決算】 20,157千円			

R6	【予算】	千円	【決算】	千円		
	【予算】	千円	【決算】	千円		
R7	【予算】	千円	【決算】	千円		
	【予算】	千円	【決算】	千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(3)	キャリアプランニングの支援	5 / 6
------------	----	---------	-------------------	-----	---------------	-------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 高校のカリキュラム編成	R3	・令和5年度入学生からの新たなカリキュラム編成及びコース再編に向け、コンソーシアム協働チームで内容を検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・コンソーシアム協働チームによるカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・令和5年度入学者からスタートする新たなカリキュラム及びコース実施に向け継続して取り組みを実施。
	R4	・令和5年度入学生からの新たなカリキュラム編成及びコース再編に向け、コンソーシアム協働チームで内容を検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・コンソーシアム協働チームによるカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・令和5年度入学者からスタートする新たなカリキュラム及びコース実施に向け継続して取り組みを実施。
	R5	・令和6年度入学生からの新たなカリキュラム編成及びコース再編に向け、コンソーシアム協働チームで内容を検討 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・コンソーシアム協働チームによるカリキュラム編成及びコース再編の検討を実施。 ・令和6年度入学者から新たなカリキュラム及びコース、単位制（個別ルート）のスタート。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 子どもの夢実現応援事業	R3	・夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業の実施 【予算】 1,219千円 【決算】 1,179千円	B	・令和3年度は既存の取組を継続。 ・令和4年度以降で対象の拡充や小中学生も交えた仕組みの検討などを進める。
	R4	・夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業の実施 自分計画書発表会9月・3月実施（8名） 定住助成金交付2件 【予算】 3,620千円 【決算】 3,620千円	B	・令和4年度は既存の取組を継続。 ・令和5年度以降で対象の拡充や小中学生も交えた仕組みの検討などを進める。（令和6年度開始を目指す）
	R5	・夢と可能性に挑戦する人財定住助成金事業の実施 自分計画書発表会9月・2月実施（7名） 定住助成金交付2件、奨学金返還助成金3件 【予算】 5,024千円 【決算】 4,006千円	B	・令和5年度は既存の取組を継続。 ・令和6年度以降で対象の拡充や小中学生を交えた仕組みの検討を進める。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 奨学金プログラムの検討	R3	・かわもとあそラボの取り組み支援、地域活動参加証の発行（キャリアパスポート） 【予算】 2,231千円 【決算】 2,231千円	A	・中高校生の放課後の居場所として「カフェ・オレンジ」を活動拠点に、中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。 ・かわもとあそラボを通して、地域活動へボランティアスタッフとして参加した生徒に地域活動参加証であるキャリアパスポートを発行し、進学の際に活用してもらった。 ・今後、他の教育・定住関係事業や人材育成事業との連携、調整を図りながら、事業実施の可否等について検討する。
	R4	・かわもとあそラボの取り組み支援、地域活動参加証の発行（キャリアパスポート） 【予算】 5,450千円 【決算】 5,450千円	B	・中高校生と地域の大人とつながりづくりができるよう教育委員会イベントにボランティアスタッフとして関わり、幅広い世代との交流ができた。 ・かわもとあそラボを通して、地域活動へボランティアスタッフとして参加した生徒に地域活動参加証であるキャリアパスポートを発行し、進学の際に活用してもらった。 ・今後、他の教育・定住関係事業や人材育成事業との連携、調整を図りながら、事業実施の可否等について検討する。
	R5	・かわもとあそラボの取り組み支援、地域活動参加証の発行（キャリアパスポート） 【予算】 4,450千円 【決算】 4,450千円	B	・コミュニティカフェ「オレンジ」を活動拠点とし、中高校生を中心とし、大学生や地域の大人等幅広い世代のつながりの中で活動することができた。これまでの経験を活かし、一人でじっくり考えたり、仲間と一緒に会話を楽しんだりすることができる場となっている。 ・教育課として新たな奨学金プログラムの検討はしていない。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	05	プロジェクト名	保小中高の連携による教育環境の充実	(4)	卒業も町と関わりを持ち続ける人材確保(関係人口)
------------	----	---------	-------------------	-----	--------------------------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 地域との継続的な関わりづくりの推進【まちづくり】	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住ワンストップ窓口「かわもと暮らし」のLINE開設</li> <li>・各種SNS等での情報発信</li> <li>・県関係人口サイト「しまっち」の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわもと暮らしによる公式LINE登録促進や、SNSの活用による情報提供手段の確保を行った。</li> <li>・また、レールバイクイベントなどの関わり企画を県関係人口サイトに掲載。引き続き発信と関わりシロの提供を継続していく。</li> </ul>
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。</li> <li>・移住・定住・交流促進事業（一財）地域活性化センターを活用した大学生インターンシップモデル事業を実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：87名）</li> <li>・県外でのイベントの実施（東京0名・広島17名）</li> <li>・町内企業に向けたインターンシップ制度に関する意識調査</li> <li>・移住・定住・交流促進事業 2名の受け入れサポート+R5年度1名の受入決定 PRのための動画作成</li> </ul>
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業を県と協働で実施。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とのつながり創出モデル事業 専用公式LINE及びHP「しまちゅうエール」開設（登録者数：144名）</li> <li>・県外でのイベントの実施（東京8名・広島7名）</li> <li>・町内企業に向けたインターンシップ制度に関する説明会実施（参加企業：8社）</li> <li>・町内企業のPR動画を作成</li> </ul>
	R6			
	R7			
	R3			
	R4			
	R5			
	R6			
	R7			
	R3			
	R4			
	R5			
	R6			
	R7			

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

## 重点プロジェクト 施策評価シート

重点PJ	プロジェクト名	記載ページ	主担当課
06	治水対策の推進	P112~P115	地域整備課

KPIの名称	年度	R3	R4	R5	R6	R7
治水対策未実施地区数 (単位：地区)	目標値	3	3	3	3	2
	実績値	3	3	3		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%
防災士の数(累計値) (単位：人)	目標値	4	6	8	9	10
	実績値	3	3	5		
	達成率	75.0%	50.0%	62.5%	%	%
自主防災組織の訓練(研修)の参加者数 (単位：人)	目標値	300	400	500	600	800
	実績値	302	403	487		
	達成率	100.7%	100.8%	97.4%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%
	目標値					
	実績値					
	達成率	%	%	%	%	%

評価	【担当評価】
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 谷・瀬尻・久料谷、谷戸地区の治水対策は国・県と連携し、順調に進んでおり、早期完成に向け、取組強化を図る。</li> <li>・ 防災士、防災組織について、今後も資格取得や訓練参加自治会の推進を図る。</li> </ul>

評価	【一次評価】(副町長、総務課長)
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施中の治水対策が着実に実現できるよう、また川本堤防の完成堤防化に向け引き続き国・県に対して要望を行っていくこと。</li> <li>・ 水防災をはじめ、地震や雪害などへの備えも含めて意識啓発に努めること。</li> </ul>

【外部評価】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防費などを含め防災に力を入れている部分が予算でも分かりやすく見えると良い</li> </ul>	

評価	【最終評価】(町長、教育長)
<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハード面ソフト面両輪で引き続き治水対策の推進に注力すること</li> </ul>

- 【評価】 A…拡充(今後内容を拡充して実施する必要がある)  
 B…継続(当面の間、現状のまま継続して実施)  
 C…見直し(事務事業の効率化などにより見直す必要がある)  
 D…終了(「目的」が達成されたこと等により終了する場合)

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番	06	プロジェクト名	治水対策の推進	(1)	ハード対策
-------	----	---------	---------	-----	-------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 堤防整備の要望強化	R3	・国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・瀬尻・久料谷地区および谷地区における治水対策については事業化となったが、弓市地区における暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R4	・国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・瀬尻・久料谷地区、谷地区における治水対策については事業化、今後は弓市地区における川本暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R5	・国・県に対する早期事業化へ向けての要望活動を実施。 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・瀬尻・久料谷地区、谷地区における治水対策については事業化済。 ・弓市地区における川本暫定堤防の早期完成に向け引き続き要望活動を実施。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
② 排水設備整備の要望強化	R3	・尾原地区へ緊急排水ポンプ1台の設置 【予算】 5,000千円 【決算】 5,000千円	A	・出水期前にポンプの購入及び設置を完了し、出水の際に稼働し、一定の成果はあった。しかし、降雨量に対し台数不足もあったため、拡充が必要である。
	R4	・尾原地区へ緊急排水ポンプ2台、因原地区へ緊急排水ポンプ1台、計3台の設置 【予算】 15,000千円 【決算】 14,999千円	B	・緊急排水ポンプの稼働がなかったため、台数が十分であるか検証ができていない。また、保管、管理場所の確保が必要。
	R5	・谷地区内水排除設備の埋設工事 【予算】 3,500千円 【決算】 3,493千円	A	・内水排除用の排水管を埋設したことで、県道の通行規制や近隣事業所の避難作業の影響を受けることなく排水作業の準備に取り掛かることができるため、作業時間に余裕が持てる。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	06	プロジェクト名	治水対策の推進	(2)	ソフト対策
------------	----	---------	---------	-----	-------

2 / 3

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
① 情報伝達の仕組みづくり	R3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練の実施</li> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・職員情報共有のためのエルガナの活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所職員との情報伝達及び他部署と連絡体制は迅速な対応ができていた。また、町民への伝達について、告知放送・防災無線・まげなTVなどを活用できた。まげなTV等更なる活用方法の模索が必要。</li> </ul>
		【予算】 251 千円 【決算】 251 千円		
	R4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練の実施</li> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・職員情報共有のためのエルガナの活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練及び避難訓練は計画通り実施。</li> <li>・エルガナの更なる利活用について検討が必要</li> </ul>
		【予算】 251 千円 【決算】 251 千円		
	R5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練の実施</li> <li>・避難訓練の実施</li> <li>・職員情報共有のためのエルガナの活用</li> <li>・町LINEの整備</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報伝達訓練及び避難訓練は計画通り実施。</li> <li>・エルガナの更なる利活用について、町のイベントでの利用などを実施</li> <li>・町公式LINEの整備に合わせ、防災情報の発信行った。</li> </ul>
	【予算】 251 千円 【決算】 251 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
② マイ・タイムラインの作成支援	R3	-	B	・実施に至らなかった。
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	・個別避難計画策定に併せ説明会の実施。	B	・実施に至らなかった。
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R5	・自主防災組織単位での説明会の実施	A	・自主防災組織単位での説明会は、他の情報説明と併せて情報提供・説明をした。
	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
③ 防災教育の充実	R3	・小・中学校職員を対象とした講義を実施	B	・町内一斉避難訓練では、希望される自治会を対象に防災に関する講習会を実施。また、保・小・中の職員を対象とした研修会を実施した。これらは住民からの希望により実施しており、意識の向上の表れと感じる。
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R4	・小学校への防災授業実施	B	・小学校5年生を対象に防災授業を実施。授業のカリキュラムに併せ継続して実施が必要
		【予算】 0 千円 【決算】 0 千円		
	R5	・学校や地域へ出向いた防災研修会の開催。	B	・昨年度の取り組みに加え、中学校での防災授業を行った。『地域で活躍できる中学生』を目指し、今後も継続した取り組みを行っていく。
	【予算】 0 千円 【決算】 0 千円			
	R6			
		【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7			
		【予算】 千円 【決算】 千円		

【評価】A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）

B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）

C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）

D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）

■重点プロジェクト 主な取り組み評価シート

重点PJ番 号	06	プロジェクト名	治水対策の推進	(2)	ソフト対策
------------	----	---------	---------	-----	-------

主な取り組み	年度	具体的取組内容	評価	評価の説明
④ 防災を自分事とするプロジェクトの実施	R3	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・構想はあるが、実現に至らなかった。
	R4	- 【予算】 0千円 【決算】 0千円	B	・自主防災組織のリーダー育成につながる内容を検討しているが、実現に至らなかった。
	R5	・自主防災組織でのリーダー人材の育成 【予算】 108千円 【決算】 63千円	A	・自主防災組織から防災士講習への参加が2名あった。継続して地域リーダーの育成に努めていく。
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R3	【予算】 0千円 【決算】 0千円		
	R4	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R5	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R6	【予算】 千円 【決算】 千円		
	R7	【予算】 千円 【決算】 千円		

- 【評価】 A…拡充（今後内容を拡充して実施する必要がある）  
 B…継続（当面の間、現状のまま継続して実施）  
 C…見直し（事務事業の効率化などにより見直す必要がある）  
 D…終了（「目的」が達成されたこと等により終了する場合）